



II. 岐阜市版ブルーリスト 2015



ブルーリスト

ヒメジョオン 侵入ランクA	カワラバト(ドバト) 侵入ランクA	タイリクバラタナゴ 侵入ランクA
------------------	----------------------	---------------------

II. 岐阜市版ブルーリスト 2015

オオクチバス 侵入ランクA	アメリカザリガニ 侵入ランクA	スクミリンゴガイ 侵入ランクA
------------------	--------------------	--------------------

セイヨウミツバチ 侵入ランクA	ヌートリア 侵入ランクA	ミシシippアカミミガメ 侵入ランクA
--------------------	-----------------	------------------------

セイタカアワダチソウ 侵入ランクA	サカマキガイ 侵入ランクA	カダヤシ 侵入ランクA
----------------------	------------------	----------------

シベリアイタチ 侵入ランクA	アオマツムシ 侵入ランクA	コジュケイ 侵入ランクA
-------------------	------------------	-----------------

<撮影者名>	順不同
ヒメジョオン	近藤慎一
カワラバト(ドバト)	大塚之稔
タイリクバラタナゴ	向井貴彦
オオクチバス	向井貴彦
アメリカザリガニ	鈴木彰
スクミリンゴガイ	鳥居亮一(市外撮影)
セイヨウミツバチ	野平照雄
ヌートリア	梶浦敬一
ミシシippアカミミガメ	高木雅紀
セイタカアワダチソウ	近藤慎一
サカマキガイ	川瀬基弘
カダヤシ	向井貴彦
シベリアイタチ	梶浦敬一
アオマツムシ	野平照雄
コジュケイ	大塚之稔

(前頁写真種名等)

II-1. 総論



撮影：佐藤克則(金華山から西南西方向を望む)

II-1-1 背景と目的

地域の生物相は、本来その地域の環境に適応した種によって構成されている。それらの中には、古くから元々生育・生息していた種、いわゆる在来種と、人為の影響により何らかの方法でその地域外から侵入した種、いわゆる外来種がある。このうち、外来種には古い時代にその地域に侵入し、在来種と同じようにその地域に溶け込んでいる種と、近代になって侵入してきた新たな種がある。その中には、在来種の生育・生息を脅かし、地域の生態系にも大きな影響を与えかねない種が含まれている。

こうしたことから、我が国においては、2004年に「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」が制定され、特定外来生物として指定された種の「飼育、栽培、保管、運搬」、「輸入」、「放つ、植える、蒔く」などの行為が原則禁止されている。また、環境省では、法的規制の対象となる特定外来生物とは別に、それに準じる生物として要注意外来生物を選定している。

岐阜市においては、すでにオオキンケイギク、ヌートリア、アライグマ、ミシシippアカミミガメ、アメリカザリガニなど、多くの特定外来生物や要注意外来生物が市内の広範囲に生育・生息しているが、それ以外にも多くの外来種の侵入が考えられる。

そこで、市では、こうした外来生物が市民生活、産業、市域の生物多様性などへ及ぼす影響や程度を把握するための基礎資料とするために、市域に生育・生息する外来生物について整理することとした。

II-1-2 選定体制

岐阜市版ブルーリストの選定は、岐阜市自然環境基礎調査部会が行い、さらに5名からなる岐阜市版レッドリスト等作成検討委員会にて評価方法や検討を行った。

岐阜市自然環境基礎調査部会と岐阜市版レッドリスト等作成検討委員は、表 II-1-1 のとおりである。

表 II-1-1 岐阜市自然環境基礎調査部会

分野等	委員名	所属
委員長	◎ 田中俊弘	岐阜生物多様性研究会 代表
植物	近藤慎一	岐阜県植物研究会 会員
哺乳類	梶浦敬一	ぎふ哺乳動物研究会 会員
鳥類	○ 大塚之稔	日本野鳥の会岐阜 代表
爬虫類	○ 矢部 隆	愛知学泉大学 現代マネジメント学部 教授
両生類	高木雅紀	岐阜県立岐阜高等学校 教諭
魚類	○ 向井貴彦	岐阜大学 地域科学部 准教授
昆虫類	○ 野平照雄	岐阜県昆虫分布研究会 会員、一般財団法人 自然学総合研究所 客員研究員
貝類	川瀬基弘	愛知みずほ大学 人間科学部 講師
甲殻類(十脚類)	兼 向井貴彦	岐阜大学 地域科学部 准教授
注) 名前の前の「◎」は検討委員長 「○」は検討委員 「兼」は他の分類群との兼務		

<協力者>

大塚英樹 田上正隆 中島和典 藤原麒一郎 箕浦博之 村瀬文好 矢追雄一

(五十音順、敬称略)

II-1-3 選定経緯

岐阜市は、これまで2回に渡って自然環境に関する調査を実施し、それぞれ冊子として取りまとめている(表 II-1-2 参照)。

今回、これらの調査結果など基に、岐阜市版のブルーリストの作成を行った。

表 II-1-2 選定経緯

年 度	事 項
平成8年度 ～平成11年度	「岐阜市自然環境実態調査」の実施 →「自然環境と保全 ー岐阜市自然環境実態調査報告ー」刊行
平成21年度 ～平成25年度	「岐阜市自然環境基礎調査」の実施 →「岐阜市の自然情報 ～岐阜市自然環境基礎調査～」刊行
平成26年6月	第1回 検討委員会
平成26年8月	第2回 検討委員会
平成26年12月	第3回 検討委員会
平成27年3月	「岐阜市の注目すべき生きものたち 岐阜市版レッドリスト・ブルーリスト2015」刊行

II-1-4 選定対象分類群

ブルーリスト選定対象分類群は、平成21年度～平成25年度にかけて行った岐阜市自然環境基礎調査での調査対象分類群を参考に「植物(維管束植物)」「哺乳類」「鳥類」「爬虫類」「両生類」「魚類」「昆虫類」「貝類」「甲殻類(十脚類)」の9分類群とした。

II-1-5 リスト掲載種の選定要件

岐阜市にはこれまでに、上記の9分類群のうち、表 II-1-3 のとおり 5,381 種の生物の生育・生息記録がある。

今回のブルーリスト掲載種の選定にあたっては、岐阜市内に生息記録のあるこれらの種のうち、表 II-1-4 に示すブルーリストの基本定義と市域での状況をもとに検討し、ブルーリスト掲載種として選定した。

表 II-1-3 岐阜市内で生育・生息記録のある生物の科種数

分類群名	科数 (科)	種数 (種)
植物	160	1,541
哺乳類	18	35
鳥類	57	238
爬虫類	10	17
両生類	7	16
魚類	21	67
昆虫類	291	3,358
貝類	34	101
甲殻類(十脚類)	5	8
動物小計	443	3,840
合計	603	5,381

注)科種数については、「岐阜市の自然情報 ～岐阜市自然環境基礎調査～」(2014 岐阜市)に新たな記録種を加えたもので整理している。

表 II-1-4 岐阜市版ブルーリスト 基本定義

本来市内に自然分布していなかったが、人為的影響で侵入した生物。

II-1-6 カテゴリー定義

岐阜市版ブルーリストのカテゴリー定義については、岐阜市内への侵入状況(広がり状況)により表 II-1-5 のとおり 3つのカテゴリーに区分・整理した。

表 II-1-5 岐阜市版ブルーリスト カテゴリー定義

カテゴリー	内 容
侵入ランク A	市内に広範囲に分布・定着しているもの。
侵入ランク B	市内への分布は局所的であるもの。
侵入ランク C	市内への侵入は初期段階もしくは未定着のもの。

II-1-7 選定結果総括

(1) 岐阜市版ブルーリスト掲載種数

岐阜市にはこれまでに 5,381 種の生物が記録されており、今回のブルーリスト掲載種では、そのうち 5.3%にあたる 285 種が該当している。このうち植物についてみると、岐阜市内で生育する種の 13.0%にあたる 200 種が該当している。一方、動物については、2.2%にあたる 85 種が該当している(表 II-1-6 参照)。

表 II-1-6 岐阜市版ブルーリスト掲載種の分類群別カテゴリー別種数

分類群		岐阜市カテゴリー			合計
		侵入ランク A	侵入ランク B	侵入ランク C	
植 物	シダ植物	0	0	2	2
	種子植物	14	56	128	198
	小計	14	56	130	200
動 物	哺乳類	4	1	0	5
	鳥類	2	0	1	3
	爬虫類	1	0	1	2
	両生類	1	0	0	1
	魚類	8	4	3	15
	昆虫類	6	15	19	40
	貝類	10	5	3	18
	甲殻類(十脚類)	1	0	0	1
	小計	33	25	27	85
合 計		47	81	157	285

(2) ブルーリスト掲載種分布状況

ブルーリスト掲載種の分布状況は、植物、動物とも市内の広い範囲に広がっている。このうち植物については、3次メッシュの1/2地域メッシュで見ると、市域全体(907メッシュ)の28.1%にあたる255メッシュで外来種の生育が記録されている(図II-1-1参照)。

一方、動物では、市域の68.7%にあたる623メッシュで外来種の生息が記録されている(図II-1-2参照)。

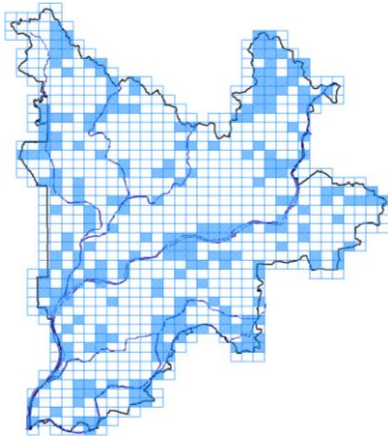


図 II-1-1 植物ブルーリスト掲載種記録メッシュ

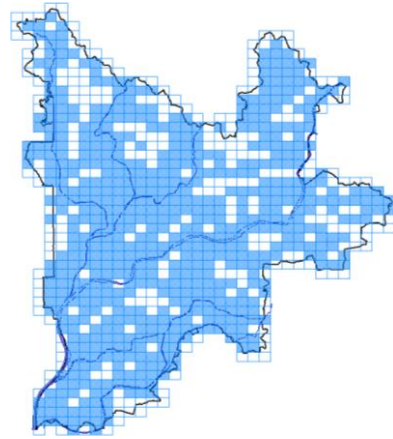


図 II-1-2 動物ブルーリスト掲載種記録メッシュ

注) いずれも詳細な位置情報のあるデータについて整理。

(3) 地区別記録種数等

岐阜市では、市域を自治会連合を基準に 50 の地区に区分している。

この地区ごとにブルーリスト掲載種(植物・動物)の記録状況を整理すると、表 II-1-7 のとおりとなる。

また、地区ごとの全記録種に対するブルーリスト掲載種の記録割合の分布状況を図 II-1-3 に示す。

これによると、岐阜市の中心市街地に向かって全記録種に対するブルーリスト掲載種の占める割合が高くなる傾向が見られる。

このうち、木之本、徹明、華陽の 3 地区では、ブルーリスト掲載種の割合が 30%を超えている。また、その周辺の本郷、加納西、加納東、厚見、白山など 14 地区についてブルーリスト掲載種の割合が 20%以上となっている。一方、レッドリスト掲載種が多く記録されている網代、方県、常磐、三輪北、金華、日野とその周辺の合計 19 地区では、ブルーリスト掲載種の割合が 9%以下と低くなっている。

表 II-1-7 地区別ブルーリスト掲載種記録種数及び割合

地区名	侵入ランク A	侵入ランク B	侵入ランク C	合計	ブルー種割合 (%)
木之本	6	0	0	6	40
徹明	13	14	2	29	35
華陽	22	29	17	68	34
三里	24	14	5	43	29
厚見	33	38	34	105	29
加納東	27	27	25	79	27
茜部	33	42	25	100	27
長森南	33	45	24	102	26
白山	26	21	9	56	26
早田	29	19	6	54	24
長良西	23	17	4	44	24
本郷	20	5	2	27	22
市橋	28	20	11	59	22
加納西	10	12	8	30	21
島	31	10	9	50	21
鶺鴒	32	20	6	58	20
長森東	23	10	4	37	20
合渡	34	31	19	84	19
長森北	19	6	2	27	19
日置江	33	26	6	65	18
本荘	17	0	1	18	17
鏡島	34	23	8	65	17
長良	22	24	17	63	16
七郷	25	9	3	37	16
鷺山	29	7	3	39	16
柳津	37	46	25	108	14
西郷	25	10	1	36	14
黒野	33	11	4	48	12
京町	9	1	4	14	12
明德	6	1	1	8	12
岩	31	31	15	77	10
則武	18	4	2	24	9
岩野田	29	6	5	40	9
城西	26	5	4	35	9
岩野田北	25	12	3	40	9
三輪南	26	19	9	54	8
藍川	30	31	21	82	8
長森西	25	9	3	37	7
梅林	20	6	3	29	7
長良東	36	40	29	105	7
三輪北	36	51	29	116	7
金華	31	35	23	89	7
木田	26	5	3	34	7
芥見南	15	2	1	18	7
芥見	22	4	3	29	6
日野	32	38	19	89	6
常磐	38	10	12	60	6
方県	34	19	19	72	6
網代	31	20	12	63	6
芥見東	24	11	4	39	3

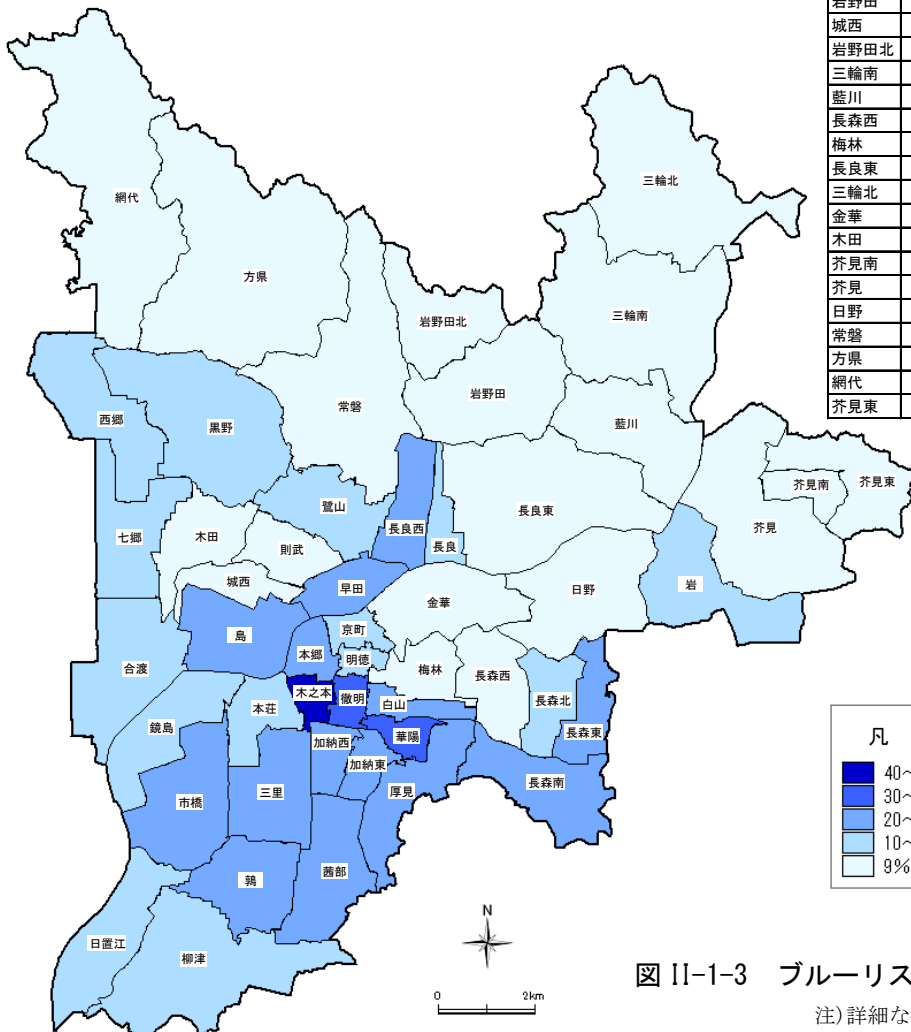


図 II-1-3 ブルーリスト掲載種記録割合の分布状況

(注) 詳細な位置情報のあるデータについて整理。

II-2. 各論



撮影：佐藤克則(岐阜市上佐波西付近)

II-2-1 植物（維管束植物）

植物（維管束植物）のブルーリスト掲載種は、岐阜市内で生育記録のある1,541種のうち13.0%にあたる200種が該当する。

分類別にみると、シダ植物が2種、双子葉植物が160種、単子葉植物が38種である（表II-2-1参照）。

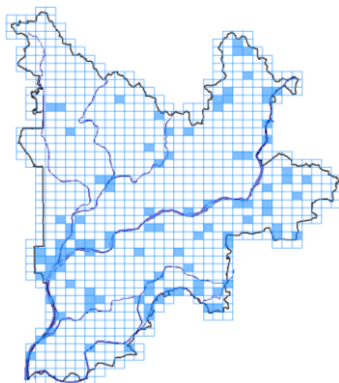
また、カテゴリー別にみると、侵入ランクAに該当する種はアレチヌスビトハギ、シロツメクサ、オッタチカタバミ、オオニシキソウ、アレチハナガサ、アメリカセンダングサ、コセンダングサ、ヒメムカシヨモギ、オオキンケイギク、ヒメジョオン、セイタカアワダチソウ、セイヨウタンポポ、オオカナダモ、コカナダモの14種で、植物ブルーリスト掲載種全体の7.0%にあたる。いずれの種も道路沿いや空き地などを中心に生育する種であるほか、水中植物であるオオカナダモやコカナダモが挙げられていることで、河川や水路などが広く分布する岐阜市を特徴付けている。侵入ランクBはヨウシュヤマゴボウ、キショウブ、ネズミムギ、シマスズメノヒエなど56種で、植物ブルーリスト掲載種全体の28.0%、侵入ランクCはダンドボロギク、アカザ、ツボミオオバコ、セイヨウアブラナなど130種で、植物ブルーリスト掲載種全体の65.0%を占めている。

侵入ランクAの種について、確認場所の詳細な記録があるデータを基に、3次メッシュの1/2地域メッシュに整理すると、市内で最も広く分布する種はオオキンケイギクで、市域（907メッシュ）の11.0%を占める100メッシュで生育が記録されている。次いでセイタカアワダチソウの94メッシュ、ヒメジョオンの69メッシュとなっている。これら3種の分布状況は、図II-2-1に示すとおりである。

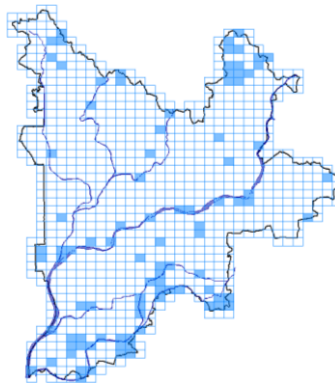
一方、外来生物法により「特定外来生物」に指定されている種のうち、侵入ランクAに該当する種はオオキンケイギクのみであり、その他の岐阜市内で生育記録のある特定外来生物であるアレチウリ、オオフサモ、オオカワヂシャはいずれも侵入ランクCに該当しており、今後の動向に注視していく必要がある。

表 II-2-1 植物ブルーリスト掲載種 分類別カテゴリー別種数

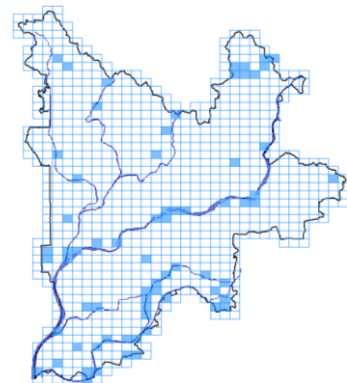
分類				岐阜市カテゴリー			合計
				侵入ランク A	侵入ランク B	侵入ランク C	
シダ植物				0	0	2	2
種子植物	裸子植物			0	0	0	0
	被子植物	双子葉植物	離弁花類	4	21	61	86
			合弁花類	8	21	45	74
		単子葉植物	2	14	22	38	
合計				14	56	130	200



オオキンケイギク



セイタカアワダチソウ



ヒメジョオン

図 II-2-1 主要な種(植物)の分布状況

アレチヌスビトハギ

マメ科

侵入ランク A

Desmodium paniculatum

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納東、華陽、芥見東、岩、岩野田、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、鷺山、三輪南・北、市橋、常磐、西郷、早田、長森西・東・南、長良、長良西・東、徹明、日置江、日野、梅林、白山、方県、網代、木田、柳津、藍川、鶉で記録がある。

＜種の概要＞ 市街地～空き地、道端などに生育する多年草。茎は直立あるいは斜上し、高さ30～100cm。葉は3小葉をつけ、頂小葉は狭卵形～狭長楕円形で長さ4～10cm、幅1～3cm、両面に伏した軟毛がある。葉柄は長さ2～5cm。花期は9～10月。茎頂に円錐花序、上部の葉腋に総状花序をつける。花は紅紫色、長さ6～8mm。節果は扁平。3～5個の小節果からなり、小節果は三角形。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

シロツメクサ

マメ科

侵入ランク A

Trifolium repens

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納西・東、華陽、芥見東、岩、岩野田、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、三輪北、七郷、常磐、西郷、長森南、長良、長良東、徹明、日置江、日野、白山、方県、網代、柳津、藍川、鶉で記録がある。

＜種の概要＞ 市街地から山地の道端、草地などに生育する多年草。茎は匍匐して、多くの節から根を出す。葉はふつう3小葉からなり、長さ6～20cmの柄がある。花期は4～10月。花は葉腋から伸びた柄の先に頭状花序を付ける。白色で、のちにやや淡紅色を帯びる。別名：クローバー。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

オッタチカタバミ

カタバミ科

侵入ランク A

Oxalis dillenii

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納西・東、華陽、岩、岩野田、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、三里、三輪北、市橋、城西、常磐、早田、長森西・東・南・北、長良、長良西・長良東、徹明、島、日置江、日野、白山、方県、本郷、網代、柳津、藍川、鶉で記録がある。

＜種の概要＞ 道端や空き地に生育する多年草。根茎は地表直下を横走する。茎は直立し、高さ20～50cm、細毛が多い。葉は茎に互生し、3小葉からなる。小葉は心臓形で、長さ5～18mm、幅7～25mm、葉柄は長い。花期は4～11月。花は3～10cmの長い花柄の先に付く2～6本の小花柄に付き、花弁は黄色、楕円形で長さ7～11mm。

オオニシキソウ

トウダイグサ科

侵入ランク A

Chamaesyce nutans

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、芥見東、岩、岩野田、鏡島、金華、合渡、黒野、鷺山、三里、三輪北、市橋、城西、常磐、西郷、早田、長森東・南、長良、長良東、島、日置江、日野、方県、本郷、柳津、鶉で記録がある。

＜種の概要＞ 道端、農耕地、土手などに生育する一年草。茎はアーチ状に立ち上がり、長さ18～63cm。葉は対生し、楕円形～長楕円形、長さ1.6～3.5cm、幅0.5～1.4cm、表面には長軟毛を密生する。花期は6～11月。杯状花序は、小型の葉と共に集散状に集まる。蒴果は広卵形で長さ約1.8mm、幅約2.2mmで無毛。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

アレチハナガサ

クマツヅラ科

侵入ランク A

Verbena brasiliensis

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納東、華陽、芥見東、岩、岩野田、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、鷺山、三里、三輪南・北、市橋、七郷、城西、常磐、西郷、早田、長森西・東・南・北、長良、長良西・東、島、日置江、日野、白山、方県、本郷、網代、柳津、藍川、鶉で記録がある。

＜種の概要＞ 裸地や礫地、草地に生育する多年草。茎は直立し、高さ1.5mに達する。茎の断面は四角形で中実、上部で分枝し枝は開出する。葉は対生し、下部の葉は鋸歯があり、基部は細まる。花期は6～9月。穂状花序は斜上して枝先に付き、淡紫色の花を多数つける。花は花序の基部から先に向かって順次4～5個が開く。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

アメリカセンダングサ

Bidens frondosa

キク科

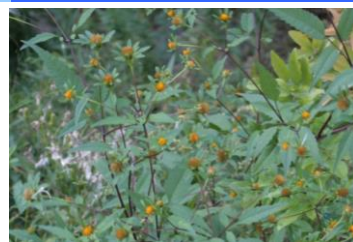
侵入ランク A

要注意外来生物(環境省)

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<市内分布> 茜部、加納東、華陽、芥見東、岩、岩野田、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、鷺山、三里、三輪南・北、市橋、七郷、常磐、西郷、早田、長森東・南、長良、長良西・東、島、日置江、日野、白山、方県、網代、柳津、藍川、鶉で記録がある。

<種の概要> 湿った草地、休耕田などに生育する一年草。茎は直立し、高さ 1~1.5m、紫褐色で多く分枝する。葉は対生し、羽状複葉。小葉は 3 または 5 枚、明瞭な柄があり、長さ 8~15cm、披針形で縁に粗い鋸歯がある。花期は 9~10 月。頭花は径 1~2cm、ごく短い黄色の舌状花がある。瘦果には頂端に逆刺のある刺が 2 個ある。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

コセンダングサ

Bidens pilosa var. *pilosa*

キク科

侵入ランク A

要注意外来生物(環境省)

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<市内分布> 茜部、加納東、華陽、芥見東、岩、岩野田、鏡島、金華、厚見、合渡、鷺山、三里、三輪南・北、市橋、七郷、常磐、早田、長森西・東・南・北、長良、長良西・東、日野、梅林、白山、方県、網代、柳津、藍川、鶉で記録がある。

<種の概要> 河原、空き地などに生育する一年草。茎は直立し高さ 50~120cm。葉は下部で互生、上部で対生し、卵状三角形、長さ 7~8cm、幅 5~6cm、2~3 回羽状に分裂し、小葉は卵状披針形。花期は 9~11 月。黄色の頭花をつける。通常筒状花のみだが時に舌状花も見られる。果体には頂端に 3~4 本の逆刺のついた刺があり、衣服や動物の毛について他の場所に運ばれる。



撮影：加藤範夫(市外撮影)

ヒメムカシヨモギ

Conyza canadensis

キク科

侵入ランク A

要注意外来生物(環境省)

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<市内分布> 茜部、加納東、華陽、芥見東、岩、岩野田、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、三里、三輪南、三輪北、市橋、常磐、早田、長森東・南、長良、長良西・東、徹明、島、日置江、日野、白山、方県、網代、柳津、藍川、鶉で記録がある。

<種の概要> 道端、空き地などに生育する一年草~越年草。茎は高さ 80~180cm、開出粗毛が密にある。根出葉はへら形。茎葉は線形~広線形、長さ 7~10cm、幅 0.5~1.5cm、まばらに鋸歯があるが全縁。花期は 8~10 月。頭花は径約 3mm、筒状花は淡黄色、舌状花は白色、舌状部は約 1mm。



撮影：加藤範夫

オオキンケイギク

Coreopsis lanceolata

キク科

侵入ランク A

特定外来生物(外来生物法)

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<市内分布> 茜部、加納東、華陽、芥見東、芥見東・南、岩、岩野田、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、鷺山、三里、三輪南・北、市橋、七郷、城西、常磐、早田、長森西・東・南・北、長良西・東、徹明、島、日置江、日野、梅林、白山、方県、本郷、本荘、明德、網代、木田、柳津、藍川、鶉で記録がある。

<種の概要> 道端や土手に生育する多年草。茎は高さ 30~70cm。葉は対生、時に一部互生。根生葉は長い柄があり、花時にも残り、3~5 小葉からなる。茎葉は狭倒披針形。花期は 5~7 月。径 5~7cm の黄色い花をつける。国内では庭や花壇のほか花の咲く法面緑化などに使用され、いたるところに逸出し、群落状に広がっている。



撮影：岐阜市自然環境課

ヒメジヨオン

Erigeron annuus

キク科

侵入ランク A

要注意外来生物(環境省)

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)

<市内分布> 茜部、加納東、華陽、芥見東、岩、岩野田、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、三里、三輪南・北、市橋、七郷、常磐、西郷、早田、長森西・東・南・北、長良、長良西・東、徹明、島、日置江、日野、白山、方県、本郷、網代、柳津、藍川、鶉で記録がある。

<種の概要> 市街地、農村、空き地、山地など様々な場所に生育する一年草~越年草。茎は高さ 30~120cm、まばらな開出粗毛があり中実。根出葉はロゼット状で、花時に枯れる。茎葉は卵形~狭長楕円形、長さ 5~15cm、幅 1.5~3cm、粗い鋸歯がある。上部の葉は無柄、下部のものは有柄。花期は 6~10 月。頭花は径約 2cm、筒状花は黄色、舌状花は白色~淡紅色。



撮影：近藤慎一

セイタカアワダチソウ

Solidago altissima

キク科

侵入ランク A

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納東、華陽、芥見、芥見東、岩、岩野田、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、鷺山、三里、三輪南・北、市橋、七郷、城西、常磐、西郷、早田、長森西・南・北、長良、長良東、徹明、島、日置江、日野、梅林、白山、方県、本郷、網代、柳津、藍川、鶉で記録がある。

＜種の概要＞ 道端、空き地、河川敷などに生育する多年草。茎は高さ 50～250cm。葉は線状長楕円形で辺縁には低い鈍鋸歯がある。長さ 5～15cm、幅 1～2.5cm、両面に短毛があり無柄。花期は 10～11 月。花序は大きな円錐状で、多数の黄色の花をつける。地下部から種子発芽を抑制するアレロパシー物質を分泌するため、時に大純群落を形成する。北アメリカ原産。別名：セイタカアキノキリンソウ、ヘイザンソウ。



撮影：近藤慎一

セイヨウタンポポ

Taraxacum officinale

キク科

侵入ランク A

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納西、加納東、華陽、岩、岩野田、岩野田北、金華、厚見、三輪北、常磐、長森南、長良、長良東、徹明、日置江、日野、白山、網代、柳津、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ 市街地から里山の道端などの草地に生育する多年草。花茎の高さは果時に 10～45cm。葉はロゼット状につき、長さ 3～50cm、幅 0.5～8cm、羽状浅裂～深裂。花期は 3～5 月が最盛期だがほぼ年中みられる。頭花は黄色で径 3.5～4.5cm。総苞外片はつぼみ時以外反転する。



撮影：近藤慎一

オオカナダモ

Egeria densa

トチカガミ科

侵入ランク A

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納東、岩、岩野田、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、鷺山、三輪南、七郷、常磐、西郷、早田、則武、長森南、長良東、島、日野、方県、網代、木田、柳津、藍川、鶉で記録がある。

＜種の概要＞ 湖沼、ため池、河川、水路などに生育する常緑多年生の沈水植物。全長は時に 1m を超え、上部は盛んに分枝する。葉は 3～5 輪生となり、長さ 1.5～4cm、幅 2～4.5mm、辺縁には細かい鋸歯がある。花期は 5～10 月。日本には雄株だけが帰化している。花(雄花)は白色で、水面上に出て開花する。



撮影：近藤慎一

コカナダモ

Elodea nuttallii

トチカガミ科

侵入ランク A

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、芥見、岩、岩野田、岩野田北、鏡島、厚見、合渡、黒野、鷺山、三輪南、三輪北、七郷、城西、常磐、西郷、長森東・南・東、島、日置江、日野、方県、網代、木田、柳津、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ 湖沼、ため池、河川、水路などに生育する常緑多年生の沈水植物。全長は時に 1m を超え、上部は盛んに分枝する。葉は 3 輪生となり、長さ 5～15mm、幅 1～2.5mm、辺縁には細かい鋸歯がある。ねじれたり反り返ったりすることも多い。花期は 5～9 月。日本には雄株だけが帰化している。花(雄花)は、白色でつぼみの時に花茎を伸ばし、水面で開花する。



撮影：加藤範夫(市外撮影)

アレチギシギシ

Rumex conglomeratus

タデ科

侵入ランク B

＜原産地等＞ ユーラシア(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納東、華陽、厚見、黒野、三里、三輪北、市橋、西郷、長森南、日置江、白山、鶉で記録がある。

＜種の概要＞ 荒地や道端に生育する多年草。茎は直立し、高さ 40～120cm、枝は著しく開出する。花時には根出葉は無い。茎葉の葉身は長楕円形～長楕円状披針形で長さ 8～18cm、幅 2～7cm、縁は波状となる。茎の上部に向かって次第に苞葉になる。花期は 5～7 月。中～上部の茎や枝の節に多数束生する花序を出す。果時の 3 枚の内花被片は三角状舌形で、長さ 2.5～3mm、幅 1.3～1.8mm で全縁。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

ヨウシュヤマゴボウ

ヤマゴボウ科

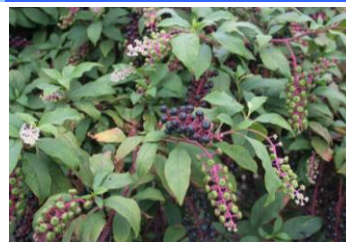
侵入ランクB

Phytolacca americana

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 加納東、華陽、岩、岩野田、岩野田北、金華、厚見、合渡、三輪南・北、常磐、早田、長森西・東・南、長良、長良西・東、日野、梅林、白山、方県、網代、木田、柳津、藍川、鶯で記録がある。

＜種の概要＞ 道端や空き地に生育する大型の多年草。茎は高さ 0.7～2.5m で分枝し、帯紅色。葉は互生し、長さ 2～6cm の柄があり、葉身は楕円形で長さ 5～30cm、幅 2.5～13cm。花期は 6～10 月。花序は総状で、葉と相対してつき、花時には直立し、果時には下垂する。花は白色か帯紅色、径 4～6mm、花被片は 5 枚。果実は液果で偏球形、径約 8mm、黒熟し多汁質。別名：アメリカヤマゴボウ。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

オランダミミナグサ

ナデシコ科

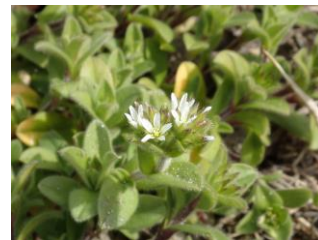
侵入ランクB

Cerastium glomeratum

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納西・東、華陽、岩、金華、厚見、三輪南・北、長森南、長良東、日野、網代、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ 畑、草地、道端などに生育する越年草。茎は根際から分枝して立ち上がり、高さ 10～30cm。茎、葉、萼片の外側に軟毛と腺毛が密生する。葉は対生、卵形～長楕円形で長さ 5～25mm、幅 2～20mm、柄は無い。花期は 4～5 月。花は多数が集散状に集まり、花柄は萼片よりも短い。花弁は白色で先は 2 浅裂。



撮影：近藤慎一(市外撮影)

コハコベ

ナデシコ科

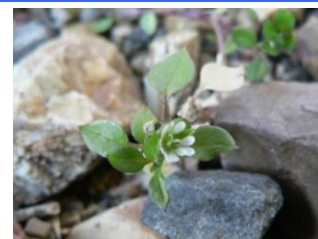
侵入ランクB

Stellaria media

＜原産地等＞ ユーラシア(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納東、華陽、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、三輪南、三輪北、七郷、西郷、長森西・南、梅林、白山、網代で記録がある。

＜種の概要＞ 畑、草地、道端などに生育する越年草。茎は基部から枝を分けて広がり、片側に短い軟毛があつて、高さ 10～20cm になる。葉は下部の物は有柄、上部のものは無柄となり長さ 1～2cm、幅 8～15mm、両面共に無毛。花期は 3～9 月。花は集散花序につき、花弁は白色で 2 深裂する。種子は腎円形で径 1～1.2mm、低いいぼ状突起がある。



撮影：大塚英樹

アリタソウ

アカザ科

侵入ランクB

Chenopodium ambrosioides

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、華陽、鏡島、金華、厚見、合渡、三里、三輪北、市橋、早田、長森南、長良、長良西・東、徹明、日置江、白山、方県、柳津、鶯で記録がある。

＜種の概要＞ 荒地や道路脇の法面に生育する一年草。茎や葉の裏面には黄色の腺体があり、強い匂いを放つ。茎は高さ 30～80cm。葉は卵形～披針形、長さ 3～13cm、幅 0.5～3.5cm、不揃いの深い鋸歯縁。花期は 7～11 月。花は少数個が集まって、頭状の分花序を作る。

ホナガイヌビユ

ヒユ科

侵入ランクB

Amaranthus viridis

＜原産地等＞ 熱帯アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、岩野田北、金華、三輪北、早田、長森南、長良、長良西、柳津で記録がある。

＜種の概要＞ 道端や畑地に生育する一年草。茎は高さ 20～30cm、無毛で赤みを帯びる。葉は互生し長柄があり、卵形～三角形卵形、長さ 4～11cm、幅 3～8.5cm、円頭～わずかに凹頭。花期は 6～10 月。花序は花穂状で茎と枝の頂に生じる。花は最初緑色だがのち帯褐色、花被片は 3 枚。別名：アオビユ。

カラシナ	アブラナ科	侵入ランク B
-------------	-------	----------------

Brassica juncea

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)

<市内分布> 茜部、加納東、岩、金華、厚見、三輪北、長良、長良東、日野、柳津、藍川で記録がある。

<種の概要> 耕作地、荒地、道端などに生育する一年草。茎は直立し上部で分枝し高さ30~100cm。葉は下部のものは大型で長さ30cmに達する。上部の茎葉は次第に小型になり無柄となる。花期は3~4月。花は黄色で径約1cm。花弁は4枚。果体は長さ3~6cmの長角果となり、5~15mmの細い果柄がある。別名：セイヨウカラシナ。



撮影：加藤範夫

マメグンバイナズナ	アブラナ科	侵入ランク B
------------------	-------	----------------

Lepidium virginicum

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<市内分布> 茜部、加納東、華陽、芥見東、岩、鏡島、金華、厚見、合渡、三里、三輪北、市橋、早田、長森南、長良、長良西・東、日置江、日野、方県、柳津、藍川、鶉で記録がある。

<種の概要> 平地の草地や道端に生育する一年草~二年草。茎は直立し、高さ20~40cm、上部は多く分枝し、乳頭状の細毛がある。根生葉はロゼット状で羽状に破裂し、花時には枯れる。上部の茎葉は線形~線状倒披針形。花期は5~6月。総状花序には多数花がつく。花は白色。短角果は狭隔膜方向に扁平になり、円形で長さ2.5~3mm、先が小さく凹む。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

オランダガラシ	アブラナ科	侵入ランク B 要注意外来生物(環境省)
----------------	-------	--------------------------------

Nasturtium officinale

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)

<市内分布> 岩野田北、鏡島、合渡、黒野、鷺山、三輪南・北、市橋、七郷、西郷、早田、則武、島、方県、網代、木田、藍川で記録がある。

<種の概要> 水辺から水中に生育する多年草。茎は高さ20~60cmで中空、下方の節から根が出る。葉は奇数羽状複葉で、側小葉は1~5対、広卵形~円形、縁の浅い凹みに少数の半透明の腺点がある。沈水している葉は著しく大きくなる。花期は5月。花は総状花序につき、白色、花弁は4枚、長さ4~5mm。長角果は弓形に曲がり長さ1~1.5cm。



撮影：近藤慎一

ツルマンネングサ	ベンケイソウ科	侵入ランク B
-----------------	---------	----------------

Sedum sarmentosum

<原産地等> 中国北部~朝鮮半島(国外外来種)

<市内分布> 茜部、加納東、華陽、岩、鏡島、金華、厚見、合渡、三里、三輪南、市橋、七郷、早田、長森南、長良、長良西・東、日置江、日野、白山、方県、柳津、藍川、鶉で記録がある。

<種の概要> 石垣、崖地、河原などに生育する多年草。茎は紅紫色を帯びてつる状に伸び、長さ30cmになる。葉はふつう3輪生するが、一部対生や互生になることがある。葉身は淡黄緑色で菱状狭楕円形~菱状披針形、長さ1.3~2.5cm、幅3~8mm。花期は5~6月。5数性で、茎頂の集散花序に15~30花つき、径約12mm、花弁は黄色で平開する。日本では結実しない。

イタチハギ	マメ科	侵入ランク B 要注意外来生物(環境省)
--------------	-----	--------------------------------

Amorpha fruticosa

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<市内分布> 岩、鏡島、金華、合渡、三輪北、長良東、日置江、日野、柳津、藍川、鶉で記録がある。

<種の概要> 林縁部、道端などに生育する落葉性の低木。樹高は1~3m。葉は奇数羽状複葉、側小葉は6~15対。小葉は普通卵形~長楕円形、先端は中肋が突出し微突形となる。花期は4~7月。枝先に3~5個の総状花序を出し、濃紫色の花を多数密集してつける。豆果は扁平な狭楕円形、長さ5~8mm。



撮影：近藤慎一

ブルーリスト
植物

ハナカタバミ

カタバミ科

侵入ランクB

Oxalis bowieana

＜原産地等＞ アフリカ南部(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納東、華陽、岩、厚見、三輪北、長森南、長良東、徹明、日置江、日野、白山、柳津、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ 道端に生育する多年草。根は紡錘形。地上茎は無く、葉は3小葉で全て根生する。葉柄は長さ5~30cm、腺毛が密生する。小葉は円形で、長さ幅ともに3~8cm、先端は少し凹み腺毛がある。花期は3~4月及び8~11月。花は5数性で径3~5cm。花弁は倒卵形で長さ2~2.5cm、幅1.5~2cm、紅色または白色で、やや濃色の脈がある。花の中心は黄色。

アメリカフウロ

フウロソウ科

侵入ランクB

Geranium carolinianum

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納東、華陽、岩、厚見、三輪北、長森南、長良東、日置江、日野、白山、網代、柳津、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ 空き地や道端に生育する一年草。茎は高さ10~60cmで、他のものに寄りかかり分枝し、微細な開出する白毛と腺毛を密生する。葉は幅3~4cm、掌状に深く切れ込み、裂片はさらに細裂する。花期は3~6月。散形花序に2~6花つき、小花柄は長さ5~12mm。花は径約2cmで淡紅色。



撮影：大塚英樹

コニシキソウ

トウダイグサ科

侵入ランクB

Chamaesyce maculata

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、芥見東、岩、岩野田北、厚見、合渡、三輪北、市橋、長森南、長良東、徹明、日野、白山、方県、柳津で記録がある。

＜種の概要＞ 耕作地や道端に生育する一年草。茎は地表を匍匐し、全体的に分枝し、長さ6.5~38cm、上向きの軟毛がある。葉は対生し楕円形、長さ5~15mm、幅2~6mm、裏面に軟毛がある。花期は6~12月。杯状花序は集散状に集まり、小型化した葉または鱗片をもつ。蒴果は広卵形で径約1.3mm、上向きの圧着する短毛が密に生える。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

ナンキンハゼ

トウダイグサ科

侵入ランクB

Triadica sebifera

＜原産地等＞ 中国(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、華陽、芥見東、鏡島、金華、厚見、合渡、三里、三輪北、市橋、早田、長森東・南、長良、長良西、徹明、白山、柳津、鶉で記録がある。

＜種の概要＞ 蠟の採取や用材のために栽培され、一部野生化している落葉高木。樹高15mに達する。樹皮は灰褐色で不規則に縦に裂ける。葉は互生し、革質で長さ2~8cmの柄がある。葉身は菱状卵形で、長さ3.5~7cm、葉身の基部に2個の目立つ腺点がある。花期は7月。花は枝先の長さ6~18cmになる総状花序につき、上部には多数の雄花、下部に1~3個の雌花をつける。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

ニワウルシ

ニガキ科

侵入ランクB

Ailanthus altissima

＜原産地等＞ 中国(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納東、華陽、鏡島、金華、厚見、合渡、早田、長良、長良西・東、日置江、日野、梅林、木田、柳津、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ 公園などに植栽されるほか河川沿いにも野生化している落葉高木。樹高は25mに達する。葉は13~25枚の小葉からなる奇数羽状複葉で、長さ40~100cm、葉柄や葉軸には短毛が密生するかのち無毛。小葉は長卵形で先は細く尖り、長さ7~12cm、幅2.5~5cm、縁の下部には先が腺に終わる1~2対の鈍鋸歯がある。花期は6月。枝先に数本の円錐花序を作り、多数の緑白色の花をつける。別名：シンジュ。



撮影：近藤慎一(市外撮影)

ホソバヒメミソハギ

ミソハギ科

侵入ランクB

Ammannia coccinea

＜原産地等＞ アメリカ大陸(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、三輪北、長森南、柳津で記録がある。

＜種の概要＞ 水田や川辺の泥土などに生育する一年草。茎は4稜あり、直立し、高さ20～100cm。斜上する多くの枝を出す。葉は狭披針形～線形で対生する。葉の基部はほこ型に貼り出し茎を抱く。花期は6～11月。葉腋に2～5個付く。花弁は4枚で紫紅色。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

ヒレタゴボウ

アカバナ科

侵入ランクB

Ludwigia decurrens

＜原産地等＞ 熱帯アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、長森東・南、長良東、日野、方県、網代、柳津で記録がある。

＜種の概要＞ 休耕田や水辺に生育する一年草。茎は4稜あり直立し、高さ1mになる。葉は互生し無柄、披針形～狭楕円形で長さ5～12cm、幅1.5～3cm。花期は8～10月。4数性で、腋生する。花弁は黄色で倒卵形、長さ8～12mm、水平に開き散りやすい。蒴果は4稜あって四角柱状となり、長さ1～2cm。別名：アメリカミズキンバイ。



撮影：近藤慎一(市外撮影)

メマツヨイグサ

アカバナ科

侵入ランクB

Oenothera biennis

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、華陽、岩、金華、厚見、合渡、三里、三輪南、三輪北、市橋、早田、長森東・南、長良、長良西・東、日野、方県、網代、柳津、藍川、鶉で記録がある。

＜種の概要＞ 道端、空き地、河原などに生育する二年草。茎は直立し、高さ0.3～2m、剛毛と基部が膨らむ長毛がある。また地上部にはロゼットを形成する。葉は倒披針形で長さ5～22cm、幅1～6cm、縁は歯状。花期は6～10月。葉腋についた花序に黄色の花をつける。しばむと橙色になる。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

コマツヨイグサ

アカバナ科

侵入ランクB

Oenothera laciniata

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納西・東、華陽、岩、鏡島、金華、厚見、合渡、三輪北、早田、長森南、長良、長良西・東、日置江、日野、柳津、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ 荒地や河原などに生育する一年草～多年草。茎は高さ5～50cmで直立または平伏し、ロゼットを形成する。葉は倒披針形～長円形～狭楕円形、長さ2～10cm、幅0.4～3.5cm、縁は浅裂する。花期は4～11月。茎上部の葉腋についた花序に黄色～淡黄色の花をつける。しばむと橙色になる。花序には剛毛のほか長毛と腺毛がある。



撮影：近藤慎一

ユウゲシヨウ

アカバナ科

侵入ランクB

Oenothera rosea

＜原産地等＞ アメリカ大陸(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、華陽、岩、厚見、合渡、三輪北、七郷、長森南、長良東、日野、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ 道端や草地などに生育する多年草。茎は高さ7～65cmになり、剛毛があり長毛が混ざる。葉は楕円形～卵形、長さ1～6cm、幅0.4～2.5cm、下部の葉は羽状中裂することもある。花期は5～9月。直立する茎の上部の葉腋につき、夕暮れに開花する。花弁は桃色～紅紫色を帯び、広卵形、長さ0.4～1.2cm、しばむと濃色になる。子房には剛毛がある。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

マルバルコウ

ヒルガオ科

侵入ランク B

Ipomoea coccinea

＜原産地等＞ 熱帯アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 岩野田北、合渡、黒野、三里、三輪北、市橋、西郷、長森東・南、日置江、柳津、鶉で記録がある。

＜種の概要＞ やや湿潤な草地などに生育するつる性の一年草。茎には4稜ある。葉は互生し、葉柄は細く長さ1.5～6mm。葉身は広卵形～卵円形、長さ3～7cm、幅1.5～5cm、先は鋭く尖り基部は心形。花期は8～10月。葉腋から花序を伸ばし、先に2～5個の花をつける。花冠は朱赤色、筒部の先が広く開き、長さ約2cm、幅約1.5cm。蒴果は球形で径約5mm。



撮影：大塚英樹

マメアサガオ

ヒルガオ科

侵入ランク B

Ipomoea lacunosa

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、岩野田北、厚見、合渡、三里、三輪北、市橋、長森西・南・北、長良東、日野、柳津、鶉で記録がある。

＜種の概要＞ 荒地、道端、川原などに生育するつる性の一年草。茎には4稜あり、長さ1～3mになる。葉は互生し、葉柄は細く、長さ2～5cm、葉身は広卵形で時に3裂し、長さ3～8cm、幅2～7cm、先は細長く尖り、基部は心形、両面に毛が散生する。花期は7～9月。葉腋から花序を伸ばし、1～5個の花をつける。花冠は白色で漏斗形、長さ幅ともに約2cm。花柄には多数のこぶ状突起がある。蒴果はやや平たい球形で、長さ8～10mm。



撮影：近藤慎一

マルバアサガオ

ヒルガオ科

侵入ランク B

Ipomoea purpurea

＜原産地等＞ 熱帯アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、三輪北、城西、早田、長森南、島、本郷、柳津で記録がある。

＜種の概要＞ 道路や荒地などに生育するつる性の一年草。茎には下向き長毛がある。葉は互生、葉柄は長さ2～10cm、短く伏した毛が生える。葉身は卵円形で長さ3～10cm、幅2.5～10cm、先は短く尖り、基部は心形。両面に短毛がやや密に生える。花期は8～9月。葉腋に花序をだし、1～5個の花を散形につける。花冠は漏斗形で、長さ4～7cm、幅5～7cm、白色、淡紅色、紅紫色、青紫色など様々。蒴果は球形、花後下向きになる。

ヤナギハナガサ

クマツヅラ科

侵入ランク B

Verbena bonariensis

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 加納西・東、華陽、厚見、三輪北、長森南、柳津で記録がある。

＜種の概要＞ 裸地や礫地、草地に生育する多年草。茎は直立し高さ1.5mに達する。全体に剛毛がありざらつく。茎の断面は四角形で稜があり、中空。良く分枝し、枝は斜上する。葉は広線形～狭楕円形で対生。下部の葉には不整の鋸歯がある。花期は6～9月。枝先に密に穂状花序が散房状に集まってつく。花冠は紅紫色。萼は筒状で先はわずかに5列し、普通の毛の他に微細な腺毛がある。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

ヒメオドリコソウ

シソ科

侵入ランク B

Lamium purpureum

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)

＜市内分布＞ 厚見、三輪南・北、長森南、網代で記録がある。

＜種の概要＞ 道端などに生育する越年草。茎は下部で分枝し立ち上がり、高さ10～30cm、4稜あり下向き短毛がある。葉は対生し、下部のものは有柄、上部のものは無柄。葉身は心形で、表面は細脈部が著しく凹入してしわとなる。花期は5～6月。花は上部の葉腋に密につき、長さ約1cm、紅紫色(稀に白色)、唇形で上唇の背には粗毛がある。



撮影：近藤慎一(市外撮影)

アメリカヌホオズキ

ナス科

侵入ランクB

Solanum ptychanthum

＜原産地等＞ 北～熱帯アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 金華、三輪北、市橋、早田、長良、長良西、徹明、梅林、白山、柳津、芥見東、金華、三輪北、長森南で記録がある。

＜種の概要＞ 道端に生育する一年草。茎は直立または斜上し、高さ40～80cm、若枝時には伏毛がある。葉は互生、葉身は質薄く、卵形～長卵形、長さ2～12cm、幅1～5cm、先は尖る、表面と裏面脈状に短毛が散生する。花期は5～12月。枝の途中あるいは葉に対する場所に花序をだし、2～6個の花を散形につける。花冠は白色。液果は球形で径約5mm、黒熟する。

アメリカアゼナ

ゴマノハグサ科

侵入ランクB

Lindernia dubia subsp. *major*

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 芥見東、金華、三輪北、長森南、日野、柳津で記録がある。

＜種の概要＞ 水田や湿潤な場所に生育する一年草。茎は分枝して直立または斜上し、高さ10～30cm。葉は対生、上部のものは無柄。葉身は卵形～長楕円形で長さ1～3cm、幅0.5～1.3cm。花期は7～9月。上部の葉の腋ごとに1花をつける。花柄は長さ4～10mm、葉より短い。花冠は唇形、淡紫色で長さ8～10mm、下唇は上唇より長い。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

マツバウンラン

ゴマノハグサ科

侵入ランクB

Nuttallanthus canadensis

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納西・東、華陽、岩、厚見、三輪北、長森南、長良東、徹明、島、日野、白山、網代、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ 造成地などの荒地に生育する一年草。茎は基部で分枝して直立、高さ30～60cm。葉は下部では対生または輪生、上部では互生。葉身は線形で、先が尖り長さ1～3cm、幅0.3～1mm、1脈がある。花期は4～5月。枝先に穂のような総状花序を出し、まばらに多数の花をつける。花冠は仮面上の唇形、長さ4mm、紫色で下唇の下部は隆起して白色。



撮影：加藤範夫

タチヌノフグリ

ゴマノハグサ科

侵入ランクB

Veronica arvensis

＜原産地等＞ ユーラシア(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納西・東、華陽、岩、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、三輪北、七郷、西郷、長森南、長良東、日野、白山、網代、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ 道端に生育する一年草。茎は根際で分枝し斜上、高さ7～25cm、白色の軟毛が生える。葉は対生、中部以上では無柄。葉身は卵形で長さ5～15mm、幅3～14mm、2～4個の鋸歯があり両面に毛がある。花期は4～5月。上部の小型の葉腋ごとに1花をつける。花冠は皿形で深く4裂し、淡紫色、径約2mm。蒴果は倒心臓形で幅約4mm。縁に短い腺毛がある。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

オオイヌノフグリ

ゴマノハグサ科

侵入ランクB

Veronica persica

＜原産地等＞ ユーラシア(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納西・東、岩、金華、厚見、三輪南・北、長良東、日置江、日野、方県、網代、柳津、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ 畑や道端に生育する越年草。茎は分枝して這い、長さ10～30cm。葉は茎の下部では対生、中部から上方では互生。葉柄は1～6mm。葉身は卵形～卵円形、長さ6～20mm、幅4～15mm、2～4個の大型の鋸歯がある。花期は3～5月。葉腋ごとに1花をつけ、花柄は長さ1～2cm。花冠は青紫色。蒴果は扁平な倒心臓形、径約8mm。



撮影：近藤慎一

キキョウソウ

キキョウ科

侵入ランクB

Triodanis perfoliata

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納西・東、華陽、岩、鏡島、厚見、合渡、三輪北、長森南、長良東、島、日野、柳津、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ 道端や公園の空き地などに生育する一年草。茎は直立し、高さ15～100cm。角ばって数本の稜がある。葉は無柄で多数が互生し、円形～広卵形で長さ1～3cm、低い鋸歯があり、基部は心形で茎を抱く。花期は5～7月。葉腋に1～2個つき無柄または短柄。花には開放花と閉鎖花があり、開放花の花冠は鮮紫色。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

オオブタクサ

キク科

侵入ランクB

Ambrosia trifida

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 芥見東、岩、金華、三輪南、三輪北、城西、早田、長良、長良西・東、島、日置江、日野、本郷、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ 空き地や河川敷などに生育する多年草。茎は太く上部で枝分かかれし、高さ1～4m。葉は対生し、長さ20～35cm、桑の葉に似ており、掌状に3～5裂し、長い柄がある。花期は7～9月。雄花序は枝の頂部に総状につき、雌花序は下方の葉腋に塊状につく。別名：クワモドキ。



撮影：近藤慎一(市外撮影)

ヒロハホウキギク

キク科

侵入ランクB

Aster subulatus var. *sandwicensis*

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、鏡島、合渡、三輪南、長森南、柳津で記録がある。

＜種の概要＞ 道端、空き地、埋め立て地などに生育する一年草～越年草。明るくやや湿った環境を好む。茎は高さ50～120cm。葉は狭長楕円形～線状長楕円形で中央部の幅が最も広い。花序の枝は広く(60～90度)開出する。花は舌状花が淡紅桃色で冠毛より長くよく目立つ。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

オオアレチノギク

キク科

侵入ランクB

Conyza sumatrensis

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 芥見東、岩、岩野田北、鏡島、金華、合渡、三里、三輪南・北、市橋、長森南、長良、長良東、日野、方県、網代、柳津、藍川、鶴で記録がある。

＜種の概要＞ 道端、空き地などに生育する一年草～越年草。茎は高さ80～180cm、全体に開出軟毛が密にある。葉は両面に密に短毛があり、狭楕円形～線状倒披針形、長さ8～15cm、幅1～2cm、まばらに鋸歯がある。花期は8～10月。頭花は径4～5mm、筒状花は淡黄色、舌状花は極めて短く汚白色。



撮影：加藤範夫(市外撮影)

ベニバナボロギク

キク科

侵入ランクB

Crassocephalum crepidioides

＜原産地等＞ アフリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 岩野田北、金華、三輪北、長良、長良東、方県、網代、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ 道端や伐採跡地などに生育する一年草。茎は直立し、高さ50～70cm、毛を散生する。葉は互生で柄があり、基部の裂片を除き楕円形～倒披針形、長さ5～15cm、幅1～8cm、辺縁には不規則な切れ込みがある。花期は8～10月。総苞は円筒形、舌状花は無く、筒状花は両性。花冠上部は鐘上に広がり、初め紅赤色、後に橙赤色になる。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

アメリカタカサブロウ

Eclipta alba

キク科

侵入ランクB

＜原産地等＞ アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 岩、三輪南・北、長良東、日置江、日野、網代、柳津で記録がある。

＜種の概要＞ 水田の畔、畑、道端などに生育する一年草。茎は高さ10～60cm。葉は対生し、長さ4～15cm、幅5～20mm、先端は尾状に尖り、基部は次第に狭くなり葉柄は無い。鋸歯縁で表面に伏毛がある。花期は7～9月。頭花は幅約5mm、舌状花は2列に並び白色、筒状花も白色で先が4裂する。舌状花の瘦果は三角柱形、筒状花の瘦果は平たい4稜形で、先端に1～3個の歯があり、側面全体にこぶ状突起がある。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

ハルジオン

Erigeron philadelphicus

キク科

侵入ランクB

要注意外来生物(環境省)

＜市内分布＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納西・東、華陽、岩野田、鏡島、厚見、合渡、三輪北、常磐、長森南、日置江、網代、柳津で記録がある。

＜種の概要＞ 道端、空き地などに生育する一年草～越年草。茎は高さ30～80cm、全体に軟毛があり中空。根出葉はロゼット状で花時にも枯れない。茎葉は楕円状披針形、長さ5～15cm、幅1.5～3cm、無柄。花期は4～8月。頭花は径2～2.5cm、筒状花は黄色、舌状花は白色～淡紅色。別名：ハルシオン、ベニバナヒメジョオン。



撮影：加藤範夫

ウラジロチチコグサ

Gamochaeta coarctata

キク科

侵入ランクB

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 加納西・東、華陽、芥見東、岩、金華、厚見、三輪南・北、長森南、長良、長良東、徹明、日野、白山、柳津で記録がある。

＜種の概要＞ 乾いた道端、空き地、芝地などに生育する一年草～越年草。根生葉が多数あってロゼット状に広がる。茎は基部で分枝し、初め横に這い、その後立ち上がり高さ20～70cm、綿毛を密生する。葉は互生し、倒披針形～広線形、基部もほとんど狭まらず、円形～鈍頭、表面は毛が無く緑色、裏面は伏せた白綿毛が密生する。花期は4～8月。花序は高く穂状に伸び、葉腋に多数の頭花が固まってつく。総苞片は紅紫色～褐色。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

チチコグサモドキ

Gamochaeta pensylvanica

キク科

侵入ランクB

＜原産地等＞ 熱帯アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納東、華陽、金華、厚見、三輪北、徹明、白山、柳津、鶉で記録がある。

＜種の概要＞ 畑、空き地、道端に生育する一年草～越年草。茎は基部で分枝するか単純で、高さ20～60cm。全株灰白色の毛に覆われる。葉は開出しへら形で、長さ2～8cm、幅5～12mm、先は円く微凸形、両面ともに白い綿毛に覆われる。花期は4～10月。花序は上部の葉腋に短く固まってつく。頭花は長さ4～5.5mm。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

オノゲシ

Sonchus asper

キク科

侵入ランクB

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納東、華陽、岩、鏡島、厚見、合渡、黒野、三輪北、七郷、西郷、長良東、日置江、日野、柳津、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ 道端、畑、荒地に生育する一年草～越年草。茎は大きくて中空、高さ20～100cmになる。葉は羽状に中～深裂し、鋸歯縁、先は鋭い刺に中部以上の葉は無柄で、基部両側は半円形の耳となって茎を抱く。花期は4～7月。頭花は径約1.5cm、舌状花は黄色、冠毛は純白。瘦果は長さ約2.5mm、扁平で両面に縦の3稜がある。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

オオオナモミ

Xanthium occidentale

キク科

侵入ランクB

要注意外来生物(環境省)

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<市内分布> 茜部、加納東、岩、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、鷺山、三里、三輪南・北、市橋、常磐、西郷、早田、長森南、長良、長良西・東、日置江、日野、方県、藍川、鶉で記録がある。

<種の概要> 河川敷や水際などやや湿潤な場所に生育する一年草。茎は短毛があつてざらつき高さ50~200cmにもなる。葉は広卵形で、長さ5~15cm、幅4.5~15cm、3~5に中裂する。花期は9~12月。雄花は黄白色、雌花は淡緑色。いが(成熟した雌花の総苞)は長さ15~25mm、幅10~18mm、頂端に長さ約5mmの2個の角があり、表面には先の曲がった3~6mmの刺が密生する。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

キシウブ

Iris pseudacorus

アヤメ科

侵入ランクB

要注意外来生物(環境省)

<原産地等> ユーラシア(国外外来種)

<市内分布> 茜部、加納東、華陽、岩、岩野田、岩野田北、金華、厚見、合渡、黒野、鷺山、三里、三輪北、市橋、七郷、常磐、西郷、早田、長森東・南、長良、長良東、島、日置江、日野、白山、網代、柳津、藍川、鶉で記録がある。

<種の概要> 水辺に生育する多年草。地下には横に這う太い根茎があり、分枝して繁殖する。葉は長さ60~100cm、幅2~3cm。花期は5~6月。花茎は直立し葉よりも高くなり、1~2個の黄色の花をつける。



撮影：近藤慎一

ニワゼキショウ

Sisyrinchium rosulatum

アヤメ科

侵入ランクB

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<市内分布> 茜部、加納西・東、華陽、岩、厚見、三輪北、長森南、長良東、島、日野、藍川で記録がある。

<種の概要> 芝地や砂地に生育する多年草。高さ10~20cm。地下茎は発達せず、細いひげ根を密生する。葉は剣状、幅2.5mm以下と細く、やや鎌状に曲がる。花期は5~6月。花茎は葉よりも高く、狭い翼があり、1~2回分枝する。花は糸状の花柄があり、径約1.5cm。花被片はふつう淡紫色で下部は紫色。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

メリケンカルカヤ

Andropogon virginicus

イネ科

侵入ランクB

要注意外来生物(環境省)

<原産地等> 北~中央アメリカ(国外外来種)

<市内分布> 華陽、芥見東、岩野田、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、鷺山、三輪南、三輪北、常磐、長森南、梅林、方県、網代、柳津、藍川で記録がある。

<種の概要> 道端や草地に生育する多年草。稈は多数が束になって直立し、高さ50~80cm。結実する頃には葉とともに赤褐色となる。葉は長さ10~30cm、幅2~5mm。中央脈に沿って2つ折りとなり多くは稈に沿って直立する。花期は10~11月。苞葉に包まれた数本の総には白い長毛があり、これに無柄の両性小穂と無性小穂が対となってつく。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

ヒメコバンソウ

Briza minor

イネ科

侵入ランクB

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)

<市内分布> 加納西・東、華陽、岩、鏡島、厚見、合渡、三輪北、長森南、長良東、日野、柳津、藍川で記録がある。

<種の概要> 明るい草地や荒地に生育する一年草。稈は高さ10~60cmで単生または束生し、基部からはぼ直立する。葉身は長さ3~12cm、幅1~6mm、縁と上面はざらつく。葉舌は白色の膜質で、高さ3~7mm。円錐花序は長さ4~20cm、花序枝は各節に2本ずつつき、2~3回分枝し、それぞれの先に下向きに1つずつ小穂をつける。小穂は卵状三角形、長さ3~5mm。4~8小花がある。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

イヌムギ

Bromus catharticus

イネ科

侵入ランクB

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納東、華陽、厚見、黒野、三輪北、七郷、西郷、長森南、徹明、日置江、白山、柳津で記録がある。

＜種の概要＞ 道端や土手などに生育する越年草～短命な多年草。茎は叢生し、高さ40～100cm。葉身は長さ15～30cm、幅4～10mm、上面無毛、下面にはまばらに毛がある。葉舌は高さ3～5mm。花期は4～5月。円錐花序は大形で散開し、長さ15～25cm。小穂は6～9小花からなり扁平で無毛。長さ20～30mm。英名：プレーリー・グラス。

シナダレスズメガヤ

Eragrostis curvula

イネ科

侵入ランクB

要注意外来生物(環境省)

＜市内分布＞ 南アフリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 華陽、岩、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、三里、三輪南、市橋、早田、長森東・南、長良、長良西・東、日置江、日野、方県、藍川、鶉で記録がある。

＜種の概要＞ 道端や河川敷などに大群落を形成する多年草。大株になり、高さ60～120cm。葉は長さ40～60cm、幅1.5～2mmで内側に巻く。花期は8～10月。円錐花序は長さ20～40cm、開出あるいは斜上する2～5本の枝を半輪生状につけ、その上方1/3～1/2に小穂をつける。小穂は鉛色で披針形、長さ6～12mm、7～11小花からなる。英名：ウイーピング・ラブグラス。



撮影：佐藤克則

コスズメガヤ

Eragrostis minor

イネ科

侵入ランクB

＜原産地等＞ ユーラシア(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、岩、合渡、三輪北、市橋、長森南、長良東、徹明、日野、白山、柳津、鶉で記録がある。

＜種の概要＞ 道端、畑、グラウンド、河川敷などに生育する一年草。茎は高さ10～50cm、節には茎を取り巻く環状の腺がある。葉身は幅2～5mm、縁に盤状の小さな腺があり、葉鞘の口部に長毛がある。葉舌は短毛の列となる。花期は8～10月。花序は長さ7～20mm、枝の所々に環状の腺がある。小穂は淡緑色で長さ3～8mm、幅1.5～2mm、4～12小花からなる。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

ネズミムギ

Lolium multiflorum

イネ科

侵入ランクB

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ ユーラシア(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納西・東、華陽、岩、岩野田、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、三輪北、七郷、常磐、西郷、早田、長森南、長良、長良西・東、徹明、日置江、日野、白山、柳津、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ 日あたりの良いやや乾燥した場所に生育する一年草～二年草。稈は束生し高さ30～100cm。葉は長さ6～25cm、幅3～10mm、基部の両側には三日月形の葉耳が発達する。花期は5～7月。花序は穂状で、長さ10～30cm。無柄の小穂が中軸の両側に2列に交互に並ぶ。護穎には5～12mmの細い芒がある。国内では牧草や法面緑化に利用されている。英名：イタリアン・ライグラス。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

シマスズメノヒエ

Paspalum dilatatum

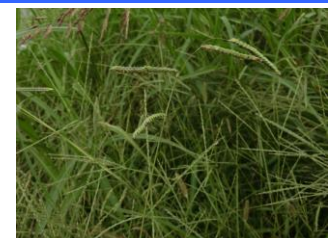
イネ科

侵入ランクB

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、芥見東、鏡島、金華、厚見、合渡、三里、三輪北、市橋、長森西、長森南・北、長良、徹明、日置江、白山、方県、柳津、鶉で記録がある。

＜種の概要＞ 道端や土手に生育する多年草。茎は叢生し、高さ50～150cm。葉身は長さ10～30cm、幅5～12cm、両面共に無毛。基部の葉鞘には開出毛がある。葉舌は高さ2～4mm。花期は7～10月。花序は3～7本の総を開出またはやや下垂してつける。総は長さ5～10cm、総の基部には白色長毛があり、軸の片側に2～3列に小穂が並ぶ。開花時には黒色の柱頭と葯が目立つ。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

キシウスズメノヒエ

Paspalum distichum

イネ科

侵入ランクB

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 熱帯(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、市橋、長森西・東・南・北、柳津で記録がある。

＜種の概要＞ 湿地や水路に生育する多年草。稈の基部は長く匍匐し、節から根を出す。これから分枝した稈は直立し、高さ20～40cm。葉は長さ5～10cm、幅3～8mm。花期は7～10月。花序は2個の総からなり、総の長さ4～9cm、中軸の下側に淡緑色の小穂が2列に並ぶ。開花時には紫黒色の柱頭が目立つ。



撮影：近藤慎一(市外撮影)

タチスズメノヒエ

Paspalum urvillei

イネ科

侵入ランクB

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、岩、鏡島、厚見、合渡、長森南、長良東、日野、方県、柳津で記録がある。

＜種の概要＞ 道端などに生育する多年草。茎は高さ70～150cm。葉身は長さ10～40cm、幅5～15mm、両面共に無毛または裏面にのみまばらに毛がある。基部の葉鞘には開出毛があるが、上部は口部を除いて無毛。葉舌は高さ2～4mm。花期は7～9月。花序は10～20本の総を直立あるいは斜上する。総は長さ4～10cm。総の基部には白色長毛があり、軸の片側に2～3列に小穂が並ぶ。開花時には黒色の柱頭が目立ち、葯は淡黄色。

モウソウチク

Phyllostachys edulis

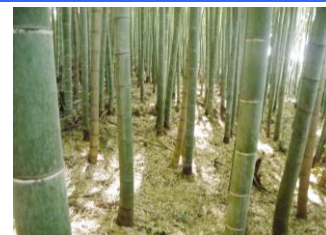
イネ科

侵入ランクB

＜原産地等＞ 中国(国外外来種)

＜市内分布＞ 芥見東・南、三輪北、方県、網代、柳津で記録がある。

＜種の概要＞ 稈は高さ10～12m。径8～20cmに達し、節は単環状。枝は稈の中部以上の節に2本ずつ互生する。竹の皮は黒紫褐色で背面に粗毛があり、開出した著しい肩毛があり、先には葉片がつく。葉は被針形で長さ4～8cm、幅4～10mm。枝先に2～8個ずつつき、裏面基部に軟毛がある。筍は4月に出て太く、食用にされる。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

セイバンモロコシ

Sorghum halepense

イネ

侵入ランクB

＜原産地等＞ 地中海沿岸(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、金華、三輪北、城西、早田、長森西・南・北、長良、長良西・東、島、日置江、日野、本郷、柳津、鶉で記録がある。

＜種の概要＞ 荒地に生育する大型の多年草。稈は束生し、高さ0.8～1.8m、基部の径は1cmにもなる。葉身は長さ20～60cm、幅1～2cm、中央脈は太くて白く、花穂の無いときはススキに似るが、葉のへりはほとんど平滑で稈はもろくて折れやすい。花期は7～9月。花序は長さ20～50cm、枝は広く開くか、または垂れ気味で、その上半部に小穂が集まってつく。小穂は有柄と無柄のものが対になってつく。



撮影：佐藤克則

メリケンガヤツリ

Cyperus eragrostis

カヤツリグサ科

侵入ランクB

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 熱帯アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、岩野田、金華、三里、三輪南、市橋、常磐、長森南、長良、徹明、日置江、白山、方県、柳津、鶉で記録がある。

＜種の概要＞ 水田や湿地に生育する多年草。大株となり、幹は太く高さ30～100cm、鈍い三稜形で、基部は赤褐色。葉は幅5～10mm、長いものは稈とほぼ同長。花期は6～11月。苞葉は葉状で5～6枚、その上に5～10本の花序枝があり、その先に小穂が球状に集まってつく。



撮影：加藤範夫(市外撮影)

コンテリクラマゴケ <i>Selaginella uncinata</i>	イワヒバ科	侵入ランクC
---	-------	---------------

<原産地等> 中国南部(国外外来種)
 <市内分布> 金華で記録がある。
 <種の概要> 人家近くの石垣などに生育する常緑のシダ植物。主茎は地上を匍匐し、長さ30~60cm、所々に側枝と担根体をつける。葉は2形で、表面に紺色の光沢がある。腹葉は開出し、長楕円形~卵形、背葉は狭卵形。胞子嚢穂は四角柱状で長さ約1cm、胞子葉は同形で卵状三角形、鋭尖頭。

ホウライシダ <i>Adiantum capillus-veneris</i>	イノモトソウ科	侵入ランクC
---	---------	---------------

<原産地等> 熱帯・暖帯(国外外来種)
 <市内分布> 金華で記録がある。
 <種の概要> 日あたりの良い道端の石垣などに生育する常緑性のシダ植物。根茎は短く匍匐し、径約2mm、やや密に鱗片をつける。葉柄は光沢があり黒紫色~ほぼ黒色、長さ3~15cm。葉身は三角状長楕円形、長さ5~12cm、幅3~5cm、2回羽状に分岐する。小葉は扇形。胞子嚢群は円形~長楕円形、裂片の上縁につく。

ナンバンカラムシ <i>Boehmeria nivea</i> var. <i>nivea</i>	イラクサ科	侵入ランクC
---	-------	---------------

<原産地等> 中国中南部(国外外来種)
 <市内分布> 三輪南で記録がある。
 <種の概要> 道端や荒地に生育する多年草。高さ2mにもなる。茎、葉柄、葉の裏面脈状に開出する粗い毛が目立つ。葉は互生、葉身は卵円形、先は急に細くなって尾状、裏面に白色の綿毛を密生する。花期は7~9月。花序は小さい円錐形で葉腋につき、上方に雌花序、下方に雄花序がある。別名：ラミー。

シャクチリソバ <i>Fagopyrum dibotrys</i>	タデ科	侵入ランクC
---	-----	---------------

<原産地等> インド北部~中国(国外外来種)
 <市内分布> 金華、長森西・南・北、長良、長良東、徹明、白山で記録がある。
 <種の概要> 林縁や川沿いなどの半陰地に生育する多年草。地下茎は木質で太い。茎は多数出て高さ50~120cm。葉は互生し、三角状広卵形で長枝があり、葉身は長さ5~15cm、幅4~14cm。花期は7~10月。花序は葉腋から出た枝に2~4個ずつ生じ、花穂状でややまばらに白色の花をつける。

ツルドクダミ <i>Fallopia multiflora</i>	タデ科	侵入ランクC
---	-----	---------------

<原産地等> 中国(国外外来種)
 <市内分布> 金華で記録がある。
 <種の概要> 市街地周辺の道端や生け垣に生育するつる性の多年草。基部は木化し、地下に球形の塊茎がある。葉は卵形~広卵形、長さ3~9cm、幅2~6cm。花期は8~10月。花序は円錐状で、側枝上に生じ、多数の雄花と雌花を混生する。花序の枝には細毛を密生する。花被は白色。

ヒメツルソバ <i>Persicaria capitata</i>	タデ科	侵入ランクC
---	-----	---------------

<原産地等> ヒマラヤ(国外外来種)
 <市内分布> 加納東、華陽、厚見で記録がある。
 <種の概要> 民家周辺や庭先、石垣に生育する多年草。茎は匍匐し分枝して4方向に広がり、赤褐色の粗毛を密生する。葉はやや密に互生し、楕円形~卵円形、長さ1~3.5cm、幅0.6~2cm、両面に赤褐色の粗毛を散生し、上面中央に逆V字形の暗紫色斑があり、裏面には腺点がある。花期は周年。花序は茎頂に1~3個生じ、淡紅色、頭状で球形、径約0.7mm。

ハイミチヤナギ <i>Polygonum arenastrum</i>	タデ科	侵入ランクC
---	-----	---------------

<原産地等> ユーラシア(国外外来種)
 <市内分布> 三輪北、柳津で記録がある。
 <種の概要> 道端や荒地に生育する匍匐性の一年草。茎は分枝して地表を広がり、長さは20cmに達し、上部は斜上、節間は1cm内外。葉は長楕円形~長楕円状披針形、長さ2~10mm、幅1~4mm。花期は6~10月。上部の茎や枝の節に1~数個ずつ束生する。花被片は緑色で、縁は帯紅色。

ヒメスイバ <i>Rumex acetosella</i> subsp. <i>pyrenaicus</i>	タデ科	侵入ランクC
--	-----	---------------

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)
 <市内分布> 長森南で記録がある。
 <種の概要> 道端や荒地、芝地に生育する多年草。高さは10~40cm。根茎は地下を横走して多く分枝する。根出葉は多数あり、基部は鈍型で左右に突起が張り出す。茎葉は上部のものほど小型。花期は4~7月。雌雄異株。花序は茎頂に生じ、円錐状、多数の微小な花をつける。花被片は6枚、帯赤色。

ブルーリスト
植物

ナガバギシギシ

タデ科

侵入ランクC

Rumex crispus

＜原産地等＞ ユーラシア(国外外来種)
＜市内分布＞ 茜部、加納東、華陽、厚見、三輪北、日置江、白山、柳津で記録がある。
＜種の概要＞ 荒地や道端に生育する多年草。茎は直立して高さ0.8～1.5m、上部で分枝し、枝はほぼ直立。根生葉と基部の葉は花時に宿存、長楕円形で長さ10～30cm、幅3～8cm。茎葉は上部に向かって小さくなり苞葉となる。花期は4～7月。茎の上部と枝の節に密に束生し、円錐状の花序を作る。瘦果は褐色で3稜形。

エゾノギシギシ

タデ科

侵入ランクC

Rumex obtusifolius

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ ユーラシア(国外外来種)
＜市内分布＞ 岩、三輪北、長良東、島、日野、方県、網代、藍川で記録がある。
＜種の概要＞ 畑地や道端に生育する多年草。茎は直立し、高さ50～130cm、中部以上で分枝する。葉は長卵形～長楕円状長卵形、長さ12～25cm、幅5～12mm、縁は著しく波状となる。花期は5～7月。茎の上部や枝の節にやや密な円錐状の花序をつける。

オシロイバナ

オシロイバナ科

侵入ランクC

Mirabilis jalapa

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)
＜市内分布＞ 合渡、鷲山、常磐、長森南、柳津で記録がある。
＜種の概要＞ 道端の空き地や河川敷に生育する多年草。分枝して枝を広げ、高さ1mになる。花期は7～10月。花は紅色、黄色、白色など様々で、夕方に開花し翌朝にしぼむ。果実は黒色で球形、硬く表面にはしわがある。

クルマバザクロソウ

ザクロソウ科

侵入ランクC

Mollugo verticillata

＜原産地等＞ 熱帯アメリカ(国外外来種)
＜市内分布＞ 金華で記録がある。
＜種の概要＞ 畑、空き地、砂地に生育する一年草。茎はよく分枝し、斜上または匍匐して広がり、長さ35cmになる。葉は4～7枚輪生し、葉身は倒披針形、長さ12～25mm、1脈がある。花期は7～10月。葉腋に白色の花を数個ずつ束生する。花弁は無い。

ヒメマツバボタン

スベリヒユ科

侵入ランクC

Portulaca pilosa

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)
＜市内分布＞ 茜部、三里、市橋、柳津、鶉で記録がある。
＜種の概要＞ 道端や敷石の間、畑、砂地に生育する一年草。高さは10～20cm。茎や葉は多肉質で赤褐色を帯び、よく分枝し地面に広がる。葉は互生、枝先ではやや輪生、線状披針形で長さ5～12mm、幅1.5～3mm。花期は7～9月。枝先に2～3個の花をつける。花は径8～10mm、花弁は紅紫色で5個。

ハゼラン

スベリヒユ科

侵入ランクC

Talinum paniculatum

＜原産地等＞ 西インド諸島(国外外来種)
＜市内分布＞ 三輪北、柳津で記録がある。
＜種の概要＞ 道端や民家近くの石垣などに生育する一年草。茎はまっすぐに立つか斜上し、花序を含め高さ30～80cm。茎や葉は多肉質。葉は互生し、倒卵形、長さ3～10cm、幅1.5～5cm。花期は8～10月。茎は上部で分枝し、大きな円錐花序をつくり、多数の小さな5弁花をつける。花は紅紫色、径約7mm。

イヌコモチナデシコ

ナデシコ科

侵入ランクC

Petrorhagia nanteulii

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)
＜市内分布＞ 華陽、厚見で記録がある。
＜種の概要＞ 荒地や河川敷に生育する越年草。茎は高さ20～50cmで、腺毛が密生する。葉は対生、線形で長さ20～25mm、葉の基部は膜で合着し、幅の2倍に達する長さの鞘となる。花期は4～5月。茎頂に花茎を出し、大きな楕円形の苞に包まれた花序をつける。花は3～10個、花弁は紅紫色、弁状部は倒卵形で幅2～3mm。

コモチナデシコ

ナデシコ科

侵入ランクC

Petrorhagia prolifera

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)
＜市内分布＞ 鏡島、合渡で記録がある。
＜種の概要＞ 荒地や河川敷に生育する越年草。茎は高さ10～50cm、無毛時に逆向きの剛毛を散生。葉の基部の鞘の長さは幅とほぼ同長。花期は5～6月。茎頂に花茎を出し、大きな楕円形の苞に包まれた花序をつける。花は3～10個、花弁は紅紫色、弁状部は倒卵形で幅2～3mm。

ムシトリナデシコ <i>Silene armeria</i>	ナデシコ科	侵入ランクC
--	-------	--------

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)
 <市内分布> 加納東、華陽、金華、厚見、早田、長良、長良西、白山で記録がある。
 <種の概要> 荒地や河川敷などに生育する一年草～越年草。茎は高さ20～50cm、上方の2～3の節間上半部に5～15mmにわたり粘着部がある。葉は対生、楕円形～長楕円形、長さ1.5～5cm、幅0.5～1.8cm、基部は左右に張り出して茎を抱く。花期は5～8月。花序は茎頂及び枝頂に生じ、集散状で倒円錐形。多数花。花冠は紅紫色。

サクラマンテマ <i>Silene pendula</i>	ナデシコ科	侵入ランクC
---	-------	--------

<原産地等> 地中海沿岸(国外外来種)
 <市内分布> 芥見東で記録がある。
 <種の概要> 市街地の道端、草地、河川敷などに生育する一年草。茎は高さ30～60cm、やや粗い短毛がある。葉は対生し、長楕円形～長卵形。花期は4～6月。茎頂に花序を出し、径約2cmの紅紫色の花をつける。花弁は5個で、先は深く凹入する。

アカザ <i>Chenopodium album</i> var. <i>centrorubrum</i>	アカザ科	侵入ランクC
---	------	--------

<原産地等> 中国(国外外来種)
 <市内分布> 岩、合渡、鷺山、市橋、常磐、長森東・南、長良東、日置江、日野、方県、網代、藍川で記録がある。
 <種の概要> 荒地や原野に生育する一年草。茎は1mになり、よく分枝する。葉は互生し、菱形状の卵形、歯牙は尖る。若い葉は表面下部に赤色の粉粒を密布する。花期は8～10月。円錐状花序で、頂生か腋生。種子は円形で嘴状突起を出さない。

ケアリタソウ <i>Chenopodium ambrosioides</i> var. <i>pubescens</i>	アカザ科	侵入ランクC
--	------	--------

<原産地等> 南アメリカ(国外外来種)
 <市内分布> 三輪南、長良東、日野で記録がある。
 <種の概要> 荒地の道路脇の法面などに生育する一年草。茎は分枝し高さ30～80cm、茎や葉に縮毛や腺毛が多く、強い匂いがある。葉は互生し長さ3～10cm、長楕円形で粗い鋸歯がある。花期は7～11月。花序は枝先に円錐花序を出す。花穂には葉状の苞があり、両性花と雌花が混ざってつく。

コアカザ <i>Chenopodium ficifolium</i>	アカザ科	侵入ランクC
--	------	--------

<原産地等> ユーラシア(国外外来種)
 <市内分布> 金華で記録がある。
 <種の概要> 荒地や道端に生育する一年草。茎は直立し多く分枝し、高さ20～60cm。葉は柄があり、長卵形～広披針状卵形、長さ2～5cm、幅1～3cm、3浅裂し先は鈍形。質薄く、裏面は粉白色。花期は6～8月。花は円錐状花序に密につく。

ホソアオゲイトウ <i>Amaranthus hybridus</i>	ヒユ科	侵入ランクC
---	-----	--------

<原産地等> 南アメリカ(国外外来種)
 <市内分布> 金華、早田、長良、長良西、網代で記録がある。
 <種の概要> 荒地や道端に生育する一年草。茎は直立し、高さ0.5～2m。葉は長さ2～7cmの柄があり、葉身は卵形～菱形状卵形、長さ4.5～13cm、幅2～8cm、下面脈上に毛がある。花期は6～10月。花序は頂生および腋生し円錐状で緑色または紅紫色。花穂は、長さ2.5～12cm、幅0.5～1cm。果胞は長さ1.5～2mm、熟すと横に開裂する。

ノゲイトウ <i>Celosia argentea</i>	ヒユ科	侵入ランクC
---	-----	--------

<原産地等> 熱帯アメリカ(国外外来種)
 <市内分布> 三輪北で記録がある。
 <種の概要> 荒地や道端に生育する一年草。茎は直立し、高さ30～120cm。葉は互生し、葉身は披針形～卵形、長さ4.5～15cm、幅0.6～4.5cm。花期は6～10月。花序は茎と枝に頂生し、密な花穂状で長さ2～17cm、径12～18mm、円錐形～円柱形。花被片は5枚、白色で基部帯緑色ときに帯紅色。

ケイトウ <i>Celosia cristata</i>	ヒユ科	侵入ランクC
--	-----	--------

<原産地等> 熱帯アメリカ(国外外来種)
 <市内分布> 三輪北で記録がある。
 <種の概要> 民家周辺の荒地や河川敷に生育する一年草。茎は高さ30～90cm。葉は互生し長楕円形、先は尖る。花期は6～9月。花序は茎と枝に頂生し、鶏冠のような形状となる。花は赤色、桃色、橙色など多様。

ブルーリスト

植物

ホソバヒラギナンテン

メギ科

侵入ランクC

Berberis fortunei

＜原産地等＞ 中国(国外外来種)
＜市内分布＞ 金華で記録がある。
＜種の概要＞ 庭園や公園に植栽される常緑低木。樹高1~2m。葉は奇数羽状複葉で長さ5~10cm、小葉は2~4対、低く鋭い鋸歯がある。花期は9~10月。茎の先に長さ5~15cmの総状花序を下垂し、花冠径5~7mmの黄色の花を多数つける。液果は球形で径約5mm、黒熟する。

フサジュンサイ

スイレン科

侵入ランクC

Cabomba caroliniana

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
＜市内分布＞ 加納東、華陽、厚見、合渡で記録がある。
＜種の概要＞ ため池や水路などに生育する沈水性の多年草。匍匐する地下茎は無く、地上茎が分枝し、時に大群生する。葉は対生し葉柄は5~20mm、葉身は基部で5~7裂、さらに1~3回二又上に分枝し掌状となる。葉身全体は扇形、長さ1~3.5cm、葉裂片は糸状。花期は7~10月。葉腋から花柄を出し、水面上で径1~1.5cmの白い花をつける。別名：ハゴロモモ。

キウイフルーツ

マタタビ科

侵入ランクC

Actinidia chinensis var. *deliciosa*

＜原産地等＞ ニューージーランド(国外外来種)
＜市内分布＞ 藍川で記録がある。その他栽培されている。
＜種の概要＞ 果実として栽培され、山野に逸出する落葉性の大型藤木。長さ4~5mになる。若枝には褐色の開出毛が密生する。葉は互生し、円形~広卵形。花期は5~6月。雌雄異株。葉腋に芳香のある白い花を下向きにつける。果実は液果で、褐色の毛に覆われる。別名：オニマタタビ、シナサルナン。

ナガミヒナゲシ

ケシ科

侵入ランクC

Papaver dubium

＜原産地等＞ 地中海沿岸(国外外来種)
＜市内分布＞ 苗部、加納西・東、華陽、厚見、長森南、白山で記録がある。
＜種の概要＞ 市街地の空き地に生育する一年草~越年草。茎は直立し、高さ10~60cm。茎や葉には開出毛や伏毛がやや密生して生える。葉は1~2回羽状深裂し、茎葉では基部の裂片が大きくなり3出状。花期は4~5月。枝の先端に単生し、径約5cmの朱赤色の花をつける。花弁は十字対生し4枚。

オニゲシ

ケシ科

侵入ランクC

Papaver orientale

＜原産地等＞ 地中海沿岸(国外外来種)
＜市内分布＞ 三輪北で記録がある。
＜種の概要＞ 栽培個体から逸出する多年草。茎は直立し高さ50~100cm。葉は根出葉が多く、羽状に深く切れ込み、白色の剛毛が多い。花期は5~6月。花は径約15cm、花弁は4~6枚、朱色で基部に黒色の斑点がある。

セイヨウアブラナ

アブラナ科

侵入ランクC

Brassica napus

＜原産地等＞ 地中海沿岸(国外外来種)
＜市内分布＞ 苗部、加納東、華陽、岩、厚見、合渡、七郷、長良東、島、日野、白山、藍川で記録がある。
＜種の概要＞ 河川敷などに生育する一年草~二年草。茎は粉緑白色で直立し、高さ30~150cm、上部で分枝する。葉は波状鋸歯縁で、脈上に毛を散生する。下部の葉は有柄で大型、茎葉は無柄で基部は広がって耳状となり茎を抱くが、上方の葉は茎を抱かない。花期は3~4月。花弁は鮮黄色、狭卵形で長さ10~18mm。長角果は斜上または開出し、長さ5~10cm。

ガンバイナズナ

アブラナ科

侵入ランクC

Thlaspi arvense

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)
＜市内分布＞ 金華で記録がある。
＜種の概要＞ 人里の田畑や川原、草地に生育する二年草。茎は高さ10~80cm、上部で分枝する。葉は光沢がありやや厚く、長楕円形~倒披針形。下方の葉は有柄、中部以上は無柄で基部は耳状に広がり茎を抱く。花期は4~6月。花は白色で花弁は4枚。短角果は軍配形で広翼があり長さ1.5cm、先端は著しい凹頭。

オカタイトゴメ

ベンケイソウ科

侵入ランクC

Sedum japonicum subsp. *oryzifolium* var. *pumilum*

＜原産地等＞ 不詳(国外外来種)
＜市内分布＞ 天神川で記録がある。
＜種の概要＞ 道端などに生育する多年草。茎は横走り高さ4~8cm。葉は互生、下部の葉は長楕円形で長さ約3mm、間隔が開いてつく。上部の葉はやや角張り密集してつくことが多い。葉の辺縁には微小な突起がある。花期は6~7月。花は直径8mm、花弁は黄色で5枚。

メキシコマンネングサ	ベンケイソウ科	侵入ランクC
-------------------	---------	---------------

Sedum mexicanum

＜原産地等＞ メキシコ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 天神川で記録がある。
 ＜種の概要＞ 日あたりの良い道端や空き地に生育する多年草。茎は地際で分枝して群生し、高さ10～20cm。葉は普通4～5輪生するが、3輪生や対生のこともある。葉身は線状楕円形で長さ1.3～2cm、幅2～3mm。花期は4～5月。20～40花からなる集散花序を茎頂につける。花卉は鮮黄色、長さ約4mm、平開する。

カンヒザクラ	バラ科	侵入ランクC
---------------	-----	---------------

Cerasus campanulata

＜原産地等＞ 中国南部～台湾(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 詳細不明。
 ＜種の概要＞ 観賞用に栽培される落葉小高木。樹高は8mになる。樹皮は暗紫褐色で横に浅く裂け、横並びの皮目がある。葉は楕円形～長楕円形、長さ8～13cm、浅い細鋸歯縁、両面無毛で葉柄上部に1対の蜜腺がある。花期は1～3月。花は展葉前に、前年の枝の葉腋に1～2個下向きに咲く。花柄は長さ1～2cm。花卉は緋紅色で半開。

トキワサンザシ	バラ科	侵入ランクC
----------------	-----	---------------

Pyracantha coccinea

＜原産地等＞ 西アジア(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 金華、長良、長良東、柳津、藍川で記録がある。
 ＜種の概要＞ 庭や公園などに植栽される常緑小高木。樹高は7mになる。葉は狭卵形～倒披針形で長さ3～4.5cm、幅0.8～2.5cm、円鋸歯縁。花期は5～6月。枝先に出る散房花序に直径1cm未満の白い花を多数つける。果実は赤熟する。

ウマゴヤシ	マメ科	侵入ランクC
--------------	-----	---------------

Medicago polymorpha

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 金華で記録がある。
 ＜種の概要＞ 平地の道端や草地に生育する一年草。茎は長さ10～60cm。葉は3小葉からなり、小葉は倒卵形～広倒卵形、長さ1～2cm。托葉は不揃いの針形に裂ける。花期は4～5月。総状花序はほぼ球形で、黄色の2～10花が集まってつく。豆果は2～6回巻いて径5～8mm、革質の先端が鉤状曲がった刺がある。

ハリエンジュ	マメ科	侵入ランクC 要注意外来生物(環境省)
---------------	-----	-------------------------------

Robinia pseudoacacia

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 苗部、加納東、金華、厚見、三里、三輪南、市橋、長良、長良東、鶉で記録がある。
 ＜種の概要＞ 荒地、土手などに生育する落葉性の高木。樹高は25mに達する。葉は奇数羽状複葉で、5～10対の側小葉があり、托葉は刺となっている。小葉は狭卵形～楕円形、長さ2.5～5cm、両面に伏した短毛がある。花期は4～6月。枝に総状花序を垂らし、芳香のある白色の花を多数つける。豆果は広線形、長さ5～10cm、幅1.5～1.8mm。

エビスグサ	マメ科	侵入ランクC
--------------	-----	---------------

Senna obtusifolia

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 長森西・東・南・北で記録がある。
 ＜種の概要＞ 市街地の空き地、畑地、草地に生育する一年草。茎は高さ50～100cm、葉は偶数羽状複葉で、基部に最も近い小葉の間の葉軸状に1対の蜜腺がある。小葉は普通3対あり、倒卵形～倒卵状長楕円形、長さ2～6cm、幅1～2.5cm、下面に軟毛がある。花期は8～9月。花は葉腋に1～2個つき黄色で径1.5～2.5cm。

クスダマツメクサ	マメ科	侵入ランクC
-----------------	-----	---------------

Trifolium campestre

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 加納西・東で記録がある。
 ＜種の概要＞ 市街地の空き地に生育する一年草。茎は直立または匍匐し、長さ5～30cm。葉は3小葉からなり、小葉は倒卵形、長さ8～15mm、幅5～8mm、中部より先に鋸歯がある。花期は6～8月。花序は卵円形で長さ1.5cm、径8～13mm、普通20花以上つける。花卉は鮮黄色で後褐色、長さ3.5～6mm。

コメツブツメクサ	マメ科	侵入ランクC
-----------------	-----	---------------

Trifolium dubium

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 苗部、加納西・東、華陽、厚見、三輪北、島、白山、網代で記録がある。
 ＜種の概要＞ 市街地の道端、草地、芝地など日あたりの良い場所に生育する一年草。茎は直立または匍匐し、高さ30～60cm、初めは長軟毛があるが後無毛。葉は茎上部を除き羽状3小葉、小葉は倒卵形で長さ5～15mm、幅5～12mm、中部から先に鈍鋸歯がある。花期は4～7月。花序はほぼ球状で長さ約1cm、5～20花をつける。花卉は淡黄色～黄色。

ブルーリスト
植物

ムラサキツメクサ

マメ科

侵入ランクC

Trifolium pratense

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)

＜市内分布＞ 岩、金華、長良、長良東、日野、方県、網代、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ 平地から山地までの畑地、道端、法面など日あたりの良い場所に生育する多年草。茎は直立または斜上し高さ30～60cm、開出した褐色の軟毛がある。葉は3小葉からなり、小葉は楕円形～卵形、長さ2～3.5cm、多くは表面に緑白色の斑がある。花期は4～9月。総状花序には淡紅色の30～70花がつき、頭状花序のように見える。

ナヨクサフジ

マメ科

侵入ランクC

Vicia villosa subsp. *varia*

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、厚見、合渡、七郷、島で記録がある。

＜種の概要＞ 日あたりの良い道端、畑地、草地に生育する一年草～越年草。茎は無毛で、つる状に長く伸び、150cmに達する。葉は奇数羽状複葉、5～12対の小葉をつける。小葉は長楕円形～広線形で、長さ15～30mm、幅5～10mm。花期は5～8月。花序は長さ5～18cm、10～40花を一側に偏してつける。花弁は青紫色～紅紫色、長さ10～20mm。

イモカタバミ

カタバミ科

侵入ランクC

Oxalis articulata

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、厚見、柳津で記録がある。

＜種の概要＞ 空き地や道端に生育する多年草。塊茎は球形で径3cmになり、鱗片葉の跡が多数らせん形につく。葉は叢生し、大きな株となる。葉は3小葉からなり、小葉は長さ幅共に1.5～4cm。裏面に淡黄赤色の小斑点が散在。花期は4～10月。花は5数性。花弁は淡紅色で濃紅色の筋がある。

ムラサキカタバミ

カタバミ科

侵入ランクC

Oxalis debilis subsp. *corymbosa*

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 加納西・東、厚見、長森南で記録がある。

＜種の概要＞ 空き地、畑、道端に生育する多年草。鱗片は褐色の鱗片に包まれ、卵形で径20～25mm。鱗片から長い柄のある3小葉の葉をつける。小葉は心臓形で長さ幅とも1.5～4cm、両面有毛で、裏面辺縁に淡黄赤色の小斑点がある。花期は2～11月。葉柄より少し長い花茎の先端に1～15個の淡紅紫色の花をつける。

ハイニシキソウ

トウダイグサ科

侵入ランクC

Chamaesyce prostrata

＜原産地等＞ 熱帯アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 市橋、長森南で記録がある。

＜種の概要＞ 道端や芝生に生育する一年草。茎は地上を這い、全体的に分枝し長さ6.5～20cm、上面に短軟毛があり下面は無毛。葉は対生し楕円形、長さ3.2～8mm、幅1.8～4.5mm。花期は9～10月。杯状花序は葉の節に1つずつ生じる。蒴果は広卵形、長さ約1.2cm、3稜に白い微細剛毛がある。

アレチニシキソウ

トウダイグサ科

侵入ランクC

Chamaesyce sp.

＜原産地等＞ 熱帯アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 柳津、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ 空き地、道端などに生育する一年草。茎は地上を這い、分枝し、長さ8.5～23cm、上面に密に縮れた長軟毛があり、下面は無毛。葉は対生し楕円形、長さ5～8mm、幅2.5～5mm、裏面はやや長い白軟毛が密生する。花期は5～10月。杯状花序は葉の節に1つずつ生じる。蒴果は偏球形、長さ約1.2mm、3稜に長さ約0.4mmの白い剛毛がある。

トウカエデ

カエデ科

侵入ランクC

Acer buergerianum

＜原産地等＞ 中国(国外外来種)

＜市内分布＞ 加納東、厚見で記録がある。

＜種の概要＞ 街路樹などとして植栽される落葉高木。樹高15mに達する。葉は対生で、有花枝に1対、無花枝に1～5対つく。葉身は倒卵形で長さ3～8cm、幅2～5cm、掌状の3脈があり3浅裂する。葉柄は長さ2～6cm。花期は4月。花序は複総状で有花枝に頂生し、約20花をつけ、全体に白毛を密生する。分果は長さ約2cm、果翼は平行ないし鋭角に開く。

フウセンカズラ

ムクロジ科

侵入ランクC

Cardiospermum halicacabum

＜原産地等＞ 熱帯地方(国外外来種)

＜市内分布＞ 合渡、三輪北、長森南で記録がある。

＜種の概要＞ 庭などに植栽される常緑つる性の一年草～二年草。つるは他物に巻きついて上がり、長さ2～3m。葉は3出複葉で、粗い鋸歯縁。花期は7～9月。散房花序で花は白色で、径約5mm。果実は膨らんで風船状、径約3cm。

ナツメ	クロウメモドキ科	侵入ランクC
------------	----------	---------------

Ziziphus jujuba var. *inermis*

＜原産地等＞ 中国(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 金華で記録がある。
 ＜種の概要＞ 栽培される落葉小高木。樹高は10mに達する。長枝には托葉から変わった2個の刺があり、内1個は長さ約3cmになる。葉は互生し、卵形～卵状楕円形、長さ2～6cm、幅1～4cm、3出脈がある。花期は6～7月。黄色の小さい花を2～3個ずつ葉腋につける。核果は球形ないし長楕円形で、長さ1.5～2.5cm、暗紅色に熟す。

イチビ	アオイ科	侵入ランクC 要注意外来生物(環境省)
------------	------	-------------------------------

Abutilon theophrasti

＜原産地等＞ インド(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 柳津で記録がある。
 ＜種の概要＞ 畑や荒地、河原などに生育する一年草。茎は高さ50～100cm、上部で分枝し、束状の軟毛や腺毛がある。葉は心臟形で顕著な掌状脈が5～9個ある。先は急に狭まって鋭く尖り、縁には低い波状鋸歯がある。花期は8～10月。茎の上方の葉腋に橙黄色の花をつける。

ムクゲ	アオイ科	侵入ランクC
------------	------	---------------

Hibiscus syriacus

＜原産地等＞ 中国、インド(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 金華で記録がある。
 ＜種の概要＞ 公園などに植栽され、土手などに逸出する落葉低木。樹高は2～4m。若い枝には星状毛がある。葉は互生し、花枝の葉は浅い鋸歯があり、下部の葉は浅く3裂する。脈は表裏に突出する。花期は6～10月。花は淡青紫色、白色、桃色などで基部付近に濃紅色の斑紋があり、早朝に開花し夕方しぼむ。

ウサギアオイ	アオイ科	侵入ランクC
---------------	------	---------------

Malva parviflora

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 茜部、加納東、厚見、三輪北で記録がある。
 ＜種の概要＞ 市街地の道端、空き地、草地などに生育する一年草。茎は斜上し、高さ20～50cm。葉は腎円形で浅く5～7裂し、表面や葉柄にはまばらに毛がある。花期は6～9月。葉腋に束生し、花柄は短く長さ2～3mm。花は径6～8mm、淡紅色。分果は背面の網状の脈が著しく隆起し、縁はギザギザで歯車のように隣接する分果とかみ合う。

ヤノネボンテンカ	アオイ科	侵入ランクC
-----------------	------	---------------

Pavonia hastata

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 華陽、厚見で記録がある。
 ＜種の概要＞ 市街地の空き地などに生育する常緑低木。高さ0.5～2m。葉は互生し、ほこ形で長さ3～10cm、基部は張出し、低い鋸歯縁、両面に細星状毛がある。花期は8～10月。細い花柄に単生し、径4～6cm、淡桃色で赤色の脈があり、花芯には暗紅色の斑紋がある。

サンシキスミレ	スミレ科	侵入ランクC
----------------	------	---------------

Viola tricolor

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 岩、長良東、日野、藍川で記録がある。
 ＜種の概要＞ 道端や川原に生育する多年草。高さ約15cm。花期は3～5月。花茎に1花をつける。花は紫色、白色、黄色の3色の花弁からなる。パンジーの原種とされている。

アレチウリ	ウリ科	侵入ランクC 特定外来生物(環境省)
--------------	-----	------------------------------

Sicyos angulatus

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 岩、金華、早田、長良、長良東、日野、柳津、藍川、鶉で記録がある。
 ＜種の概要＞ 河川や耕作地の土手に生育するつる性の一年草。茎は円くて稜があり、多細胞の縮毛が多い。盛んに分枝しながら長さ数mに達し、巻きひげにより絡まって広がる。葉は互生、ほぼ円形で径10～20cm、3～7浅裂し、鋸歯縁。花期は8～10月。葉腋から雄花序と雌花序をそれぞれ伸ばし、雄花序には径約1cmの白色の花をつけ、雌花序には淡緑色の花をつける。果実には長い刺毛を密生する。

オオマツヨイグサ	アカバナ科	侵入ランクC
-----------------	-------	---------------

Oenothera glazioviana

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 茜部、加納東、厚見で記録がある。
 ＜種の概要＞ 道端、荒地、河原などに生育する二年草～短命な多年草。ロゼットをつくり、直立して高さ0.5～1.5mになる。茎には剛毛が混ざり、基部が膨らむ長い直毛があり、上部には腺毛も混ざる。茎葉は狭楕円形～披針形、長さ5～15cm、幅2.5～4cm。花期は7～9月。花弁は黄色でしぼむと赤橙色、広倒卵形で長さ3.5～5cm。子房には腺毛が密生する。

ブルーリスト
植物

ミナトマツヨイグサ

アカバナ科

侵入ランクC

Oenothera indecora

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
＜市内分布＞ 鏡島、合渡で記録がある。
＜種の概要＞ 海岸、砂地、空き地、草地などに生育する一年草。ロゼットをつくり直立し、高さ20～40cmになる。茎には短軟毛や腺毛が密にあり、時に長軟毛もある。茎葉は線状楕円形～披針形、長さ5～7cm。花期は5～9月。茎の上部の葉腋につき、花弁は黄色、広楕円形～広倒卵形で長さ0.4～1cm。

アレチマツヨイグサ

アカバナ科

侵入ランクC

Oenothera parviflora

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
＜市内分布＞ 金華、合渡、長良、長良東、日置江、方県で記録がある。
＜種の概要＞ 海岸、空き地、河原などに生育する二年草。ロゼットをつくり直立し、高さ0.3～1.5mになる。茎には剛毛、腺毛、基部が膨らんだ毛がある。茎葉は披針形～狭楕円形、長さ4～18cm、幅1～3cm。花期は7～9月。穂状花序につき、花弁は黄色でしばむと橙色～汚黄色となり、長さ0.8～2cm。子房には剛毛、長軟毛、基部が膨らむ毛や腺毛がある。

ヒルザキツキミソウ

アカバナ科

侵入ランクC

Oenothera speciosa

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
＜市内分布＞ 茜部、加納西・東、厚見、長森南で記録がある。
＜種の概要＞ 道端や空き地などに生育する多年草。茎は直立し、高さ30～60cm。茎葉は倒披針形～倒卵形、長さ2.5～9cm、幅0.3～3.2cm、粗い鋸歯縁で波状に羽状中裂するが、上部の葉はほぼ全縁。花期は5～9月。茎上部の葉腋に少数つき、紅紫花は日の出頃、白花は夕暮れに開花する。

マツヨイグサ

アカバナ科

侵入ランクC

Oenothera stricta

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)
＜市内分布＞ 金華で記録がある。
＜種の概要＞ 道端や河原に生育する一年草～二年草。茎は直立または平伏し高さ0.3～1.5m。茎には剛毛と長軟毛があり、花序を除き腺毛も混ざる。茎葉は狭楕円形～披針形、長さ6～10cm、幅0.6～1.2cm。花期は5～11月。花は茎上部の葉腋につき、夕暮れに開花する。花弁は黄色、基部に赤斑が1つあり、しばむと赤橙色。

オオフサモ

アリノトウグサ科

侵入ランクC

Myriophyllum aquaticum

特定外来生物(外来生物法)

＜原産地等＞ ブラジル(国外外来種)
＜市内分布＞ 黒野、常磐で記録がある。
＜種の概要＞ 湖沼、ため池、河川、水路に生育する多年生の抽水植物。雌雄異株で、日本には雌株のみ帰化。茎は径5mm前後と太く、水中を横走しながら分枝する。葉は5～6輪生。沈水葉は繊細で、長さ6cmに達する。気中葉は1.5～4.5cm、羽状に細裂し、粉を吹いたような緑白色で柔らかい。花期は6月。気中葉の腋につく。

マツバゼリ

セリ科

侵入ランクC

Cyclospermum leptophyllum

＜原産地等＞ エジプト(国外外来種)
＜市内分布＞ 長良東、日野で記録がある。
＜種の概要＞ 空き地、道端などに生育する一年草。茎は高さ15～70cm。葉は互生し、2～4回羽状に細裂し、上部の葉の裂片は糸状。花期は4～9月。葉と対生する位置に小さい複散形花序をつける。花弁は5個で白色。果実は広卵形～球形、径約1.5mm。分果には5脈あり、脈は隆起する。

ウチワゼニクサ

セリ科

侵入ランクC

Hydrocotyle verticillata var. *triradiata*

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
＜市内分布＞ 市橋、日置江で記録がある。
＜種の概要＞ 水辺に生育する多年草。高さ15cm程度だが、水中に生育すると葉柄は30cm以上になることもある。葉は葉柄に楕円状につき、円形で縁には浅い切れ込みがあり、径2～5cm。花期は4～5月。葉腋から花柄を出し、3～7段に短柄のある花を輪生する。

トウネズミモチ

モクセイ科

侵入ランクC

Ligustrum lucidum

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 中国(国外外来種)
＜市内分布＞ 金華、三里、市橋、梅林、柳津、鶉で記録がある。
＜種の概要＞ 生垣や庭木として植栽され、逸出している常緑小高木。枝はよく分枝し、粒上の皮目がある。葉は対生で厚く卵状楕円形で大きく、先端は細長く尖る。花期は6月。長さ5～12cmほどのまばらな円錐花序で白色の花をつける。在来のネズミモチに比べ、葉・花序共に大きい。栽培個体からの逸出が見られる。

キョウチクトウ	キョウチクトウ科	侵入ランクC
----------------	----------	---------------

Nerium oleander var. indicum

＜原産地等＞ インド、ペルシャ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 金華で記録がある。
 ＜種の概要＞ 公園や道路脇に植栽される常緑小高木。樹高は3~5m。葉は厚い革質で、狭長楕円形で3輪生し、羽状の平行脈がある。花期は7~8月。枝に頂生する集散花序をつける。花は高杯形または漏斗形で、花色は白色、紅色、桃色、黄色など多様。

ツルニチニチソウ	キョウチクトウ科	侵入ランクC
-----------------	----------	---------------

Vinca major

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 茜部、加納東、厚見、長森南で記録がある。
 ＜種の概要＞ 人家周辺から杉林の林床まで様々な場所に生育する常緑つる性の多年草。茎は細く、花をつける枝は立ち上がり、つけない枝は長く匍匐する。葉は対生し、葉身は卵状楕円形で長さ3~5cm、光沢がある。花期は3~5月。花茎の上部の各節に1花ずつつき、平開し、紫色で径約4cm。

オオフトバムグラ	アカネ科	侵入ランクC 要注意外来生物(環境省)
-----------------	------	-------------------------------

Diodia teres

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 金華、早田、長良、長良西・東で記録がある。
 ＜種の概要＞ 海岸や河原の砂地に生育する一年草。茎は地上を匍匐または斜上し、長さ10~50cm、細毛が密生する。葉は対生し、広線形~線状披針形、長さ1~3cm、幅2~4mm。花期は7~8月。葉腋に白色あるいは淡桃色の花をつける。

シバザクラ	ハナシノブ科	侵入ランクC
--------------	--------	---------------

Phlox subulata

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 金華で記録がある。
 ＜種の概要＞ 人家周辺や道端に生育する多年草。地表を匍匐し広がり、高さ5~10cm。葉は披針形~線形で長さ約1cm。花期は3~4月。茎先や葉腋に径1~2cmの花をつける。花冠は5つに裂け平開し、濃桃色、赤色、白色、青紫色など多様。

セイヨウヒルガオ	ヒルガオ科	侵入ランクC 要注意外来生物(環境省)
-----------------	-------	-------------------------------

Convolvulus arvensis

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 茜部、加納東、厚見で記録がある。
 ＜種の概要＞ 道端や荒地などに生育する多年生のつる植物。つるの長さは1~2m。葉は互生、長さ1~3cm、幅0.4~2cm、ほこ形で基部は左右に張り出す。花期は7~8月。葉腋から長さ1~6cmの花序を伸ばし1~2個の白色~桃色の花をつける。

アメリカネナシカズラ	ヒルガオ科	侵入ランクC 要注意外来生物(環境省)
-------------------	-------	-------------------------------

Cuscuta campestris

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 金華、三輪南・北、長良で記録がある。
 ＜種の概要＞ つる性で一年生の寄生植物。全体黄褐色で宿主を選ばず様々な草に寄生する。茎は針金状で葉は無く、吸盤を出して宿主の茎にからみつく。遠目には、黄色い糸くずのようなものが広がっているように見える。花期は8~9月。茎にある小さな鱗片の腋に、短い集散花序を出し白色の小さな花を多数頭状につける。

アサガオ	ヒルガオ科	侵入ランクC
-------------	-------	---------------

Ipomoea nil

＜原産地等＞ ヒマラヤ、インド(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 合渡で記録がある。その他栽培されている。
 ＜種の概要＞ 栽培するつる性の一年草。茎には下向きの毛があり1~5mになる。葉は互生しほこ型。花期は7~10月。葉腋に花序をだし、1~2花をつける。花柄は長さ2~5cm、花は瑠璃色のほか多様、花冠は漏斗型で長さ5cm前後、幅10cm前後。蒴果は球形で径約1cm、3室からなる。

ホシアサガオ	ヒルガオ科	侵入ランクC
---------------	-------	---------------

Ipomoea triloba

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 方で記録がある。
 ＜種の概要＞ 道端や草地に生育するつる性の一年草。茎(つる)は4稜あり無毛。葉は互生、葉柄は長さ1.5~6cm、花柄と共にこぶ状突起が散生する。葉身は広卵形で、全縁または浅く3裂し、長さ3~8cm、幅2.5~8cm。花期は7~9月。葉腋から長さ3~10cmの花柄を伸ばし、1~7個の花を散形につける。花冠は漏斗型で上から見ると星形。径約1.5cm。

ブルーリスト
植物

マルバクマツヅラ

クマツヅラ科

侵入ランクC

Verbena stricta

＜原産地等＞ アメリカ大陸(国外外来種)

＜市内分布＞ 芥見東で記録がある。

＜種の概要＞ 多年草。全体に白っぽい毛が密生する。葉は楕円形で両端尖り、鋸歯がある。花序は細長い穂状花序で茎に頂生し、時に上部の葉腋にもつく。花は小型で唇部は径5mm以下、青紫色。

ダキバアレチハナガサ

クマツヅラ科

侵入ランクC

Verbena × incompta

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 華陽、厚見、市橋、長森南、柳津で記録がある。

＜種の概要＞ 裸地や礫地、草地に生育する多年草。葉は対生し広線形～狭楕円形、対生する葉の基部は接する。花期は6～9月。穂状花序は花時明らかな円錐状で、長さ約5cm。花は花穂の基部から先端に向かって4～5花が同時に開き、花穂は開花に伴って伸び、果時には3cm内外。花冠は淡紫色。

ニガハッカ

シソ科

侵入ランクC

Marrubium vulgare

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)

＜市内分布＞ 柳津で記録がある。

＜種の概要＞ 多年草。全体に白い綿毛に覆われ、茎は高さ40～60cm。葉は対生し、ほぼ円形に近く、下面には白毛が密生する。花期は6～8月。花は茎の上部の葉腋に輪生する。萼はつぼ形で、外面に星状毛を密生、先には鉤状の刺が長短交互に10本ある。花冠は白色で唇形、上唇は2裂、下唇は3裂する。

ヨウシュハッカ

シソ科

侵入ランクC

Mentha arvensis

＜原産地等＞ 北半球(国外外来種)

＜市内分布＞ 三輪北で記録がある。

＜種の概要＞ 草地に生育する多年草。茎は四角で高さ20～40cm。葉は楕円形で丸みを帯び、鋸歯縁。花はごく薄い淡紅色で、上部の葉腋に輪生状につく。萼片先が尖らない。

オランダハッカ

シソ科

侵入ランクC

Mentha spicata

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)

＜市内分布＞ 厚見、黒野、鷲山、常磐、長森南で記録がある。

＜種の概要＞ 市街地の道端などに生育する多年草。全体無毛で強いハッカ臭がある。茎は高さ50～80cm、直立して良く分枝する。走out枝を伸ばす。葉は対生し広楕円形、無柄で鋸歯縁、表面は葉脈によって著しくちりめん状となる。花期は7～9月。茎の上部の枝先に仮輪が相接して短い花穂をつくる。花は淡紅色～白色。

コショウハッカ

シソ科

侵入ランクC

Mentha × piperita

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)

＜市内分布＞ 合渡、七郷、方県で記録がある。

＜種の概要＞ あぜや川原などに生育する多年草。茎はよく分枝し、高さ50～80cm。葉は長楕円形で長さ2.5～3cm、幅0.8～2cm、鋭頭で鋸歯縁。花期は7～9月。花序は長い穂状となって茎や枝の先につく。仮輪は10～25個あり、互いに少し離れてつく。花冠は淡紅紫色。

チョウセンアサガオ

ナス科

侵入ランクC

Datura metel

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 熱帯アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 詳細不明。

＜種の概要＞ 道端に生育する一年草。高さは1m以上になる。全体ほぼ無毛。葉は互生し、葉柄は長さ2～7cm。葉身は卵形で長さ5～18cm、幅4～10cm、葉先や鋸歯は尖る。花期は8～9月。花柄は長さ1.5～2cm、花冠は白色で細い筒を持つ漏斗型、長さ約20cm、径約10cm。縁に5本の角状突起がある。

センナリホオズキ

ナス科

侵入ランクC

Physalis angulata auct. non

＜原産地等＞ 熱帯アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 金華で記録がある。

＜種の概要＞ 畑や荒地に生育する一年草。全体に毛が生え、腺毛が混じる。高さ20～90cm。茎はほぼ四角で角に稜がある。葉は互生し卵形、長さ2.5～6cm、縁には少数の鋸歯がある。花期は7～9月。葉腋に1花をつける。花柄は長さ1～1.5cm、花冠は杯形で径約10mm、黄白色、基部に紫褐色の斑がある。液果は球形で径12～15mm。

ヒロハフウリンホオズキ	ナス科	侵入ランクC
--------------------	-----	---------------

Physalis angulata var. *angulata*

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 詳細不明。
 ＜種の概要＞ 畑や荒地に生育する一年草。高さ20～90cm。茎はほぼ四角で角に稜がある。葉は互生し卵形、長さ4～10cm、幅3～6cm、縁には少数の鋸歯がある。花期は7～9月。葉腋に1花をつける。花柄は長さ1～1.5cm、花冠は杯形で径約8mm、黄白色、花冠の奥は褐色を帯びる。液果は球形で径8～14mm。

テリミノイヌホオズキ	ナス科	侵入ランクC
-------------------	-----	---------------

Solanum americanum

＜原産地等＞ アメリカ大陸(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 岩野田北で記録がある。
 ＜種の概要＞ 畑や道端に生育する一年草。茎は角張って直立し枝分かれして高さ20～60cm、短い刺がまばらにつく。葉はやや大きく広卵形で先は尖る。花期は8～10月。茎の途中から花序をだし、花軸先端のほぼ一か所に集まって4～7花をつける。

ワルナスビ	ナス科	侵入ランクC 要注意外来生物(環境省)
--------------	-----	-------------------------------

Solanum carolinense

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 島、方県、本郷、網代で記録がある。
 ＜種の概要＞ 荒地や道端に生育する多年草。茎は分枝して斜上し、高さ30～70cm、小さな星状毛があるほか、まばらに黄色の鋭い刺がある。葉は互生し、卵形～卵状長楕円形、長さ6～12cm、2～4個の大型の鋸歯があり、両面に星状毛がある。花期は6～9月。枝先に6～11cmの花序を伸ばし、5～15個の花を散房状につける。液果は橙黄色で径約1cmの球形。

ウキアゼナ	ゴマノハグサ科	侵入ランクC
--------------	---------	---------------

Bacopa rotundifolia

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 長森東で記録がある。
 ＜種の概要＞ 水面に浮かぶ一年草。茎は軟毛が生えてよく分枝し、節から根を出して広がり、長さ20～60cm。葉は対生し広楕円形～広倒卵形、長さ1.5～3cm、幅1～2cm、掌状に走る3～7本の脈がある。花期は6～9月。上部の葉の腋ごとに2～4個の花をつける。花柄は5～10cm、柔毛が生える。花冠は白色で、花喉は黄色。筒形で先は5裂して開く。

ヒメアメリカアゼナ	ゴマノハグサ科	侵入ランクC
------------------	---------	---------------

Lindernia anagallidea

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 茜部、長森南、柳津で記録がある。
 ＜種の概要＞ 湿った場所に生育する一年草。茎は直立してまばらに分枝し、高さ15～25cm。葉は対生し、披針形～卵状長楕円形、長さ5～15mm、幅2～8mm、先は尖り1～2個の小さい鋸歯がある。花期は8～9月。上部の葉の腋ごとに1花をつける。花柄は葉の1.2～2倍。花冠は唇形、淡紫色で長さ約8mm。下唇は上唇より長い。

オオカワヂシャ	ゴマノハグサ科	侵入ランクC 特定外来生物(外来生物法)
----------------	---------	--------------------------------

Veronica anagallis-aquatica

＜原産地等＞ ユーラシア(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 岩、長良東、島、日野、藍川で記録がある。
 ＜種の概要＞ 河川、水路などの水際に生育する越年草。茎は直立し、30～100cm。葉は対生し長楕円形、長さ3～7cm、幅1～2cm、基部は無柄で茎を抱く。鋸歯は微小で全縁に近い。花期は4～9月。上部の葉の腋に総状花序を伸ばし径約5mmの淡紫色の花を多数つける。

キササゲ	ノウゼンカズラ科	侵入ランクC
-------------	----------	---------------

Catalpa ovata

＜原産地等＞ 中国(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 藍川で記録がある。
 ＜種の概要＞ 川岸などに生育する落葉高木。樹高は10mになる。葉は広卵形でしばしば浅く3～5裂し、長さ10～25cm、幅7～20cm、分岐する太い3～5脈がある。両面脈状に短毛があり、裏面の葉柄との付け根ならびに主脈の脈腋に腺がある。花期は6～7月。花冠は淡黄色で内面に濃紫色の斑紋がある。蒴果は花序軸から多数下垂し細長く、長さ30～40cm。

ヘラオオバコ	オオバコ科	侵入ランクC 要注意外来生物(環境省)
---------------	-------	-------------------------------

Plantago lanceolata

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)
 ＜市内分布＞ 茜部、鏡島、厚見、合渡、城西、早田、島、日置江、本郷、柳津で記録がある。
 ＜種の概要＞ 川原や草地など日あたりの良い場所に生育する多年草～二年草。葉は斜上し狭楕円形～倒披針形、全縁で長さ約30cm。花期は5～8月。70cmに達する花茎の先に長さ8cmほどの円柱形の穂状花序をつける。花は花序の下から上に向かって順次咲く。

ブルーリスト
植物

ツボミオオバコ

オオバコ科

侵入ランクC

Plantago virginica

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
＜市内分布＞ 茜部、加納西・東、華陽、厚見、長森南で記録がある。
＜種の概要＞ 空き地や道端に生育する一年草～二年草。全体に白い短毛があり、高さ10～30cm。葉は横に広がり、広倒披針形で長さ3～10cm、幅1～2cm、3～5脈が目立つ。花期は5～6月。花茎は根元から直立し、葉よりも長く、長さ10～50cm、細長い穂状花序をつける。花には稔性花と不稔性花がある。

ノヂシャ

オミナエシ科

侵入ランクC

Valerianella locusta

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)
＜市内分布＞ 加納西・東、厚見、三輪北、長森南、島で記録がある。
＜種の概要＞ 湿った草地に生育する一年草～二年草。茎は4稜形で稜に白毛があり、高さ40cmに達する。葉は対生し、長楕円形で長さ1.5～9.5cm、幅0.5～3cm、下部の葉は有柄、上部の葉は無柄。花期は4～6月。枝先に集散花序をつけ、花冠は淡青色、裂片は不同に5裂し長楕円形、平開し径1.5mm。

ブタクサ

キク科

侵入ランクC

Ambrosia artemisiifolia

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
＜市内分布＞ 鏡島、合渡で記録がある。
＜種の概要＞ 空き地や裸地、河川敷などに生育する一年草。茎は直立し高さ30～120cm。茎の下部の葉は対生して長い柄があるが、上部のものは互生しほとんど無柄。葉は三角状卵形で、長さ6～12cm、中肋近くまで羽状に裂け、裂片はさらに深裂する。花期は7～10月。雄性花序は枝の先に総状につき、雌性花序はその下の葉腋に2～3個つく。

キダチコンギク

キク科

侵入ランクC

Aster pilosus

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
＜市内分布＞ 茜部、鏡島、金華、合渡、黒野、三輪南、西郷、早田、長良、長良東、梅林、方県、柳津で記録がある。
＜種の概要＞ 荒地や石垣などに生育する多年草。太く短い根茎があり、茎の下部は木化する。茎は高さ40～120cm、ややわらかい開出毛がある。枝は直角に出て先はしばしば下垂する。葉は線状披針形～倒披針形、しばしば鎌形に曲がる。花期は9～10月。頭花は多数、径約1.5cm、筒状花は黄色、舌状花は白色。瘦果は円柱形、黄褐色で冠毛は白色。

ホウキギク

キク科

侵入ランクC

Aster subulatus var. *subulatus*

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
＜市内分布＞ 茜部、金華、三里、市橋、長良、柳津、鞆で記録がある。
＜種の概要＞ やや湿った道端、空き地、埋め立て地に生育する一年草～越年草。茎は高さ50～120cm。葉は線形、長さ6～10cm、幅3～6mm、不明瞭な鋸歯縁。花期は9～10月。花序の枝は30～50度で斜上する。頭花は径4～5mm、筒状花は黄色、舌状花は白色～淡桃色、舌状部はごく短い。瘦果は稜のある円柱形、冠毛は淡紅色。

ホソバノセンダングサ

キク科

侵入ランクC

Bidens parviflora

＜原産地等＞ 東アジア、シベリア(国外外来種)
＜市内分布＞ 金華で記録がある。
＜種の概要＞ やや湿った草地や池畔に生育する一年草。茎は高さ30～70cm、縮れた短毛がある。葉は茎の基部では対生し、上部では互生。葉身は長さ3～10cm、2～3回羽状に深く裂け、裂片は細く幅3mm内外、両面に毛がある。花期は9～10月。頭花は黄色の筒状花からなる。瘦果は線形、扁平で4稜形、頂端に2個の鋭い刺がある。

タチアワユキセンダングサ

キク科

侵入ランクC

Bidens pilosa var. *radiata*

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 熱帯アメリカ(国外外来種)
＜市内分布＞ 詳細不明。
＜種の概要＞ 道端、畑地などに生育する一年草～多年草。茎は直立し毛があり、高さ0.5～1.5m。葉は5枚の小用からなる複葉で、下部で対生、上部で互生。花期は通年。径約3cmの頭状花序をつける。舌状花は白色、筒状花は黄色。瘦果は平たい4稜形、頂端に3～4本の刺がある。別名：アワユキセンダングサ。

ヤグルマギク

キク科

侵入ランクC

Centaurea cyanus

＜原産地等＞ 地中海沿岸東部(国外外来種)
＜市内分布＞ 茜部、加納東、華陽、岩、厚見、長良東、日野、藍川で記録がある。
＜種の概要＞ 庭などに植栽され、逸出する越年草。茎は高さ30～100cm。葉は互生し、下部の葉は幅の広い倒卵形で羽状に裂け、上部の葉は線状披針形。花期は4～6月。花は青色、紫色、桃色、白色などで、筒状花のみからなる。長い筒状花が周辺に一列に並び、中心部には筒の短い筒状花がある。

アレチノギク <i>Conyza bonariensis</i>	キク科	侵入ランクC
--	-----	---------------

<原産地等> 南アメリカ(国外外来種)
 <市内分布> 金華、長森南、長良、徹明、白山、方県、柳津で記録がある。
 <種の概要> 道端、荒地に生育する一年草～越年草。茎は高さ30～60cm、開出長毛が混じった細かい軟毛を密生する。葉は両面に灰白色の軟毛が密にあり、下部の葉は倒披針形で羽状に中～深裂する。上部の葉は倒披針形～線形。花期は7～11月。頭花は径約5mm。筒状花は灰黄色、舌状花は白色～暗紫色。

コスモス <i>Cosmos bipinnatus</i>	キク科	侵入ランクC
---	-----	---------------

<原産地等> メキシコ(国外外来種)
 <市内分布> 金華、長森南、長良、長良東で記録がある。
 <種の概要> 道端や川原に生育する一年草。茎は直立し良く分枝して高さ2mに達する。葉は2～3回羽状に細裂し、裂片は線状。花期は8～10月。茎の頂が分岐して、その先に直径約7cmの頭状花序を多数つける。舌状花は先端が3裂し、白～淡紅紫色、筒状花は黄色。瘦果は線形で長さ約1cm。

ダンドボロギク <i>Erechtites hieraciifolius</i>	キク科	侵入ランクC
--	-----	---------------

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)
 <市内分布> 芥見東、岩野田、岩野田北、金華、三輪南・北、長森西、長良、長良東、日野、方県、藍川で記録がある。
 <種の概要> 山地の伐採跡や都市の空き地に生育する一年草。茎は高さ1mになる。葉は互生し、葉身は広線形～狭披針形、長さ10～20cm、幅1.5～4cmで大小不揃いの鋸歯がある。花期は9～10月。頭花は茎の上方の直立する枝につく。総苞は円筒形、長さ11～15mm、花時の幅は約5mm。舌状花は無く、筒状花は白色で、長さ約14mm。瘦果は黒褐色。

コゴメギク <i>Galinsoga parviflora</i>	キク科	侵入ランクC
---	-----	---------------

<原産地等> 熱帯アメリカ(国外外来種)
 <市内分布> 三輪北で記録がある。
 <種の概要> 道端や畑に生育する一年草。茎は高さ15～60cm、ハキダメギクに似るが全体的に細く葉も小さい。葉身にはまばらに伏毛があり、3脈は顕著で低い波状鋸歯がある。花期は6～10月。頭花は径約5mm、舌状花は白色、筒状花は黄色。舌状花には冠毛がなく、筒状花の冠毛は先が房状に裂ける。

ハキダメギク <i>Galinsoga quadriradiata</i>	キク科	侵入ランクC
---	-----	---------------

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)
 <市内分布> 三輪北で記録がある。
 <種の概要> 畑、道端、空き地などに生育する一年草。茎は直立し、高さ15～60cm、基部で分岐し花柄と共に開出毛時に腺毛がある。葉は対生し、卵形～卵状披針形、長さ3～6cm、幅1.5～4cm、両面に毛があり、3行脈がある。花期は6～11月。頭花は径約5mm、舌状花の冠毛は芒状で花筒と同長。筒状花の冠毛は黄白色～白色。

クワイモ <i>Helianthus tuberosus</i>	キク科	侵入ランクC 要注意外来生物(環境省)
--	-----	-------------------------------

<原産地等> アメリカ大陸(国外外来種)
 <市内分布> 三輪北、方県、網代で記録がある。
 <種の概要> 空き地や土手などに生育する多年草。茎は高さ1～3m、上部で分枝し、開出または下向きの剛毛がありざらつく。葉は卵状披針形、中脈を含め3脈が目立つ。裏面は毛が密にあり、無柄の腺点が多い。花期は8～11月。外観はヒマワリに似て、舌状花は黄色。根の先に塊茎ができ、カライモと呼ばれ味噌漬けにして食する。

ブタナ <i>Hypochaeris radicata</i>	キク科	侵入ランクC 要注意外来生物(環境省)
---	-----	-------------------------------

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)
 <市内分布> 茜部、加納東、華陽、鏡島、厚見、合渡、白山で記録がある。
 <種の概要> 道端、荒地、畑などに生育する越年草。葉は根生しロゼット状。茎は高さ25～80cm。葉は倒披針形、長さ6～11cm、幅1.5～4.5cm、羽状に浅裂～中裂、両面および縁に剛毛が密生する。花期は6～10月。頭花は黄色で径3～4cm。タンポポ類に似るが、本種は花茎から1～3本の枝を出すことで区別できる。

フランスギク <i>Leucanthemum vulgare</i>	キク科	侵入ランクC
--	-----	---------------

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)
 <市内分布> 茜部、加納東、厚見、三輪北で記録がある。
 <種の概要> 道端や空き地に生育する多年草。茎は高さ30～50cm。葉は倒卵形～倒披針形で長い柄があり、両面共に無毛。花期は6～7月。頭花は径約5cmになり枝頂に単生する。舌状花は白色。冠毛は合着して皿状の突起となる。瘦果は黒色。

ブルーリスト
植物

ノボロギク

キク科

侵入ランクC

Senecio vulgaris

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)
＜市内分布＞ 茜部、加納東、華陽、厚見、白山で記録がある。
＜種の概要＞ 道端や畑の畔などに生育する越年草。茎は高さ 20~40cm になり、葉をまばらにつける。葉は広線形~倒披針形、長さ 2~10cm、幅 0.5~4cm、不規則に羽状に裂ける。花期はほぼ通年。頭花は茎頂の葉腋から出る枝の先につく。花は筒状花のみからなる。花冠は黄色、冠毛は白色。

オオアワダチソウ

キク科

侵入ランクC

Solidago gigantea subsp. *serotina*

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
＜市内分布＞ 詳細不明。
＜種の概要＞ 原野、道端、空き地に生育する多年草。長い地下茎を伸ばし、栄養繁殖する。茎は高さ 50~150mm。葉は線状楕円形で長さ 10~15cm、幅 1.5~2cm、上半部には鋸歯がある。花期は 7~9 月。花序は円錐花序、枝はまばらで、頭花は径 6~7mm、筒状花、舌状花共に黄色、瘦果は稜のある円柱形、冠毛は長さ約 3.5mm。

アカミタンポポ

キク科

侵入ランクC

Taraxacum laevigatum

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)
＜市内分布＞ 金華で記録がある。
＜種の概要＞ 道端や空き地に生育する多年草。花茎の高さは花時で 10~25cm。葉は長さ 3~25cm、幅 0.5~6cm、中肋近くまで不規則に羽状に深裂し、裂片は三角形~狭三角形で、先は下方を向く。花期はほぼ通年。頭花は黄色で径 2~3cm。総苞外片はつぼみの時以外反転する。瘦果は長さ 3mm 内外、暗赤色、冠毛は白色。

イヌカミツレ

キク科

侵入ランクC

Tripleurospermum maritimum subsp. *inodorum*

＜原産地等＞ ユーラシア(国外外来種)
＜市内分布＞ 岩、長良東、島、日野、藍川で記録がある。
＜種の概要＞ 山地の道端に生育する一年草~二年草。下方でまばらに分枝し、高さ 30~60cm。葉は質薄く、倒披針形~線状倒披針形、2~3 回羽状に深裂し長さ 3~10cm、最終裂片は線形で先は突鋭形。花期は 6~9 月。頭花は径 3~4.5cm、舌状花は白色、長さ 1~1.8cm、筒状花には微小な冠毛がある。瘦果は扁平なつぼ形、3 面性で各面に幅広の 1 脈がある。

ナガバオモダカ

オモダカ科

侵入ランクC

Sagittaria graminea

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
＜市内分布＞ 三里、本荘で記録がある。
＜種の概要＞ 池沼や河川に生育する多年草の抽水植物。草丈は通常 20~60cm だが、水深によってはそれ以上となる。葉は根生し、抽水葉では披針形、長さ 7~25cm、幅 1.5~3cm。花期は 4~9 月。15~70cm の花茎の先に 3 輪性の総状花序をつける。径 1.5cm の白色の花をつける。雌雄異株で、日本には雌株のみ帰化しており、走出枝により子株を形成する。

ラッキョウ

ユリ科

侵入ランクC

Allium chinense

＜原産地等＞ 中国(国外外来種)
＜市内分布＞ 柳津で記録がある。
＜種の概要＞ 栽培される多年草。鱗茎は狭卵形で外皮は薄い、食用となる。葉の断面は五角形、秋から冬は青く、夏には枯れる。花期は 9~10 月。花茎は高さ 30~60cm、紫色の小花を散形花序につける。花柄は 2.5~3cm。雄蕊の花糸基部に大きな歯がある。

タカサゴユリ

ユリ科

侵入ランクC

Lilium formosanum

＜原産地等＞ 台湾(国外外来種)
＜市内分布＞ 華陽、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、市橋、長森南、長良、方県、藍川で記録がある。
＜種の概要＞ 道端、道路路面などに生育する多年草。鱗茎は球形~広卵形で、径約 5cm。茎は高さ 30~200cm。葉は多数が茎に互生し、無柄、線形で先は尖り、長さ 10~30cm、幅 4~12mm。花期は 7~11 月。花は茎の先の葉腋に 1~数個が横からやや下向きに咲く。花被片は 6 枚、白色で外面の特に中肋に沿って赤紫色を帯びる。

ナツズイセン

ヒガンバナ科

侵入ランクC

Lycoris × *squamigera*

＜原産地等＞ 中国(国外外来種)
＜市内分布＞ 金華、長良、長良東、日野で記録がある。
＜種の概要＞ 人里に近い原野、道端などに生育する多年草。鱗茎は広卵形で径 4~5cm、外皮は黒褐色。葉は粉緑色を帯び長さ 20~30cm、幅 18~25cm、早春に伸び夏には枯れる。花期は 8~9 月。高さ 50~70cm の花茎が立ち、数個の淡紅紫色の花がつく。花被片は倒披針形で長さ 5~7cm、幅約 15mm、先はやや反り返る。

スイセン <i>Narcissus tazetta</i>	ヒガンバナ科	侵入ランクC
---	--------	---------------

<原産地等> 中国(国外外来種)
 <市内分布> 金華で記録がある。
 <種の概要> 海岸近くの草地を中心に生育する多年草。鱗茎は卵球形で外皮は黒色。葉は晩秋に出て粉緑色で長さ 20~40cm、幅 8~16mm、先は円い。花期は 3~4 月。花茎は高さ 20~40cm になり、先に数個の花が散状につく。花柄は長さ 4~8cm、花被片は 6 枚、白色で平開、中央に黄色の副花冠があり杯状で径約 10mm。

タマスダレ <i>Zephyranthes candida</i>	ヒガンバナ科	侵入ランクC
---	--------	---------------

<原産地等> ブラジル(国外外来種)
 <市内分布> 合渡、柳津で記録がある。
 <種の概要> 園芸用に栽培され道端などに逸出する多年草。高さは 15~30cm。地下に球根がある。葉は細くて肉質で厚みがある。花期は 7~10 月。基部から花茎を伸ばし、1 花をつける。花弁は 6 枚で白色。花は夜には閉じる。

ホテイアオイ <i>Eichhornia crassipes</i>	ミズアオイ科	侵入ランクC 要注意外来生物(環境省)
--	--------	-------------------------------

<原産地等> 熱帯アメリカ(国外外来種)
 <市内分布> 岩、合渡で記録がある。
 <種の概要> 湖沼、ため池のほか河川や水路の流れの緩やかな場所に浮遊して生育する多年草。走出枝を伸ばして子株をつくり広がる。大きさは環境条件によって変異が大きく、10~80cm、1m を超えるものもある。葉は卵心形~円心形、長さ 5~20cm、幅 5~18cm。葉柄の中ほどが膨れて浮囊となる。花期は 6~11 月。葉間から伸びる花茎の総状花序に淡紫色の花を多数つける。

ヒメヒオウギズイセン <i>Crocsmia × crocosmiiflora</i>	アヤメ科	侵入ランクC
---	------	---------------

<原産地等> 欧州で交雑(国外外来種)
 <市内分布> 岩野田、三輪南・北、常磐、長森南で記録がある。
 <種の概要> 花壇周りや空き地などに生育する多年草。地下に繊維に覆われた球根があり、走出枝を出して繁殖する。葉は剣上で 2 列に互生する。花期は 7~8 月。葉束の中央から高さ 80cm に達する花茎を出し、上部で分枝し多数の花を偏側的な穂状花序につける。花は朱赤色で径約 3cm、斜め下向きに開き、花被片は 6 枚。雄蕊と雌蕊はオレンジ色~黄色。

ノハカタカラクサ <i>Tradescantia flumiensis</i>	ツクサ科	侵入ランクC 要注意外来生物(環境省)
---	------	-------------------------------

<原産地等> 南アメリカ(国外外来種)
 <市内分布> 加納東、華陽、岩、鏡島、厚見、合渡、長良東、日野で記録がある。
 <種の概要> 道端、林床などやや湿潤な日陰に生育する多年草。茎は伸長し、地面に接する場所から不定根を出し広がる。葉は互生し卵状楕円形~楕円形で長さ 3~5cm、幅約 2cm。花期は 5~8 月。茎の先にある葉の腋に数個白色の花をつける。

ムラサキツクサ <i>Tradescantia ohiensis</i>	ツクサ科	侵入ランクC
--	------	---------------

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)
 <市内分布> 茜部、厚見で記録がある。
 <種の概要> 道端や空き地に生育する一年草。高さ 15~115cm。葉は粉白色で長さ 5~45cm、幅 0.4~4.5cm。花期は 6~9 月。花茎の先に径 2~3cm の紫色の花を数個~十数個つける。花弁は 3 個で早朝開花し、午後にはしぼむ。雄蕊の基部に単細胞の細い毛が密生する。

ヒメヌカボ <i>Agrostis canina</i>	イネ科	侵入ランクC
--	-----	---------------

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)
 <市内分布> 三輪北で記録がある。
 <種の概要> 水湿地や林床に生育する多年草。走出枝があり、稈は高さ 10~70cm。葉は無毛で長さ 2~15cm、幅 2~3.5mm、下面はややざらつく。葉舌は高さ 1.5~3mm。花期は 5~6 月。円錐花序は多くの小穂からなって疎開し、長さ 5~20cm、幅 2~8cm。小穂は長さ 1.5~2mm、淡緑色~淡紫色。護穎には長さ 1~2mm の屈曲する芒がある。

コヌカグサ <i>Agrostis gigantea</i>	イネ科	侵入ランクC
--	-----	---------------

<原産地等> 北半球温帯(国外外来種)
 <市内分布> 三輪北で記録がある。
 <種の概要> 道端や草地に生育する多年草。太い根茎があり、稈は高さ 50~100cm。葉は長さ 5~20cm、幅 4~7mm、両面ざらつく。葉舌は高さ 3~5mm。花期は 5~6 月。円錐花序は直立し、長さ 10~20cm、枝はざらつき、枝の基部近くから小穂をつける。小穂は 1 小花からなり、長さ 2~2.5mm、淡緑色~淡褐色でやや光沢がある。

ブルーリスト
植物

コバンソウ

イネ科

侵入ランクC

Briza maxima

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納西・東、華陽、厚見、長森南、柳津、鶉で記録がある。

＜種の概要＞ 明るい草地や荒地に生育する一年草。単生または束生し、稈は高さ10～60cm。葉は扁平で長さ5～20cm、幅3～8mm。葉舌は高さ2～5mm。花期は5～7月。円錐花序は長さ3～10cm、先は垂れ、枝は少数で、それぞれ1～3個の小穂をつける。小穂は下垂し卵形で、両側に膨れ、長さ14～25mm、8～18花からなり、初め黄緑色、のち黄褐色。

カモガヤ

イネ科

侵入ランクC

Dactylis glomerata

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ ヨーロッパ～西アジア(国外外来種)

＜市内分布＞ 厚見、三輪北、長森南で記録がある。

＜種の概要＞ 道端や草地に生育する多年草。稈はほぼ直立し高さ40～120cm。葉は長さ10～40cm、幅3～14mm。花期は7～8月。円錐花序は長さ10～25cm、各節に枝を1本ずつ出し、上方に多くの小穂が塊状につく。国内では牧草として利用されている。英名：オーチャードグラス。

オオニワホコリ

イネ科

侵入ランクC

Eragrostis pilosa

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)

＜市内分布＞ 柳津で記録がある。

＜種の概要＞ 水田の畔などやや湿った場所に生育する一年草。稈は硬く細く束生し、高さ30～70cm。葉は長さ7～20cm、幅2～4mm。葉舌は微細な短毛の列。円錐花序は狭卵形で長さ10～30cm、先はやや傾き、枝や小枝の上半分に小穂をまばらにつける。小穂は長さ3～5mm、5～10小花からなり、灰緑色で一部紅紫色に染まる。

オニウシノケグサ

イネ科

侵入ランクC

Festuca arundinacea

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ ユーラシア(国外外来種)

＜市内分布＞ 岩野田、三輪北、市橋、常磐、長森南、網代で記録がある。

＜種の概要＞ 荒地や道端、河川敷に生育する多年草。稈は高さ40～180cm。葉は長さ10～60cm、幅3～10mm、葉脈は太く上面に著しく隆起。葉鞘の口部は先の尖った三日月形の葉耳があり稈を抱く。葉耳のへりには短毛が並ぶ。花期は6～8月。円錐花序は長さ10～50cm、1節から長短2本の枝を出し、それぞれに数個の小穂をつける。英名：トール・フェスク。

ホソムギ

イネ科

侵入ランクC

Lolium perenne

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ ユーラシア(国外外来種)

＜市内分布＞ 三輪北で記録がある。

＜種の概要＞ 道端や空き地に生育する短命の多年草。稈は高さ15～90cm。葉は長さ6～25cm、幅2～4mm。若い葉身は、芽の中で2つ折れになる。葉耳は時に不明。花期は5～7月。穂状花序は節ごとにわずかに屈曲し、小穂はその凹みにつき、2列に並ぶ。小穂は無柄で中軸の両側に小花をつける。小花は10小花からなるものが多い。護穎にはふつつ芒がない。

ドクムギ

イネ科

侵入ランクC

Lolium temulentum

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)

＜市内分布＞ 金華で記録がある。

＜種の概要＞ 道端や荒地に生育する一年草。稈は束生し、高さ30～80cm。葉は長さ20～50cm、幅3～8mm。葉鞘口部には細い三日月形の葉耳があり茎を抱く。葉舌は高さ1～2mm。花期は5～7月。穂状花序は節ごとに強く屈曲し、小穂はその凹みにつき2列に並ぶ。小穂は無柄で5～10花からなる。第2包穎は革質で厚く、小穂と同長かわずかに長い。

ネズミホソムギ

イネ科

侵入ランクC

Lolium × hybridum

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)

＜市内分布＞ 三輪北で記録がある。

＜種の概要＞ 道端や空き地に生育する一年草～二年草。稈は高さ15～90cm。葉は長さ6～25cm、幅3～8mm。若い葉身は、芽の中でくると巻いている。葉耳は明瞭。花期は5～7月。穂状花序は節ごとにわずかに屈曲し、小穂はその凹みにつき、2列に並ぶ。小穂は無柄で中軸の両側に小花をつける。小花は10小花以上のものが多い。護穎は長い芒をもつ。

オオクサキビ

イネ科

侵入ランクC

Panicum dichotomiflorum

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 三輪南・北、長良東、日野、方県、網代で記録がある。

＜種の概要＞ 傍道端、荒地、河川敷に生育する一年草。稈は太くて束生し、高さ40～100cm。葉は長さ20～40cm、幅8～15mm。葉鞘は平滑で時に紅紫色を帯びる。葉舌は低く、縁に1列の毛が生える。花期は8～10月。花序は長さ幅とも12～25cm、枝は斜上し、その上半部に小穂をつける。小穂は有柄で枝に寄り添い、長さ2.5mm。淡緑色～黒紫色。

ナガハグサ

イネ科

侵入ランクC

Poa pratensis

＜原産地等＞ ユーラシア(国外外来種)

＜市内分布＞ 金華で記録がある。

＜種の概要＞ 明るい草地に生育する多年草。細長い根茎がある。稈は束生し、直立、高さ30～80cm。葉は10～30cm、幅2～4mm、葉先は急に狭くポート型。葉舌は切形で高さ0.5～1.2mm。花期は5～7月。花序は長さ8～15cm、幅4～9cm、枝は各節から2～6本出て、それぞれ数個以上の小穂をつける。小穂は長さ4～6mmで2～5小花がある。

ナギナタガヤ

イネ科

侵入ランクC

Vulpia myuros

＜原産地等＞ ヨーロッパ～西アジア(国外外来種)

＜市内分布＞ 三輪北で記録がある。

＜種の概要＞ 乾燥した道端や荒地に生育する一年草。稈は細く束生し、高さ10～70cm。葉は緑白色で長さ2～15cm、内側に強く巻き糸状で、幅0.5～2mm。葉舌は高さ1mm以下。花期は5～7月。円錐花序は長さ10～20cm、弓型に傾いて垂れる。小穂の柄は長さ1～3mm、3～7小花からなり、淡緑色、長さ7～10mm。

II-2-2 哺乳類

哺乳類のブルーリスト種は、岐阜市内で生息記録のある 35 種の 14.3%にあたる 5 種が該当する。

カテゴリー別にみると、侵入ランク A に該当する種はヌートリア、アライグマ、シベリアイタチ、ハクビシンの 4 種で、哺乳類ブルーリスト種の 80.0%にあたる。侵入ランク B はクリハラリスの 1 種が挙げられている。なお、侵入ランク C の該当種はない(表 II-2-2 参照)。

侵入ランク A の種について、確認場所の詳細な記録があるデータを基に、3 次メッシュの 1/2 地域メッシュに整理すると、市内で最も広く分布する種はヌートリアで、市域(907 メッシュ)の 15.5%を占める 141 メッシュで生息記録がある。次いでアライグマの 128 メッシュ、ハクビシンの 62 メッシュとなっている。これら 3 種の分布状況は図 II-2-2 に示すとおりである。

表 II-2-2 ブルーリスト掲載種一覧 (哺乳類)

カテゴリー区分	哺乳類	種数
侵入ランク A	ヌートリア、アライグマ、シベリアイタチ、ハクビシン	4
侵入ランク B	クリハラリス	1
侵入ランク C	—	—
合 計		5

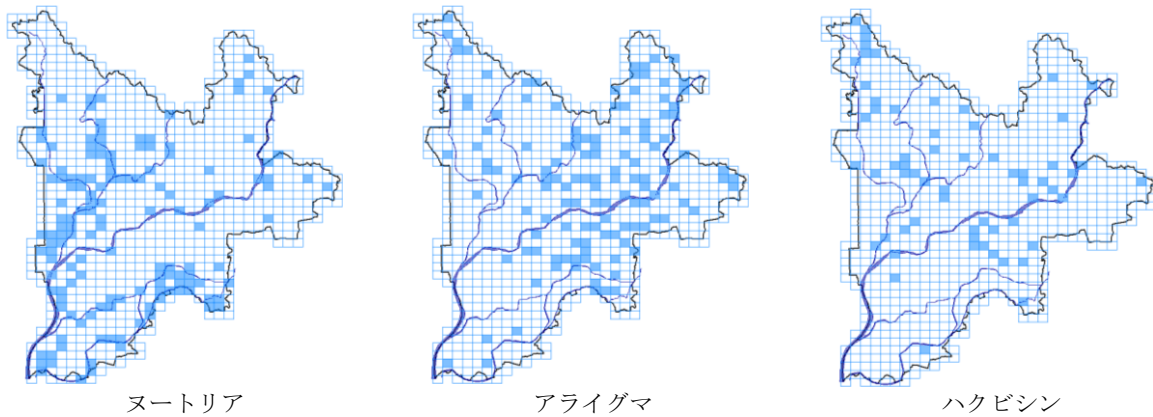


図 II-2-2 主要な種(哺乳類)の分布状況

ヌートリア

ヌートリア科

侵入ランク A

Myocastor coypus

特定外来生物(外来生物法)

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 市内の丘陵地を除く広い範囲で記録がある。

＜種の概要＞ 体重 7kg、頭胴長 68～70cm、尾長 39cm、後足長 13cm、大きなドブネズミのような体つきで、目や耳は小さく尾は円筒状。後足の第 1 指から第 4 指の間に水掻きがある。年 2～3 回出産し平均 5 頭、仔は 6～7 ヶ月で成熟する。



撮影：梶浦敬一

アライグマ

アライグマ科

侵入ランク A

Procyon lotor

特定外来生物(外来生物法)

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 市内の市街地と丘陵地の広い範囲で記録がある。

＜種の概要＞ 頭胴長 50～60cm、尾長 30～40cm、体重 6～7kg。体毛は灰白色の毛で、目の周囲にははっきりした黒いマスク模様があり、尾には黒の輪模様がある。雑食性で、果実、昆虫、魚、養鶏場の鶏なども食べる。

＜特記事項＞ 1962 年犬山市の研究施設から逃げだし、可児市では捕獲後家庭で飼育・放逐した経緯がある。



撮影：梶浦敬一

シベリアイタチ

イタチ科

侵入ランク A

Mustela sibirica

＜原産地等＞ アジア大陸、ヨーロッパ東部(国外外来種)

＜市内分布＞ 長森地区、京町地区、正木地区、長良地区で記録がある。

＜種の概要＞ 全体がやや褐色がかかった山吹色をしているが、やや汚れて黒く見えることが多い。額の中央部から鼻鏡部にかけて濃褐色の斑紋がある。頭胴長は雌雄で異なるが、おおむね 25～39cm、尾長 13～21cm、体重 360～820g。頭胴長に対して尾長の長さが半分以上だとシベリアイタチである。ネズミ類、鳥類、甲殻類、魚といった動物食のほか、果実なども食べる。



撮影：梶浦敬一

ハクビシン

ジャコウネコ科

侵入ランク A

Paguma larvata

＜原産地等＞ 中国大陸ほか(国外外来種)

＜市内分布＞ 市内の広い範囲で記録がある。

＜種の概要＞ 体色は灰褐色で、顔面と四肢の下部は黒褐色。額下部から鼻鏡部中央に白線が入り他種と容易に区別できるとされているが、アナグマと混同されることがきわめて多い。耳介は大きく目立つ。頭胴長 60～66cm、尾長 40cm、体重 3kg ほど。金華山の頂上付近から市内の住宅地まで生息しており、木登りが得意で、電線を渡って移動することができ、よく樹上生活を行う。食性の幅は広くネズミ類、カエル類、昆虫類のほかイチゴやブドウなど果実も食べる。



撮影：梶浦敬一

クリハラリス

リス科

侵入ランク B

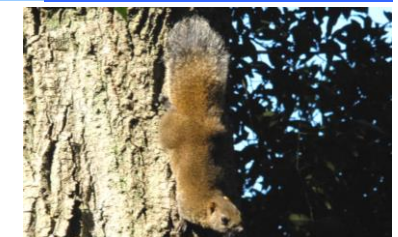
Callosciurus erythraeus

特定外来生物(外来生物法)

＜原産地等＞ 中国からマレー半島(国外外来種)

＜市内分布＞ 金華山一帯や舟伏山、三峰山で記録がある。

＜種の概要＞ 頭胴長 20～22cm、体重 360g 前後、尾長 17～20cm、背面は黒と黄土色の霜降り、腹面は淡い黄土色である。樹木の種子、栗、イチジク、柿、葉、樹皮を菜食する。木の枝の間に小枝を集めて丸い巣を作る。年 1 回、1～3 頭の仔を出産する。別名：タイワンリス。



撮影：梶浦敬一

II-2-3 鳥類

鳥類のブルーリスト種は、岐阜市内で生息記録のある 238 種の 1.3%にあたる 3 種が該当する。

カテゴリー別にみると、侵入ランク A に該当する種はコジュケイ、カワラバト(ドバト)の 2 種で、鳥類ブルーリスト種の 66.7%にあたる。侵入ランク C はソウシチョウの 1 種が挙げられている。なお、侵入ランク B の該当種はない(表 II-2-3 参照)。

これら 3 種について、確認場所の詳細な記録があるデータを基に、3 次メッシュの 1/2 地域メッシュに整理すると、コジュケイは市域(907 メッシュ)の 2.6%を占める 24 メッシュで生息記録がある。カワラバト(ドバト)は 15 メッシュ、ソウシチョウは 7 メッシュである。これら 3 種の分布状況は図 II-2-3 に示すとおりである。

表 II-2-3 ブルーリスト掲載種一覧 (鳥類)

カテゴリー区分	鳥類	種数
侵入ランク A	コジュケイ、カワラバト(ドバト)	2
侵入ランク B	—	—
侵入ランク C	ソウシチョウ	1
合 計		3



図 II-2-3 主要な種(鳥類)の分布状況

コジュケイ

キジ科

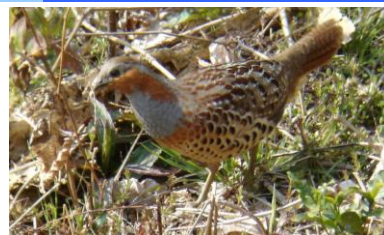
侵入ランク A

Bambusicola thoracicus

<原産地等> 中国南部(国外外来種)

<市内分布> 市北部の山林に広く分布する。「ちょっとこい」と聞こえる独特の囀りが以前よりは少なくなった。

<種の概要> 大正年代に放鳥された個体が自然繁殖し、また、狩猟鳥として放鳥された個体が分布を広げ、平地から山林にかけて生息するようになった。数羽の群れで生活しているが、下藪の中に隠れていることが多く、鳴き声でその存在を知る。



撮影：大塚之稔

カワラバト（ドバト）

ハト科

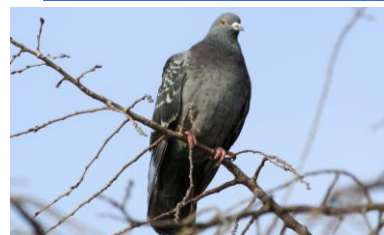
侵入ランク A

Columba livia

<原産地等> ヨーロッパ、中央アジア、北アフリカ(国外外来種)

<市内分布> 山林を除いてほぼ市内全域で見られる。市街地の公園でも普通である。あまりにもごく普通に見られるため、確認地点を記録されることが少ない。

<種の概要> カワラバトの家禽化したもので日本では平安時代から記録がある。江戸時代に呼ばれた堂鳩が訛ってドバトと呼ばれるようになったと言われている。式典での放鳥やレースバトが野生化したものも多く、原種と異なる色彩を持ったものもいる。



撮影：大塚之稔

ソウシチョウ

チメドリ科

侵入ランク C

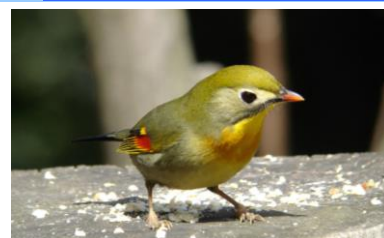
Leiothrix lutea

特定外来生物(外来生物法)

<原産地等> 東アジア、東南アジア(国外外来種)

<市内分布> 百ヶヶ峰や金華山で数羽から十羽程度が越冬しているのが観察されている。

<種の概要> 標高 500~1,000m のササ原で繁殖し、冬は低い山の林に移動する。登山者によって餌付けされていることもある。美しい色彩と大きな声で囀ることから、ペットとして多く輸入された。



撮影：大塚之稔

II-2-4 爬虫類

爬虫類のブルーリスト種は、岐阜市内で生息記録のある17種の11.8%にあたる2種が該当する。

カテゴリー別にみると、侵入ランクAに該当する種はミシシippアカミミガメの1種で、侵入ランクCにはホクベイカミツキガメの1種が挙げられている。なお、侵入ランクBの該当種はない(表II-2-4参照)。

これら2種のうちミシシippアカミミガメについて、確認場所の詳細な記録があるデータを基に、3次メッシュの1/2地域メッシュに整理すると、市域(907メッシュ)の7.8%を占める71メッシュで生息記録がある。一方、ホクベイカミツキガメは1メッシュのみの記録である。これら2種の分布状況は図II-2-4に示すとおりである。

表 II-2-4 ブルーリスト掲載種一覧 (爬虫類)

カテゴリー区分	爬虫類	種数
侵入ランクA	ミシシippアカミミガメ	1
侵入ランクB	—	—
侵入ランクC	ホクベイカミツキガメ	1
合計		2

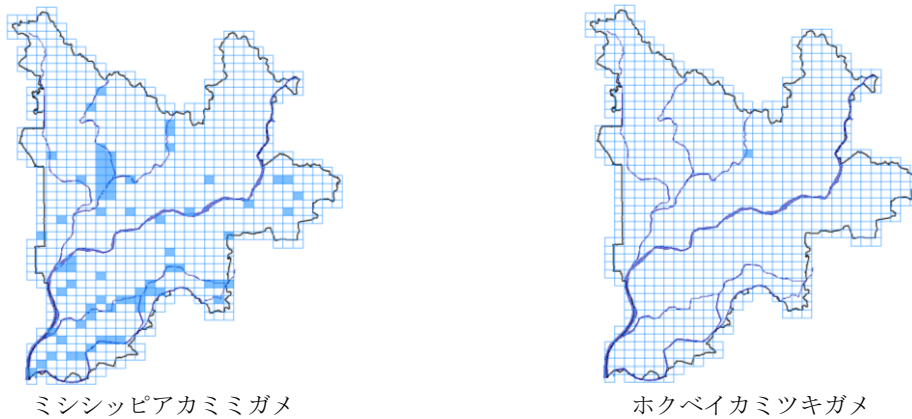


図 II-2-4 主要な種(爬虫類)の分布状況

ミシシippアカミミガメ

ヌマガメ科

侵入ランク A

Trachemys scripta elegans

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
＜市内分布＞ 北部や西部の山地を除く地域に広く分布する。
＜種の概要＞ 雌は背甲長 25～28cm、雄は 20cm 前後になる。耳の上に鮮やかな朱色の斑紋がある。性成熟に達した雄の前肢の爪は長く伸び、高齢な雄は黒化して体全体が黒っぽくなる。配偶期は秋と春で、冬には水底で越冬する。6～7月を中心に1回当たり 10～15 個の楕円体の卵を年 2 回産む。孵化個体は産卵巣で越冬し、翌春地上に現れる。雑食性であるが、高齢な個体は草食性が強くなる。
＜特記事項＞ 近年、池や堀などの観賞用ハスあるいはオニバス、水田の食用レンコンへの本種による甚大な被害が、各地で確認されるようになった。野生の水生植物も食害することは間違いなく、対策が必要である。



撮影：矢部隆

ホクベイカミツキガメ

カミツキガメ科

侵入ランク C

Chelydra serpentina

特定外来生物(外来生物法)

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)
＜市内分布＞ 2004年に市内で保護されている。
＜種の概要＞ トウブカミツキガメ(基亜種ホクベイカミツキガメ)*C. s. serpentina* とフロリダカミツキガメ *C. s. osceola* の 2 亜種を含むが、飼育後野外放逐された個体は変形していることが多く、外部形態から亜種を同定することは困難である。背甲長 40cm を超えることがある大型のカメ。背甲後部はギザギザしている。四肢、頭部は太い。尾は太くて長く、背面に一系列の三角形の突起が並ぶ。腹甲は小さい。大食いのカメで、地域の食物連鎖を攪乱する可能性が大きい。長い首を急激に伸ばして噛み付く習性があり、扱いには注意を要する。千葉、東京など各地で野外繁殖しており、岐阜県でも十分に繁殖し得る。



撮影：矢部隆(市外撮影)

II-2-5 両生類

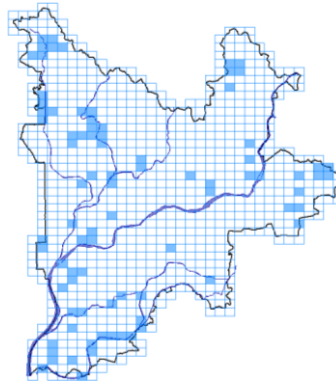
両生類のブルーリスト種は、岐阜市内で生息記録のある16種の6.3%にあたる1種が該当する。

カテゴリー別にみると、侵入ランクAに該当する種はウシガエルの1種で、侵入ランクBおよび侵入ランクCの該当種はない(表II-2-5参照)。

ウシガエルについて、確認場所の詳細な記録があるデータを基に、3次メッシュの1/2地域メッシュに整理すると、市域(907メッシュ)の9.3%を占める84メッシュで生息記録がある。ウシガエルの分布状況は図II-2-5に示すとおりである。

表II-2-5 ブルーリスト掲載種一覧 (両生類)

カテゴリー区分	両生類	種数
侵入ランクA	ウシガエル	1
侵入ランクB	—	—
侵入ランクC	—	—
合 計		1



ウシガエル

図II-2-5 主要な種(両生類)の分布状況

ウシガエル

アカガエル科

侵入ランク A

Lithobates catesbeianus

特定外来生物(外来生物法)

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 都市部を除く地域に広く分布する。

＜種の概要＞ 体長は雄 111～178mm、雌 120～183mm。体色は褐色から緑色。大型で後肢は長く、水掻きがよく発達している。移動性にも富み、小型の若齢個体から大型のものまで、雨天時などに路上を移動しているものが発見される。繁殖期は 5～9 月と長く、卵数は 6,000～40,000 個と非常に多い。幼生で越冬するものも多い。昆虫類やザリガニ、他のカエル、魚類、水鳥の雛、ネズミなど多様な動物を捕食する。繁殖力が高く、水の汚れに強く、貪食で分布を広げる能力も高いため、在来の生物に与える影響は大きく脅威である。



撮影：鈴木彰

II-2-6 魚類

魚類のブルーリスト種は、岐阜市内で生息記録のある 67 種の 22.4%にあたる 15 種が該当する。

カテゴリー別にみると、侵入ランク A に該当する種はゲンゴロウブナ、カネヒラ、タイリクバラタナゴ、ギギ、カダヤシ、ブルーギル、オオクチバス、カムルチーの 8 種で、侵入ランク B にはハス、ツチフキ、カラドジョウ、シマヒレヨシノボリの 4 種、侵入ランク C にはレッドテールキャットフィッシュ、マダラロリカリア、グッピーの 3 種が挙げられている(表 II-2-6 参照)。

侵入ランク A の種について、確認場所の詳細な記録があるデータを基に、3 次メッシュの 1/2 地域メッシュに整理すると、市内で最も広く分布する種はタイリクバラタナゴで、市域(907 メッシュ)の 10.8%を占める 98 メッシュで生息記録がある。次いでカダヤシの 72 メッシュ、ブルーギルの 44 メッシュとなっている。これら 3 種の分布状況は図 II-2-6 に示すとおりである。

表 II-2-6 ブルーリスト掲載種一覧 (魚類)

カテゴリー区分	魚類	種数
侵入ランク A	ゲンゴロウブナ、カネヒラ、タイリクバラタナゴ、ギギ、カダヤシ、ブルーギル、オオクチバス、カムルチー	8
侵入ランク B	ハス、ツチフキ、カラドジョウ、シマヒレヨシノボリ	4
侵入ランク C	レッドテールキャットフィッシュ、マダラロリカリア、グッピー	3
	合 計	15

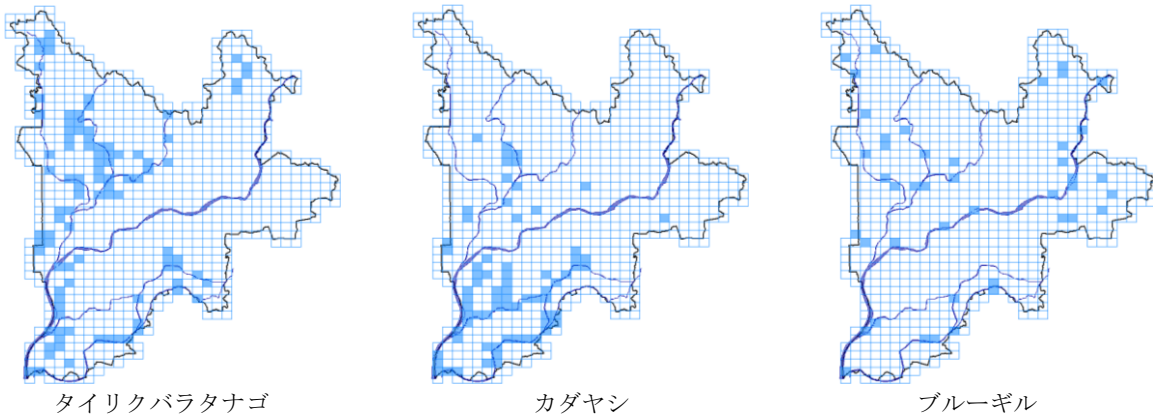


図 II-2-6 主要な種(魚類)の分布状況

ゲンゴロウブナ

Carassius cuvieri

コイ科

侵入ランク A

<原産地等> 琵琶湖(国内外来種)

<市内分布> 市街地の河川およびため池。

<種の概要> 全長 40cm 程度。体高が高く、鰓耙数は 100 前後。釣りを目的として全国に放流されている。

<特記事項> 在来フナ類と交雑し、遺伝的攪乱を引き起こす。また本種を目的とした釣り(ヘラブナ釣り)は練りえさを多く投入するため、水質への影響が懸念される。



撮影：鈴木彰

カネヒラ

Acheilognathus rhombeus

コイ科

侵入ランク A

<原産地等> 琵琶湖水系以西(国内外来種)

<市内分布> 主に市域北中部から南部の平野部の河川に分布する。

<種の概要> 全長 12cm 程度。口ひげは短く、体高が高い大型のタナゴ類。繁殖期は秋で、夏の終わりごろから雄の背部は青緑色に、腹部は桃色の婚姻色が現れる。

<特記事項> 岐阜県では 1970 年代以降に確認しており移殖によるものと考えられる。



撮影：向井貴彦

タイリクバラタナゴ

Rhodeus ocellatus ocellatus

コイ科

侵入ランク A

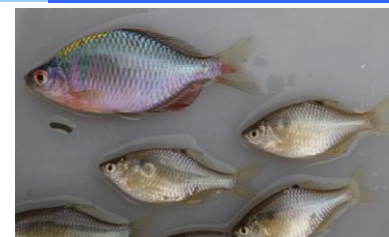
要注意外来生物(環境省)

<原産地等> 中国大陸(国外外来種)

<市内分布> 流れの緩やかな河川や水路に広く分布する。

<種の概要> 全長 5cm 程度。口ひげは無く体高が高い。明治期以降に食用魚の種苗に混入してきたと考えられており、現在は全国に広く分布している。

<特記事項> 在来タナゴ類と競合し、悪影響を与えていると考えられる。



撮影：向井貴彦

ギギ

Tachysurus nudiceps

ギギ科

侵入ランク A

<原産地等> 琵琶湖水系以西(国内外来種)

<市内分布> 長良川および境川で確認された。

<種の概要> 全長 20cm 程度。鱗が無く、ひげが 4 対、脂鰭がある。河川の中・下流域や湖沼に生息する。琵琶湖産アユの放流に混入して侵入したと考えられている。



撮影：向井貴彦

カダヤシ

Gambusia affinis

カダヤシ科

侵入ランク A

特定外来生物(外来生物法)

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<市内分布> 岐阜大学周辺および荒田川、新荒田川で特に個体数が多い。

<種の概要> 雄は全長 3cm 程度。雌は 4cm 程度。在来のミナミメダカに似るが、雄の臀鰭は交尾器として変形しており、雌の臀鰭も小さい。

<特記事項> ミナミメダカとの競合が懸念されている。



撮影：向井貴彦

ブルーギル

サンフィッシュ科

侵入ランク A

Lepomis macrochirus macrochirus

特定外来生物(外来生物法)

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 市内のため池に広く分布しており、河川では幼魚が各所で確認されている。

＜種の概要＞ 全長 20cm 程度。体高が高く、背鰭前半の棘が発達する。釣りを目的として全国に放流された。

＜特記事項＞ 湖沼、ため池などの止水域を好み、著しく増加することで在来生態系に大きな影響を与えることが知られている。



撮影：向井貴彦

オオクチバス

サンフィッシュ科

侵入ランク A

Micropterus salmoides

特定外来生物(外来生物法)

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 市内のため池に分布し、長良川のワンドや支流河川の排水機場周辺にも多い。

＜種の概要＞ 全長 40cm 程度。口が大きく、背鰭が第一背鰭と第二背鰭に分かれている。体側に不定型な黒色斑が並ぶ。釣りを目的として全国に放流されている。

＜特記事項＞ 湖沼、ため池などの止水域を好み、小型魚類、甲殻類、水生昆虫などを捕食し、在来生態系に大きな影響を与えている。



撮影：向井貴彦

カムルチー

タイワンドジョウ科

侵入ランク A

Channa argus

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 朝鮮半島(国外外来種)

＜市内分布＞ 流れの緩やかな河川に分布する。

＜種の概要＞ 全長 80cm 程度。頭部に黒色の縦条が入り、体側には丸い黒色斑が連なる。空気呼吸を行い、流れの緩やかな河川や池沼に生息する。1920 年代に食用のため日本に持ち込まれたのが最初とされており、現在は北海道～九州まで定着している。



撮影：岐阜市自然環境課

ハス

コイ科

侵入ランク B

Opsariichthys uncirostris uncirostris

＜原産地等＞ 琵琶湖水系(国内外来種)

＜市内分布＞ 長良川本流で採集例がある。

＜種の概要＞ 全長 30cm 程度。琵琶湖原産の魚食性コイ科魚類で、岐阜県には琵琶湖産アユの放流に混じって侵入したと考えられる。長良川本流に定着しているが、現在はそれほど個体数は多くない。

＜特記事項＞ 全国の河川やダム湖に侵入定着しており、魚食性であることから在来生態系への影響が危惧されている。



撮影：岐阜市自然環境課

ツチフキ

コイ科

侵入ランク B

Abbottina rivularis

＜原産地等＞ 濃尾平野以西(国内外来種)

＜市内分布＞ 伊自良川水系の一部でのみ確認されている。

＜種の概要＞ 全長 8cm 程度。類似種のカマツカやゼゼラよりも頭部や背鰭が大きく、ずんぐりした体形をしている。流れの緩やかな泥底を好み、川底の小動物などを食べる。雄親が川底に巣をつくり、卵を保護する。

＜特記事項＞ 自然分布は濃尾平野以西と考えられてきたが、遺伝的解析の結果、濃尾平野のツチフキは外来個体群の可能性が高い。



撮影：向井貴彦

カラドジョウ

ドジョウ科

侵入ランクB

Misgurnus dabryanus

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 中国大陸、朝鮮半島(国外外来種)

＜市内分布＞ 新荒田川・境川流域と板屋川で確認されている。

＜種の概要＞ 全長 10cm 程度。ドジョウに類似するが、口ひげが長く、尾柄高が高い。日本国内では古くから記録があるが、特に近年著しく分布が広がっている。

＜特記事項＞ 愛知県では条例で野外への放流が禁止されている。



撮影：向井貴彦

シマヒレヨシノボリ

ハゼ科

侵入ランクB

Rhinogobius sp. BF

＜原産地等＞ 瀬戸内海周辺(国内外来種)

＜市内分布＞ 岐阜市東部のため池にのみ分布する。

＜種の概要＞ 全長 4cm 程度。腹鰭は吸盤状。尾鰭中央部に赤色の縞模様があり、雄の尾鰭下部には赤色斑が現れる。第一背鰭は伸長しない。主に止水域に生息する。東海地方へは、コイやヘラブナの放流に混入したと考えられる。

＜特記事項＞ 在来種のトウカイヨシノボリと交雑し、遺伝的攪乱を生じさせる。



撮影：向井貴彦

レッドテールキャットフィッシュ

ピメロドウス科

侵入ランクC

Phractocephalus hemiliopterus

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 長良川で記録がある。

＜種の概要＞ 全長 1m 程度にまで成長する。南米原産の観賞魚として流通しており、口髭は 3 対。背面は黒く、生きている時は尾鰭が赤い。

＜特記事項＞ 2008 年 9 月に捕獲された標本が長良川漁協に展示されている。幼魚が安価で売られているが、大型化するために持て余して捨てられやすい。



撮影：向井貴彦

マダラロリカリア

ロリカリア科

侵入ランクC

Pterygoplichthys disjunctivus

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 長良川で記録がある。

＜種の概要＞ 全長 40cm 程度にまで成長する。南米原産の観賞魚として流通しており、体側部が大型の固い鱗で覆われ、吸盤状の口が下面に開き、口角部に左右 1 対のヒゲがある。

＜特記事項＞ 2008 年 9 月に捕獲された標本が長良川漁協に展示されている。幼魚が非常に安価で売られているが、大型化するために持て余して捨てられやすい。



撮影：向井貴彦

グッピー

カダヤシ科

侵入ランクC

Poecilia reticulata

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 南アメリカ、西インド諸島(国外外来種)

＜市内分布＞ 戸石川で記録がある。

＜種の概要＞ 雄は全長 3cm 程度。雌は 4cm 程度。カダヤシに似るが、雄は鮮やかな色彩があり、雌はカダヤシよりも背鰭が前方に(臀鰭の直上に)あることで区別できる。

＜特記事項＞ 2005 年に戸石川で採集された。安価な観賞魚であり、家庭の水槽でも繁殖させやすいため、持て余したものが野外に捨てられやすい。



撮影：古田健也

II-2-7 昆虫類

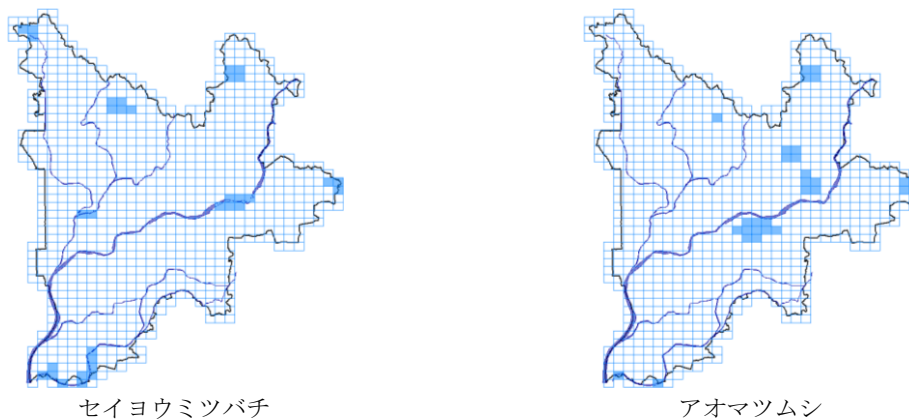
昆虫類のブルーリスト種は、岐阜市内で生息記録のある3,358種の1.2%にあたる40種が該当する。

カテゴリー別にみると、侵入ランクAに該当する種はアオマツムシ、アメリカシロヒトリ、シロテンハナムグリ、アルファルファタコゾウムシ、イネミズゾウムシ、セイヨウミツバチの6種で、侵入ランクBにはホソオチョウ、ガイマイゴミムシダマシ、ブタクサハムシなど15種、侵入ランクCにはアワダチソウグンバイ、ヨコヅナサシガメ、コルリアトキリゴミムシ、クリイロデオキシイなど19種が挙げられている(表II-2-7参照)。

侵入ランクAの種について、確認場所の詳細な記録があるデータを基に、3次メッシュの1/2地域メッシュに整理すると、市内で最も広く分布する種はセイヨウミツバチで、市域(907メッシュ)の3.6%を占める33メッシュで生息記録がある。次いでアオマツムシの28メッシュとなっている。これら2種の分布状況は図II-2-7に示すとおりである。

表II-2-7 ブルーリスト掲載種一覧 (昆虫類)

カテゴリー区分	昆虫類	種数
侵入ランクA	アオマツムシ、アメリカシロヒトリ、シロテンハナムグリ、アルファルファタコゾウムシ、イネミズゾウムシ、セイヨウミツバチ	6
侵入ランクB	ホソオチョウ、シバツトガ、カドマルカツオムシ、アカアシホシカメムシ、シロオビカッコウムシ、コクヌスト、ベダリアテントウ、ガイマイゴミムシダマシ、ヒメゴミムシダマシ、コクヌストモドキ、ツシمامナクボカミキリ、ブタクサハムシ、ワタミヒゲナガゾウムシ、オオタコゾウムシ、アメリカジガバチ	15
侵入ランクC	ヨコヅナサシガメ、アワダチソウグンバイ、ヒロヘリアオイラガ、タケノホソクロバ、ノシメマダラメイガ、オオタバコガ、アメリカミズアブ、コルリアトキリゴミムシ、ヒメマダラカツオムシ、ミスジキイロテントウ、ウスバキスイ、サビカクムネチビヒラタムシ、トビイロデオネスイ、クリイロデオキシイ、カドコブホソヒラタムシ、フタトゲホソヒラタムシ、ヒメコクヌストモドキ、コメノゴミムシダマシ、ヤサイゾウムシ	19
合 計		40



図II-2-7 主要な種(昆虫類)の分布状況

アオマツムシ

マツムシ科

侵入ランク A

Trujalia hibinonis

＜原産地等＞ 中国大陸(国外外来種)

＜市内分布＞ 詳細な記録は少ないが、市内に広く分布している。

＜種の概要＞ 体長 20～25mm のコオロギの仲間。メスは体全体が緑色であるが、オスは背中を中心部分が褐色。幼虫、成虫とも樹上で生活をし、8月下旬頃から、夜になると「リーリーリー」という甲高い声で鳴く。国内には、明治 31 年(1898 年)に中国大陸から入ってきたとされている。

＜特記事項＞ 岐阜県では 1980 年代から街路樹や庭木など身近なところにある樹木で見られるようになった。



撮影：野平照雄

アメリカシロヒトリ

ヒトリガ科

侵入ランク A

Hyphantria cunea

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 詳細な記録は少ないが、市内に広く分布している。

＜種の概要＞ 翅を広げた大きさが約 30mm の蛾。前翅は白色で、多数の小黒斑が点在している。後翅は白色。体は赤味を帯びている。5～10 月頃までに 2～3 回発生する。幼虫は 3 齢までは白い巣網の中で集団生活をしている。幼虫はサクラ、ヤナギ、コナラ、リンゴ、カキなど 100 種類以上の樹木の葉を食べる。

＜特記事項＞ 国内では 1945 年に初めて東京で発見された。



幼虫

撮影：野平照雄(市外撮影)

シロテンハナムグリ

コガネムシ科

侵入ランク A

Protaetia orientalis submarmorea

＜原産地等＞ 不詳(国外外来種)

＜市内分布＞ 山県北野、古津、鷲山、旦島、金華山、福富天神前、忠節で記録がある。

＜種の概要＞ 体長 16～25 mm のコガネムシの仲間。暗緑色～銅色に輝く体に、小さな白点を散りばめた模様がある。幼虫は森林の朽木や腐葉土を食べて生活している。成虫は 5～9 月に発生し、日中活発に飛び回り、樹液や果樹、花に集まる。成虫で 2 年以上生きるものがある。



撮影：野平照雄(市外撮影)

アルファルファタコゾウムシ

ゾウムシ科

侵入ランク A

Hypera postica

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)

＜市内分布＞ 出屋敷、友利、石田、三田洞、佐野、太郎丸、柳津町佐波で記録がある。

＜種の概要＞ 体長約 4～6mm のゾウムシの仲間。体は淡褐色で、頭部、胸部、腹部背面の中央部は黒褐色、全身が毛状の鱗片に覆われる。成虫で越冬し、早春産卵。幼虫はレンゲなどのマメ科植物を食害して 5 月初旬頃から羽化する。新成虫は、6 月頃から樹皮下や建物の隙間などで集団になって夏眠する。

＜特記事項＞ 国内では 1982 年に初めて発見された。



撮影：野平照雄

イネミズゾウムシ

イネゾウムシ科

侵入ランク A

Lissorhoptrus oryzophilus

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 秋沢、則松、三輪、山県北野、達目洞、金華山で記録がある。

＜種の概要＞ 体長 3mm 前後のゾウムシの仲間。体は灰白色の鱗片で覆われ、胸部、腹部の背面には黒色の斑紋がある。幼虫、成虫ともイネ科植物を食害するため、稲の害虫として知られている。成虫は 4 月中旬から活動を始め、6 月下旬には姿を消す。このため、5 月下旬までに田植えを終える早期、早植え水稻に被害が大きい。

＜特記事項＞ 国内では 1976 年に初めて愛知県で発見された。



撮影：野平照雄(市外産)

セイヨウミツバチ

ミツバチ科

侵入ランク A

Apis mellifera

＜原産地等＞ ヨーロッパ、北アメリカなど(国外外来種)

＜市内分布＞ 詳細な記録は少ないが、市内に広く分布している。

＜種の概要＞ 体長 13 mm 前後のミツバチ。茶褐色で、腹部に縞模様がある。日本ミツバチに似ているが、腹部上部がオレンジ色であることで見分けることができる。花粉を集めるために、後脚は平たく周囲に毛が生えている。活動期は 3～11 月。

＜特記事項＞ 国内には、養蜂に利用するため北米から移入された。



撮影：野平照雄

ホソオチョウ

アゲハチョウ科

侵入ランク B

Sericinus montela

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 中国、朝鮮半島、ロシア南東部(国外外来種)

＜市内分布＞ 鏡島、柳津町佐波、青柳町、下川手、忠節橋付近で記録がある。

＜種の概要＞ 後翅後端に細長い尾状突起を持つ。前翅長は 3cm 前後。羽色はオスは白色と黒色、メスは黄色と黒色のまだら模様。国内には 1970 年後半頃から東京近郊で発生が確認され、韓国から持ち込まれた可能性が高いとされている。日本での食草はウマノズクサ。成虫は 5～9 月に 2～3 回発生。河川敷などの日当たりのよい草地に生息する。蛹で越冬。



撮影：中島和典

シバツトガ

ツトガ科

侵入ランク B

Parapediasia teterralla

＜原産地等＞ アメリカ中東部(国外外来種)

＜市内分布＞ 山県北野で記録がある。

＜種の概要＞ 体長 10 mm 前後、翅が灰褐色の小さな蛾。翅は体を巻き込むように覆っているため細長い姿となっている。芝の害虫として有名である。成虫は年に 3～4 回発生し、日中は芝草内に潜み、夜間に芝生上を飛び回る。成虫の寿命は約 1 週間。

＜特記事項＞ 国内には、1964 年にゴルフ場の芝生について入ってきたと言われている。

カドマルカツオブシムシ

カツオブシムシ科

侵入ランク B

Dermestes haemorrhoidalis

＜原産地等＞ 不詳(国外外来種)

＜市内分布＞ 山県北野、長良川河川敷で記録がある。

＜種の概要＞ 体長 9 mm 前後の小さな甲虫。体は長卵形で黒褐色。背面は黒褐色毛、腹面は黄褐色毛に覆われる。翅の末端部の会合部は角張って針状である。頭部中央部にある単眼はない。乾燥した動植物を食べているが、乾燥した肥料やペットフードから発生することもある。

アカアシホシカムシ

カッコウムシ科

侵入ランク B

Necrobia rufipes

＜原産地等＞ 不詳(国外外来種)

＜市内分布＞ 早田で記録がある。

＜種の概要＞ 体長 6 mm 前後の小さな甲虫。体は黒色で、背面は光沢の強い青藍色で黒色の毛がある。触覚基部、口、脚は赤褐色～黄褐色。触覚の先端 3 節は膨らむ。幼虫は肉類の燻製品、魚粉、ペットフードなどの乾燥動物を食べる。全世界共通種。

シロオビカッコウムシ

カッコウムシ科

侵入ランク B

Tarsostenus univittatus

＜原産地等＞ 不詳(国外外来種)

＜市内分布＞ 本荘で記録がある。

＜種の概要＞ 体長 5 mm 前後の小さな甲虫。体は黒～黒褐色の細長い円筒状。翅の中央部後方には白色の横帯がある。幼虫はキクイムシなどの穿孔虫を捕食している。世界各地に分布。

コクヌスト

コクヌスト科

侵入ランク B

Tenebroides mauritanicus

＜原産地等＞ 不詳(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、本荘で記録がある。

＜種の概要＞ 体長 6～10 mm の甲虫。体は栗色で触角、脚、腹部は赤褐色。頭部中央部には点状のくぼみがある。翅には 7 条の点刻溝、その間には 2 列の点刻列と横皺がある。米穀の害虫として有名。世界各地に分布。

ベダリアテントウ

テントウムシ科

侵入ランクB

Rodolia cardinalis

＜原産地等＞ オーストラリア(国外外来種)

＜市内分布＞ 金華山、百々ヶ峰で記録がある。目撃情報はその他の地域でも多数ある。

＜種の概要＞ 4mm弱の小さなテントウムシ。翅は黄白色の微毛でおおわれた橙赤色で、会合部は黒く中央部で広がる。このほか2対の黒紋があり、外縁に達することがある。腹部は橙赤色。幼虫はイセリアカイガラムシ、ワタフキカイガラムシなどを捕食する。

＜特記事項＞ ミカンの大害虫であるイセリアカイガラムシ防除用にオーストラリアから世界各国に移入され、全世界に分布している。



撮影：野平照雄(市外産)

ガイマイゴミムシダマシ

ゴミムシダマシ科

侵入ランクB

Alphitobius diaperinus

＜原産地等＞ 不詳(国外外来種)

＜市内分布＞ 山県北野、達目洞で記録がある。

＜種の概要＞ 体長5mm前後の小さな甲虫。体は光沢のある黒色～黒褐色。触角、口、脚は赤褐色。翅には縦の点刻列がある。年に3～4回発生し、成虫で越冬する。幼虫は飼料、穀粉、小麦粉、鶏糞などを食べる。世界各地に分布。

ヒメゴミムシダマシ

ゴミムシダマシ科

侵入ランクB

Alphitobius laevigatus

＜原産地等＞ 不詳(国外外来種)

＜市内分布＞ 長森、三田洞で記録がある。

＜種の概要＞ 体長5mm前後の小さな甲虫。体は黒褐色で触角、口、脚は赤褐色。ガイマイゴミムシダマシによく似ているが、体の光沢が弱いのが識別点。貯穀の害虫であるがガイマイゴミムシダマシほど多くはない。世界各地に分布。

コクヌストモドキ

ゴミムシダマシ科

侵入ランクB

Tribolium castaneum

＜原産地等＞ 不詳(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部で記録がある。

＜種の概要＞ 体長3～4mmの小さな甲虫。体は赤褐色で細長く、光沢は弱い。頭部は小さく、両側が眼の前方で広がり、眼の前半部を上下に分ける。触角は先端3節が強く広がる。前胸は上翅と同幅で、前方へ丸みを帯びて狭まる。貯穀の害虫。世界各地に分布。

ツシマムナクボカミキリ

カミキリムシ科

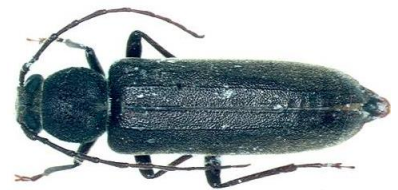
侵入ランクB

Cephalallus unicolor

＜原産地等＞ 不詳(国外外来種)

＜市内分布＞ 山県北野、百々ヶ峰で記録がある。

＜種の概要＞ 体長16～28mmの中型のカミキリムシ。体は褐色で黄褐色の微毛で覆われる。背面はざらざらした感じで、前胸背中央には広い陥没部がある。成虫は夜間に活動し、マツ類の伐倒木に集まる。幼虫はマツの材内を加害して育つ。朝鮮半島、中国、インドシナに分布。



撮影：野平照雄(市外産)

ブタクサハムシ

ハムシ科

侵入ランクB

Ophraella communa

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 日野、彦坂、金華山で記録がある。

＜種の概要＞ 体長が4mm前後のハムシ。体は淡黄褐色～黄褐色で、微細な毛に覆われる。上翅には黒色の縦縞模様がある。脚は黄褐色、触角は黒色。幼虫はブタクサ、オオブタクサなどキク科植物を食べる。

＜特記事項＞ 国内では1996年に確認され、以降急速に分布を広げている。



撮影：中島和典

ワタミヒゲナガゾウムシ

ヒゲナガゾウムシ科

侵入ランクB

Araecerus coffeae

＜原産地等＞ 不詳(国外外来種)

＜市内分布＞ 秋沢、曽我野で記録がある。

＜種の概要＞ 体長 3 mm前後の小さなヒゲナガゾウムシ。体は灰褐色から黒褐色で微毛をまだら状に密生する。後脛節には黒い環状紋がある。幼虫は乾燥したニンニク、トウモロコシ、芋などを食害。世界各地に分布。



撮影：野平照雄

オオタコゾウムシ

ゾウムシ科

侵入ランクB

Donus punctatus

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)

＜市内分布＞ 三田洞、出屋敷で記録がある。

＜種の概要＞ 体長 8 mmの中型のゾウムシ。体は分厚く丸みを帯び茶褐色で白い筋状の紋がある。吻は前胸より短い。成虫は春季と秋季に発生。幼虫はシロツメクサ、レンゲ、カラスノエンドウなどを食べる。ヨーロッパ、北アメリカに分布。

＜特記事項＞ 国内では 1978 年に横浜市で発見された。



撮影：野平照雄(市外産)

アメリカジガバチ

アナバチ科

侵入ランクB

Sceliphron caementarium

＜原産地等＞ アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 三田洞で記録がある。

＜種の概要＞ 体長が 20～25 mmのジガバチ。体は黒色で橙赤色の斑紋がある。斑紋出現に変化が多く、前胸背板に 1 対、幅胸楯板に 1 対出ることもある。北アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリアに分布。

＜特記事項＞ 国内には 1945 年に侵入してきた。



撮影：中島和典

ヨコヅナサシガメ

サシガメ科

侵入ランクC

Agriosphodrus dohrni

＜原産地等＞ 中国、インドシナ半島(国外外来種)

＜市内分布＞ 日置江、山県北野、旦島、柳津町下佐波で記録がある。

＜種の概要＞ 体長 16～24mmの中型のカメムシ。体は光沢のある黒色で、頭部が細長く、腹部には白い横線がある。翅は外側に張り出して反り返っている。サクラなどの幹に集団で生息し、幼虫、成虫とも毛虫など他の昆虫を捕え、細長い口吻を突き刺して体液を吸う。中国、東南アジア、インドに分布。

＜特記事項＞ 国内には昭和初期に侵入したと言われている。



撮影：野平照雄(市外撮影)

アワダチソウゲンバイ

ゲンバウムシ科

侵入ランクC

Corythucha marmorata

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 旦島、長良古津、彦坂、日野、大洞、三田洞、柳津町佐波で記録がある。

＜種の概要＞ 体長 3 mm前後のゲンバウムシ。翅は半透明で、泡が立っているような模様で、前翅の前の縁が角張っている。アワダチソウの他、サツマイモ、ナス、キクなどの害虫としても知られている。



撮影：野平照雄(市外産)

ヒロヘリアオイラガ

イラガ科

侵入ランクC

Parasa lepida lepida

＜原産地等＞ 南アジア、東南アジア～中国(国外外来種)

＜市内分布＞ 木造町、福富天神前で記録がある。

＜種の概要＞ 翅を広げた大きさが30～40mmのイラガの仲間。触角はオスが櫛歯状、メスが糸状である。前翅の基部および外縁部と後翅は黒褐色で前翅中央部は緑色。幼虫は緑色で全身に毒の棘がある。サクラ、カシ、ケヤキなどいろいろな樹木の葉を食害する。東南アジア、中国に分布。

＜特記事項＞ 国内には1920年頃侵入したと言われている。



幼虫

撮影：野平照雄(市外撮影)

タケノホソクロバ

マダラガ科

侵入ランクC

Artona martini

＜原産地等＞ 中国、朝鮮半島(国外外来種)

＜市内分布＞ 金華山周辺で記録がある。

＜種の概要＞ 翅を広げた大きさが20mm前後の小さな蛾。体は全身黒色。触角はオスが櫛状で、メスがやや太めの糸状。翅には黒い脈状の模様がある。幼虫はイネ科のササやタケの葉を食害する。幼虫の体毛には毒があり、触れると激しい痛みや発疹が出ることがある。中国、朝鮮半島に分布。

ノシママダラメイガ

メイガ科

侵入ランクC

Plodia interpunctella

＜原産地等＞ 不詳(国外外来種)

＜市内分布＞ 確実な記録はない。

＜種の概要＞ 翅を広げると14mm前後の小さな蛾。頭は紫赤色、腹部は灰白色で前翅の基部半分は淡黄色で残りは赤褐色である。幼虫は米、穀物、豆類、乾燥した果実、小麦粉、乾麺、ココア、鳥の餌などあらゆる乾燥食品に害を与える。世界各地に分布。

オオタバコガ

ヤガ科

侵入ランクC

Helicoverpa armigera armigera

＜原産地等＞ 東南アジア(国外外来種)

＜市内分布＞ ばんが池、椿洞で記録がある。

＜種の概要＞ 翅を広げた大きさが30mm前後の蛾。体は太く、触角は雌雄ともに糸状。前翅黄色地に黒褐色の波状の線がある。後翅も黄色で、先端部は幅広く、黒褐色である。幼虫はナス、キュウリ、キャベツなどの野菜やバラ、カーネーションなど花卉類を食べる重要害虫である。朝鮮、中国、台湾、ミクロネシア、オーストラリア、アフリカに分布。

アメリカミズアブ

ミズアブ科

侵入ランクC

Hermetia illucens

＜原産地等＞ 北・中部アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 彦坂、旦島で記録がある。

＜種の概要＞ 体長15～18mmのアブ。体は黒色で細長い。腹部には白色または褐色の斑紋がある。触角は短くリボン状で第3節は扁平で大きい。5～9月に発生。幼虫は草や果実、動物の死体、糞などを食べて育つ。

＜特記事項＞ 国内には1950年頃侵入してきた。



撮影：野平照雄(市外産)

コルリアトキリゴミムシ

オサムシ科

侵入ランクC

Lebia viridis

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 長良古津、彦坂、山県北野で記録がある。

＜種の概要＞ 体長3.5～5mmの小さな甲虫。体は青緑色で光沢があるので大変綺麗なゴミムシである。近年北米から人為的に移入され、急速に分布を広げている。草むらの地表に活動し、昆虫などを食べて生活している。

＜特記事項＞ 国内では1989年に発見された。



撮影：野平照雄(市外産)

ヒメダラカツオブシムシ

カツオブシムシ科

侵入ランクC

Trogoderma inclusum

- ＜原産地等＞ 不詳(国外外来種)
＜市内分布＞ 鎌倉、新加納で記録がある。
＜種の概要＞ 体長 2.5~4.0 mmの小さなカツオブシムシ。体は黒褐色で翅に暗赤色斑紋がある。オスよりメスの方が大きく、体色はやや明るい。貯穀物害虫であるが、乾燥した動物質のものも食べる。世界各地に分布。

ミスジキイロテントウ

テントウムシ科

侵入ランクC

Brumoides ohtai

- ＜原産地等＞ 台湾、タイ(国外外来種)
＜市内分布＞ 日野長良川左岸堤防で記録がある。
＜種の概要＞ 体長が 3 mm前後の小さなテントウムシ。頭部は黒色、前胸背が橙色で翅は黄色で黒の縦模様のある綺麗なテントウムシである。幼虫は芝生を食害する。



撮影：中島和典

ウスバキスイ

キシムシ科

侵入ランクC

Cryptophagus cellaris

- ＜原産地等＞ 不詳(国外外来種)
＜市内分布＞ 長良古津で記録がある。
＜種の概要＞ 体長が 2.0~2.7 mmの小さな甲虫。前胸背板の吸盤状部は縦斜位で、後端はわずかに突出し、側縁は緩やかな弧状となっている。翅の点刻はかなり強く密である。

サビカクムネチビヒラタムシ

ヒラタムシ科

侵入ランクC

Cryptolestes ferrugineus

- ＜原産地等＞ 不詳(国外外来種)
＜市内分布＞ 達目洞で記録がある。
＜種の概要＞ 体長が 1.7~2.3 mmの小さな甲虫。体は光沢ある赤褐色。触角は太くて短く、先端 3 節は数珠状。頭楯縫合線は不明瞭。前胸背は幅より長く、後方に狭まる。樹皮下や枯木で生息している。世界各地に分布。

トビイロデオネスイ

ネスイムシ科

侵入ランクC

Monotoma picipes

- ＜原産地等＞ 不詳(国外外来種)
＜市内分布＞ 鎌倉で記録がある。
＜種の概要＞ 体長が 2.5 mmの小さな甲虫。体は暗赤褐色で、触角、脚は赤褐色。頭は目の後で鋭く歯状に突出し、胸背の中央後半には 1 対の縦溝がある。翅は点刻列の間室に 1 列の短毛がある。世界各地に分布。

クリイロデオキシイ

ケシキシイ科

侵入ランクC

Carpophilus marginellus

- ＜原産地等＞ 不詳(国外外来種)
＜市内分布＞ 日野、柳津町佐波で記録がある。
＜種の概要＞ 体長が 3 mmの小さな甲虫。体は光沢のある褐色で、背面には黄色の毛が密生している。中胸板は正中部に縦隆線がある。貯穀を食べて生活している。世界各地に分布。

カドコブホソヒラタムシ

ホソヒラタムシ科

侵入ランクC

Ahasverus advena

- ＜原産地等＞ 不詳(国外外来種)
＜市内分布＞ 確実な記録はない。
＜種の概要＞ 体長が 1.8~2.5 mmの小さな甲虫。体は黄褐色~茶褐色で、触角は先端 3 節が大きく広がる。前胸背は横に長く、前縁角にコブ状の突起がある。成虫、幼虫ともアオカビ、コウジカビなどを食べているので、カビの生えている穀物などで発生する。世界各地に分布。

フタトゲホソヒラタムシ

ホソヒラタムシ科

侵入ランクC

Silvanus bidentatus

＜原産地等＞ 不詳(国外外来種)

＜市内分布＞ 雛倉、古津、金華山で記録がある。

＜種の概要＞ 体長が2.5～3.5 mmの小さな甲虫。体は光沢のない赤褐色で、平たくて細長い。野外では枯木や樹皮下で生息しているが、室内でも貯穀貯蔵所などにいる。カビを食べているらしい。世界各地に分布。



撮影：野平照雄(市外産)

ヒメコクヌストモドキ

ゴミムシダマシ科

侵入ランクC

Palorus ratzeburgii

＜原産地等＞ 不詳(国外外来種)

＜市内分布＞ 金華山で記録がある。

＜種の概要＞ 体長が2～2.5 mmの小さな甲虫。体は赤褐色で触角脚は淡褐色。頭には小点刻があり、目が両側に突き出ている。前胸背、背中には点刻列がある。穀物を食べて生活している。世界各地に分布。

コメノゴミムシダマシ

ゴミムシダマシ科

侵入ランクC

Tenebrio obscurus

＜原産地等＞ 不詳(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部で記録がある。

＜種の概要＞ 体長が14～18 mmの大型のゴミムシダマシ。体は黒褐色で、腹部は赤みを帯び、触角、脚、口は赤褐色。翅には小点刻と浅い溝があり、皺状の細い顆粒を密布する。貯穀、特に穀粉類の大害虫である。世界各地に分布。

ヤサイゾウムシ

ゾウムシ科

侵入ランクC

Listroderes costirostris

＜原産地等＞ ブラジル(国外外来種)

＜市内分布＞ 三田洞で記録がある。

＜種の概要＞ 体長が10 mm前後のゾウムシ。体は赤褐色で背面は鱗片と暗色の毛で覆われている。中胸、後胸および腹部腹面は淡黄色。吻には3隆線がある。日本ではメスだけで繁殖し、オスはいない。白菜、ほうれん草などの葉を食べる害虫。世界各地に分布。



撮影：野平照雄(市外産)

II-2-8 貝類

貝類のブルーリスト種は、岐阜市内で生息記録のある 101 種の 17.8%にあたる 18 種が該当する。

カテゴリー別にみると、侵入ランク A に該当する種はスクミリンゴガイ、ウスイロオカチグサ、サカマキガイ、ハブタエモノアラガイ、トクサオカチョウジガイ、ヒメコハクガイ、コハクガイ、チャコウラナメクジ、オナジマイマイ、タイワンシジミの 10 種で、侵入ランク B にはコモチカワツボ、ミジンマイマイ、ノハラノイシノシタ、ノハラナメクジ、コハクオナジマイマイの 5 種、侵入ランク C にはタテヒダカワニナ、イボカワニナ、カゴメカワニナの 3 種が挙げられている(表 II-2-8 参照)。

侵入ランク A の種について、確認場所の詳細な記録があるデータを基に、3 次メッシュの 1/2 地域メッシュに整理すると、市内で最も広く分布する種はサカマキガイで、市域(907 メッシュ)の 31.8% を占める 288 メッシュで生息記録がある。次いでタイワンシジミの 168 メッシュ、スクミリンゴガイの 101 メッシュとなっている。これら 3 種の分布状況は図 II-2-8 に示すとおりである。

表 II-2-8 ブルーリスト掲載種一覧 (貝類)

カテゴリー区分	貝類	種数
侵入ランク A	スクミリンゴガイ、ウスイロオカチグサ、サカマキガイ、ハブタエモノアラガイ、トクサオカチョウジガイ、ヒメコハクガイ、コハクガイ、チャコウラナメクジ、オナジマイマイ、タイワンシジミ	10
侵入ランク B	コモチカワツボ、ミジンマイマイ、ノハラノイシノシタ、ノハラナメクジ、コハクオナジマイマイ	5
侵入ランク C	タテヒダカワニナ、イボカワニナ、カゴメカワニナ	3
合 計		18

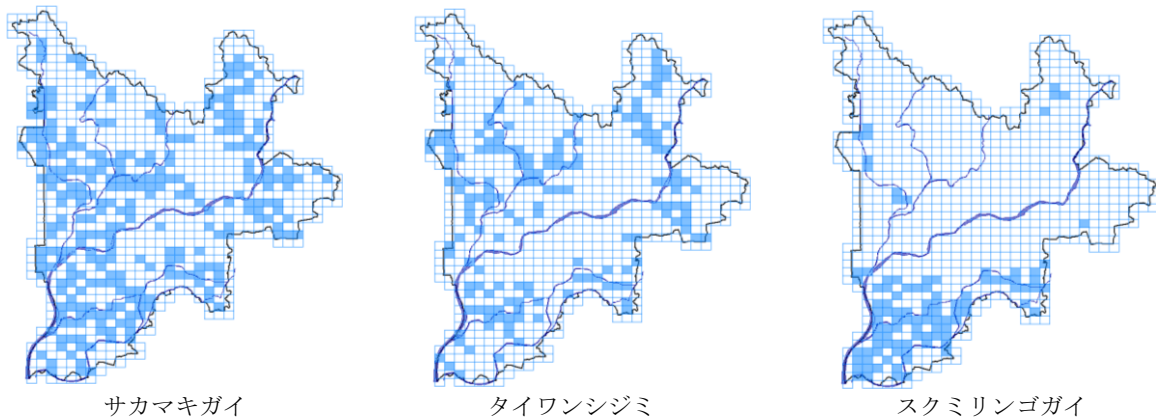


図 II-2-8 主要な種(貝類)の分布状況

スクミリンゴガイ

リンゴガイ科

侵入ランク A

Pomacea canaliculata

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 南アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納西、華陽、岩、鏡島、厚見などで記録があり、南部全域のやや水質の悪い水田・水路に多産する。北部地域にも分布を拡大しつつある。

＜種の概要＞ 殻径 30～40mm 程度の球形で、温暖地では 60～70mm に成長する。殻は黄褐色から黒褐色の地に濃色のラインを多数巡らす。初夏から秋にかけて水際から 50cm ほどの高さのコンクリート壁などに赤桃色の卵塊を産み付ける。通称ジャンボタニシ。

＜特記事項＞ 国内へは 1981 年に台湾を経由し食用として導入されたものが野生化した。稲への食害が著しく、深刻な問題を引き起こしている。



撮影：鳥居亮一(市外撮影)

ウスイロオカチグサ

カワザンショウガイ科

侵入ランク A

Paludinassiminea debilis

＜原産地等＞ 奄美諸島・沖永良部島・沖縄(国内外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納西・東、華陽、芥見、芥見南、岩、鏡島、厚見、合渡、黒野、鷺山、三里、市橋、城西、常磐、西郷、早田、則武、長森西・北、長良西・東、島、日置江、梅林、白山、本郷、本荘、木田、柳津、鶉などで記録があり、市内中部から南部に生息する。北部地域には分布を拡大していない。

＜種の概要＞ 殻はやや高い塔形。殻高 5.8mm、殻径 4mm、7 層。淡い赤橙色。体層の周縁にはわずかに鋭い角状が現れる。殻口は洋梨形。軸唇は肥厚し、ごくわずかに臍孔上にひろがる。臍域の周囲に角がない。蓋はうすく膜状。巻き数は 2 と 1/2 で、核は偏在する。



撮影：川瀬基弘

サカマキガイ

サカマキガイ科

侵入ランク A

Physa acuta

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)

＜市内分布＞ 加納西、三里、市橋、七郷、城西、常磐、西郷、早田、則武、長良、白山、方県、木田、木之本、柳津、藍川、鶉など市内ほぼ全域で記録がある。

＜種の概要＞ 殻は左巻き、殻高 10～15mm 前後の紡錘形、透明感のある黄白色から鉛色。都市の下水路など汚水中でも生息することができ、大量に繁殖することがある。水田や溜池、水路、湿地などの人工的な有機物が多い浅い水路に多産する。

＜特記事項＞ 被害事例の報告はないが驚異的な繁殖力で、局所的な圧迫を受けている生物がいる可能性が指摘されている。



撮影：川瀬基弘(市外撮影)

ハブタエモノアラガイ

モノアラガイ科

侵入ランク A

Pseudosuccinea columella

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 芥見、芥見南、岩、鏡島、金華、合渡、黒野、三里、三輪南、三輪北、市橋、七郷、城西、常磐、西郷、長森東、長森南、長森北、島、日野、方県、本郷、網代、柳津、藍川、鶉の市内各地で記録がある。

＜種の概要＞ 殻は細高く、殻表面の成長脈は比較的明瞭で、顕微鏡で見ると成長脈上に長い三角形の殻皮毛を有する。殻表に浅い亀甲様の彫刻をもつ個体もいる。明らかな外来種であるが複数種が混在している可能性も否定できない。



撮影：市原俊

トクサオカチョウジガイ

オカチョウジガイ科

侵入ランク A

Paropeas achatinaceum

＜原産地等＞ 東南アジア(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納東、芥見、芥見南、岩、岩野田、岩野田北、京町、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、鷺山、三里、三輪南・北、市橋、七郷、城西、常磐、早田、則武、長森西・東・南・北、長良、長良西・東、徹明、島、日置江、日野、梅林、白山、方県、本郷、本荘、明德、網代、木田、木之本、柳津、藍川、鶉の市内各地で記録がある。

＜種の概要＞ オカチョウジガイに似るが、殻表の特徴は、殻皮が汚れたクリーム色を帯び、光沢がない。成長脈に沿った殻皮の欠落があり、成長脈が粗く見える。殻自体の透明感は低い。これらの特徴から在来種のオカチョウジガイと区別できる。



撮影：川瀬基弘

ブルーリスト

貝類

ヒメコハクガイ

Hawaiia minuscula

コハクガイ科

侵入ランク A

＜原産地等＞ 北アメリカ、オハイオ州(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納西・東、芥見、岩野田、岩野田北、京町、鏡島、金華、厚見、黒野、鷺山、三里、三輪南・北、市橋、城西、常磐、西郷、早田、則武、長森東・南、徹明、島、日置江、日野、梅林、白山、方県、本郷、本荘、明德、木田、木之本、柳津、鶉の市内各地で記録がある。

＜種の概要＞ 殻はうすく小さく、殻高 1.3mm、殻径 2.1mm、4 層。白く、やや透明。螺塔は低く、螺層はふくれ、緩やかに増大する。体層の周縁は円く、縫合はやや深い。殻口は円い。広い臍孔がある。軟体の背部は淡い青色で、足部は灰白色である。



撮影：市原俊

コハクガイ

Zonitoides (Zonitoides) arboreus

コハクガイ科

侵入ランク A

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納東、芥見東、岩野田、岩野田北、京町、鏡島、金華、厚見、黒野、鷺山、三里、三輪北、市橋、常磐、早田、則武、長森西・南、長良東、徹明、島、日野、梅林、白山、本郷、本荘、明德、柳津、藍川、鶉の市内各地で記録がある。

＜種の概要＞ 丘陵地から平野部の樹木の根元の腐葉土の堆積した所に生息する。また、温室や庭園内の植木鉢の下などにも生息する。殻高 2mm、殻径 5mm 程度、小形、黄茶褐色で光沢がある。臍孔が大きく、周縁は少し角張るが、成長とともに周縁に円みができる。

＜特記事項＞ 明治時代、東京上野で発見されて以来、全国各地の庭園や圃場に生息し、種苗を害することがある。



撮影：川瀬基弘

チャコウラナメクジ

Lehmanna valentiana

コウラナメクジ科

侵入ランク A

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納東、華陽、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、鷺山、三里、市橋、城西、常磐、西郷、早田、長森西・南・北、長良西・東、島、梅林、白山、本郷、本荘、網代、鶉の市内各地で記録がある。

＜種の概要＞ 体は中～大形で湿った天候の時は 7～8cm に達する。背中に殻(こうら)を有する。茶褐色～灰褐色のゼラチン質で透明感がある。外套膜の後方の中央の両側に 2 個の暗い側帯がある。足の下面は灰白色。体色は変化に富み、暗い帯は斑紋状となる。

＜特記事項＞ 農作物害虫であり、畑の作物を食害する。本種が這い回るだけでも作物表面に粘液が残るため作物が出荷できない状態になる場合があることも報告されている。



撮影：西尾和久(市外撮影)

オナジマイマイ

Bradybaena similaris

オナジマイマイ科

侵入ランク A

＜原産地等＞ 東南アジア(国外外来種)

＜市内分布＞ 芥見、金華、厚見、合渡、黒野、三輪北、七郷、城西、常磐、西郷、長森南、島、日置江、日野、方県、網代、木田、柳津、藍川などで記録がある。

＜種の概要＞ 殻はうすく半透明で広い円錐形。殻高 12mm、殻径 18mm 程度。江戸時代に東南アジアから来た外来種。現在では、ほぼ日本全国に分布している。都市環境に良く適応しており、畑の作物やスーパーの野菜などに附着していることが多い。

＜特記事項＞ 農作物害虫であり、畑の作物を食害する。本種が這い回るだけでも作物表面に粘液が残るため作物が出荷できない状態になる場合があることも報告されている。



撮影：川瀬基弘

タイワンシジミ

Corbicula fluminea

シジミ科

侵入ランク A

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 中国、朝鮮半島(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納西、芥見、岩野田、七郷、常磐、長森東、長良、長良西・東、島、日置江、日野、梅林、白山、方県、本郷、網代、木田、柳津、藍川など、ほぼ市内全域の河川や水路に分布を広げており各地点多産する。

＜種の概要＞ マンジミに非常によく似ているが、本種は殻表面の輪肋間がマンジミより広く規則的に配列する、小月面や楕面が色分けされたり、輪郭が明瞭である、幼貝時に茶褐色の細い放射状線がある、殻表面が鮮黄色から濁黄色・オリーブ色などの淡色系が多いなどの特徴をもつ。

＜特記事項＞ 日本各地に分布を広げ在来種との交雑が懸念されている。



撮影：市原俊

コモチカワツボ

ミズツボ科

侵入ランクB

Pomatopyrgus antipodarum

＜原産地等＞ ニューージーランド(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、市橋、日置江、柳津、鶉で記録がある。

＜種の概要＞ 殻高4.5mm、殻径2.5mm程度の塔形で、臍孔は隙間状。成熟個体の殻口上縁と体層は密着することなく段状になる。殻色は半透明の淡黄色～濁白色。近年、日本各地において頻りに報告され、非常に繁殖力の強い侵略的な種として生態系への影響が懸念されている。

＜特記事項＞ 遺伝子解析の結果から、市内に分布するコモチカワツボは三重県や滋賀県に分布する個体と遺伝的に同じ集団を起源とする個体が侵入した可能性が高い。



撮影：川瀬基弘

ミジンマイマイ

ミジンマイマイ科

侵入ランクB

Vallonia pulchellula

＜原産地等＞ 不詳

＜市内分布＞ 芥見、島、日置江、本郷で記録がある。

＜種の概要＞ 殻高約1mm、殻径約2mmの平巻き状。殻は白～淡橙色の半透明で細かい縦肋が密にある。殻口は肥厚し反転する。臍孔は広い。国内移入種の可能性が高いが、アジア、ヨーロッパに分布する近似種との分類学的検討が十分に行われていない。



撮影：川瀬基弘

ノハラノイシノシタ

イシノシタ科

侵入ランクB

Helicodiscus (Hebetodiscus) inermis

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納東、芥見、金華、厚見、鷲山、三輪南、則武、長森東・北、長良東、徹明、島、日野、白山、本郷、網代、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ 殻高1mm、殻径2.2mmくらいの微小種。ヒメコハクガイに似るが、ノハラノイシノシタの方が光沢が強く、臍孔が浅いことで区別できる。ヨーロッパ各国や日本への移入が報告されている。



撮影：市原俊

ノハラナメクジ

コウラナメクジ科

侵入ランクB

Deroceras reticulatum

＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)

＜市内分布＞ 鷲山、三輪北、常磐、長良西、網代で記録がある。

＜種の概要＞ 体長35～50mm。大きいものでは60mm程度まで成長する。体色は蒼白～灰褐色で、暗色の小斑点が現れる。小班はやや大きく明瞭。呼吸孔の縁は外套膜よりわずかに蒼白である。楯は短く裁断される。



撮影：岐阜市自然環境課

コハクオナジマイマイ

オナジマイマイ科

侵入ランクB

Bradybaena pellucida

＜原産地等＞ 西日本(国内外来種)

＜市内分布＞ 芥見、金華、三輪南、三輪北、長良、長良東、日置江、日野、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ 本種は、オナジマイマイに似るが、生貝では殻頂から殻層部にかけて軟体部背面が黄色をしているのが殻を通して見えることから容易に区別できる。またオナジマイマイよりも殻が若干薄い。

＜特記事項＞ 本種はもともと九州から四国、岡山県といった西日本に分布していた。しかし、国内外来種として東京都、埼玉県、茨城県、千葉県、神奈川県、兵庫県、静岡県にも分布を広げている。



撮影：川瀬基弘

タテヒダカワニナ

カワニナ科

侵入ランクC

Semisulcospira (Biwamelania) decipiens

＜原産地等＞ 琵琶湖水系(国内外来種)

＜市内分布＞ 茜部、加納東、芥見、岩、京町、金華、厚見、黒野、三輪南、市橋、常磐、方県、網代、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ 体層から全体的に細長く、縦肋が顕著で襞状になる。殻底肋は2～3本。殻高は30mm程度。琵琶湖水系の固有種(特産種)であり、岐阜市には自然分布していない。琵琶湖水系特産のイボカワニナやカゴメカワニナと極めて近縁である。

＜特記事項＞ ホタル養殖のためのエサ資源として人為的に琵琶湖水系から市内各地に大量投入された。それらが一部の地域で生き残っているか、あるいは繁殖している可能性もある。



撮影：市原俊

イボカワニナ

カワニナ科

侵入ランクC

Semisulcospira (Biwamelania) multigranosa

＜原産地等＞ 琵琶湖水系(国内外来種)

＜市内分布＞ 芥見、岩、京町、金華、三輪南、常磐、長森東・南、長良西、方県、網代で記録がある。

＜種の概要＞ タテヒダカワニナに似るが、顕著な縦肋上に顆粒がよく発達している。顆粒数は5～8個。殻底肋は2～3本。殻高は30～40mm程度。個体変異が著しい種である。琵琶湖水系の固有種(特産種)であり、岐阜市には自然分布していない。

＜特記事項＞ ホタル養殖のためのエサ資源として、人為的に琵琶湖水系から市内各地に大量投入された。それらが、一部の地域で生き残っているか或いは繁殖している可能性もある。



撮影：市原俊

カゴメカワニナ

カワニナ科

侵入ランクC

Semisulcospira (Biwamelania) reticulata

＜原産地等＞ 琵琶湖水系(国内外来種)

＜市内分布＞ 芥見、岩、京町、金華、三輪北、常磐、方県、網代、藍川で記録がある。

＜種の概要＞ イボカワニナに似るが、顆粒はそれに比べて弱い。殻底肋は2～3本。殻高は40mm程度。個体変異が著しくイボカワニナと区別できない場合がある。琵琶湖水系の固有種(特産種)であり、岐阜市には自然分布していない。

＜特記事項＞ ホタル養殖のためのエサ資源として人為的に琵琶湖水系から市内各地に大量投入された。それらが一部の地域で生き残っているか、あるいは繁殖している可能性もある。



撮影：市原俊

II-2-9 甲殻類（十脚類）

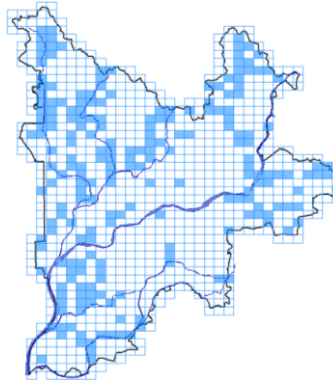
甲殻類（十脚類）のブルーリスト種は、岐阜市内で生息記録のある 8 種の 12.5%にあたる 1 種が該当する。

カテゴリー別にみると、侵入ランク A に該当する種はアメリカザリガニの 1 種で、侵入ランク B および侵入ランク C の該当種はない（表 II-2-9 参照）。

アメリカザリガニについて、確認場所の詳細な記録があるデータを基に、3 次メッシュの 1/2 地域メッシュに整理すると、市域（907 メッシュ）の 23.5%を占める 213 メッシュで生息記録がある。アメリカザリガニの分布状況は図 II-2-9 に示すとおりである。

表 II-2-9 ブルーリスト掲載種一覧（甲殻類（十脚類））

カテゴリー区分	甲殻類（十脚類）	種数
侵入ランク A	アメリカザリガニ	1
侵入ランク B	—	—
侵入ランク C	—	—
合 計		1



アメリカザリガニ

図 II-2-9 主要な種（甲殻類（十脚類））の分布状況

アメリカザリガニ

アメリカザリガニ科

侵入ランク A

Procambarus clarkii

要注意外来生物(環境省)

＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)

＜市内分布＞ 河川、水路、ため池に広く分布する。

＜種の概要＞ 体長 15cm 程度。大きなはさみと赤い体色で、日本産の他の淡水エビ類と見間違えることはない。若い個体は褐色ではさみも小さい。動物質・植物質ともに食べる。

＜特記事項＞ ウシガエルの養殖に用いる餌として、昭和初期に日本へと持ち込まれた。水草をはさみで切断したり、水生昆虫を捕食することで、水田およびため池に残る希少動植物に著しい影響を与える。



撮影：鈴木彰

II-3. 岐阜市版ブルーリスト掲載種一覧

【植物（維管束植物）】(1/4)

番号	和名	学名	岐阜市 カテゴリー	法指定等	
				外来生物法	環境省指定
1	アレチヌスビトハギ	<i>Desmodium paniculatum</i>	侵入ランクA		
2	シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>	侵入ランクA		
3	オッタチカタハミ	<i>Oxalis dillenii</i>	侵入ランクA		
4	オオニシキソウ	<i>Chamaesyce nutans</i>	侵入ランクA		
5	アレチハナガサ	<i>Verbena brasiliensis</i>	侵入ランクA		
6	アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>	侵入ランクA		要注意外来生物
7	コセンダングサ	<i>Bidens pilosa</i> var. <i>pilosa</i>	侵入ランクA		要注意外来生物
8	ヒメムカシヨモギ	<i>Conyza canadensis</i>	侵入ランクA		要注意外来生物
9	オオキンケイギク	<i>Coreopsis lanceolata</i>	侵入ランクA	特定外来生物	
10	ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i>	侵入ランクA		要注意外来生物
11	セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>	侵入ランクA		要注意外来生物
12	セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>	侵入ランクA		要注意外来生物
13	オオカナダモ	<i>Egeria densa</i>	侵入ランクA		要注意外来生物
14	コカナダモ	<i>Elodea nuttallii</i>	侵入ランクA		要注意外来生物
15	アレチギシギシ	<i>Rumex conglomeratus</i>	侵入ランクB		
16	ヨウシュヤマゴボウ	<i>Phytolacca americana</i>	侵入ランクB		
17	オランダミミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i>	侵入ランクB		
18	コハコベ	<i>Stellaria media</i>	侵入ランクB		
19	アリタソウ	<i>Chenopodium ambrosioides</i>	侵入ランクB		
20	ホナガイヌビユ	<i>Amaranthus viridis</i>	侵入ランクB		
21	カラシナ	<i>Brassica juncea</i>	侵入ランクB		
22	マメゲンバイナズナ	<i>Lepidium virginicum</i>	侵入ランクB		
23	オランダガラシ	<i>Nasturtium officinale</i>	侵入ランクB		要注意外来生物
24	ツルマンネングサ	<i>Sedum sarmentosum</i>	侵入ランクB		
25	イタチハギ	<i>Amorpha fruticosa</i>	侵入ランクB		要注意外来生物
26	ハナカタハミ	<i>Oxalis bowieana</i>	侵入ランクB		
27	アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i>	侵入ランクB		
28	コニシキソウ	<i>Chamaesyce maculata</i>	侵入ランクB		
29	ナンキンハゼ	<i>Triadica sebifera</i>	侵入ランクB		
30	ニワウルシ	<i>Ailanthus altissima</i>	侵入ランクB		
31	ホソバヒメミソハギ	<i>Ammannia coccinea</i>	侵入ランクB		
32	ヒレタゴボウ	<i>Ludwigia decurrens</i>	侵入ランクB		
33	メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i>	侵入ランクB		要注意外来生物
34	コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i>	侵入ランクB		要注意外来生物
35	ユウゲショウ	<i>Oenothera rosea</i>	侵入ランクB		
36	マルバルコウ	<i>Ipomoea coccinea</i>	侵入ランクB		
37	マメアサガオ	<i>Ipomoea lacunosa</i>	侵入ランクB		
38	マルバアサガオ	<i>Ipomoea purpurea</i>	侵入ランクB		
39	ヤナギハナガサ	<i>Verbena bonariensis</i>	侵入ランクB		
40	ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i>	侵入ランクB		
41	アメリカイヌホオズキ	<i>Solanum ptychanthum</i>	侵入ランクB		
42	アメリカアゼナ	<i>Lindernia dubia</i> subsp. <i>major</i>	侵入ランクB		
43	マツバウンラン	<i>Nuttallanthus canadensis</i>	侵入ランクB		
44	タチイヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i>	侵入ランクB		
45	オオイヌノフグリ	<i>Veronica persica</i>	侵入ランクB		
46	キキョウソウ	<i>Triodanis perfoliata</i>	侵入ランクB		
47	オオブタクサ	<i>Ambrosia trifida</i>	侵入ランクB		要注意外来生物
48	ヒロハホウキギク	<i>Aster subulatus</i> var. <i>sandwicensis</i>	侵入ランクB		
49	オオアレチノギク	<i>Conyza sumatrensis</i>	侵入ランクB		要注意外来生物
50	ベニバナボロギク	<i>Crassocephalum crepidioides</i>	侵入ランクB		
51	アメリカカタカサブロウ	<i>Eclipta alba</i>	侵入ランクB		
52	ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i>	侵入ランクB		要注意外来生物
53	ウラジロチチコグサ	<i>Gamochaeta coarctata</i>	侵入ランクB		
54	チチコグサモドキ	<i>Gamochaeta pensylvanica</i>	侵入ランクB		
55	オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i>	侵入ランクB		
56	オオオナモミ	<i>Xanthium occidentale</i>	侵入ランクB		要注意外来生物
57	キショウブ	<i>Iris pseudacorus</i>	侵入ランクB		要注意外来生物
58	ニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium rosulatum</i>	侵入ランクB		
59	メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>	侵入ランクB		要注意外来生物

【植物（維管束植物）】(2/4)

番号	和名	学名	岐阜市 カテゴリー	法指定等	
				外来生物法	環境省指定
60	ヒメコバンソウ	<i>Briza minor</i>	侵入ランクB		
61	イヌムギ	<i>Bromus catharticus</i>	侵入ランクB		
62	シナダレスズメガヤ	<i>Eragrostis curvula</i>	侵入ランクB		要注意外来生物
63	コスズメガヤ	<i>Eragrostis minor</i>	侵入ランクB		
64	ネズミムギ	<i>Lolium multiflorum</i>	侵入ランクB		要注意外来生物
65	シマスズメノヒエ	<i>Paspalum dilatatum</i>	侵入ランクB		
66	キシウスズメノヒエ	<i>Paspalum distichum</i>	侵入ランクB		要注意外来生物
67	タチスズメノヒエ	<i>Paspalum urvillei</i>	侵入ランクB		
68	モウソウチク	<i>Phyllostachys edulis</i>	侵入ランクB		
69	セイバンモロコシ	<i>Sorghum halepense</i>	侵入ランクB		
70	メリケンガヤツリ	<i>Cyperus eragrostis</i>	侵入ランクB		要注意外来生物
71	コンテリクラマゴケ	<i>Selaginella uncinata</i>	侵入ランクC		
72	ホウライシダ	<i>Adiantum capillus-veneris</i>	侵入ランクC		
73	ナンバンカラムシ	<i>Boehmeria nivea</i> var. <i>nivea</i>	侵入ランクC		
74	シャクチリソバ	<i>Fagopyrum dibotrys</i>	侵入ランクC		
75	ツルドクダミ	<i>Fallopia multiflora</i>	侵入ランクC		
76	ヒメツルソバ	<i>Persicaria capitata</i>	侵入ランクC		
77	ハイミチヤナギ	<i>Polygonum arenastrum</i>	侵入ランクC		
78	ヒメスイバ	<i>Rumex acetosella</i> subsp. <i>pyrenaicus</i>	侵入ランクC		
79	ナガバギシギシ	<i>Rumex crispus</i>	侵入ランクC		
80	エゾノギシギシ	<i>Rumex obtusifolius</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
81	オシロイバナ	<i>Mirabilis jalapa</i>	侵入ランクC		
82	クルマバザクロソウ	<i>Mollugo verticillata</i>	侵入ランクC		
83	ヒメマツバボタン	<i>Portulaca pilosa</i>	侵入ランクC		
84	ハゼラン	<i>Talinum paniculatum</i>	侵入ランクC		
85	イヌコモチナデシコ	<i>Petrorhagia nanteuillii</i>	侵入ランクC		
86	コモチナデシコ	<i>Petrorhagia prolifera</i>	侵入ランクC		
87	ムシトリナデシコ	<i>Silene armeria</i>	侵入ランクC		
88	サクラマンテマ	<i>Silene pendula</i>	侵入ランクC		
89	アカザ	<i>Chenopodium album</i> var. <i>centrorubrum</i>	侵入ランクC		
90	ケアリタソウ	<i>Chenopodium ambrosioides</i> var. <i>pubescens</i>	侵入ランクC		
91	コアカザ	<i>Chenopodium ficifolium</i>	侵入ランクC		
92	ホソアオゲイトウ	<i>Amaranthus hybridus</i>	侵入ランクC		
93	ノゲイトウ	<i>Celosia argentea</i>	侵入ランクC		
94	ケイトウ	<i>Celosia cristata</i>	侵入ランクC		
95	ホソバヒイラギナンテン	<i>Berberis fortunei</i>	侵入ランクC		
96	フサジュンサイ	<i>Cabomba caroliniana</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
97	キウイフルーツ	<i>Actinidia chinensis</i> var. <i>deliciosa</i>	侵入ランクC		
98	ナガミヒナゲシ	<i>Papaver dubium</i>	侵入ランクC		
99	オニゲシ	<i>Papaver orientale</i>	侵入ランクC		
100	セイヨウアブラナ	<i>Brassica napus</i>	侵入ランクC		
101	ゲンバイナズナ	<i>Thlaspi arvense</i>	侵入ランクC		
102	オカタイトゴメ	<i>Sedum japonicum</i> subsp. <i>oryzifolium</i> var. <i>pumilum</i>	侵入ランクC		
103	メキシコマンネングサ	<i>Sedum mexicanum</i>	侵入ランクC		
104	カンヒザクラ	<i>Cerasus campanulata</i>	侵入ランクC		
105	トキワサンザシ	<i>Pyracantha coccinea</i>	侵入ランクC		
106	ウマゴヤシ	<i>Medicago polymorpha</i>	侵入ランクC		
107	ハリエンジュ	<i>Robinia pseudoacacia</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
108	エビスグサ	<i>Senna obtusifolia</i>	侵入ランクC		
109	クスダマツメクサ	<i>Trifolium campestre</i>	侵入ランクC		
110	コメツブツメクサ	<i>Trifolium dubium</i>	侵入ランクC		
111	ムラサキツメクサ	<i>Trifolium pratense</i>	侵入ランクC		
112	ナヨクサフジ	<i>Vicia villosa</i> subsp. <i>varia</i>	侵入ランクC		
113	イモカタバミ	<i>Oxalis articulata</i>	侵入ランクC		
114	ムラサキカタバミ	<i>Oxalis debilis</i> subsp. <i>corymbosa</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
115	ハイニシキソウ	<i>Chamaesyce prostrata</i>	侵入ランクC		
116	アレチニシキソウ	<i>Chamaesyce</i> sp.	侵入ランクC		
117	トウカエデ	<i>Acer buergerianum</i>	侵入ランクC		
118	フウセンカズラ	<i>Cardiospermum halicacabum</i>	侵入ランクC		

【植物（維管束植物）】(3/4)

番号	和名	学名	岐阜市 カテゴリー	法指定等	
				外来生物法	環境省指定
119	ナツメ	<i>Ziziphus jujuba</i> var. <i>inermis</i>	侵入ランクC		
120	イチビ	<i>Abutilon theophrasti</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
121	ムクゲ	<i>Hibiscus syriacus</i>	侵入ランクC		
122	ウサギアオイ	<i>Malva parviflora</i>	侵入ランクC		
123	ヤノネボンテンカ	<i>Pavonia hastata</i>	侵入ランクC		
124	サンシキスミレ	<i>Viola tricolor</i>	侵入ランクC		
125	アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i>	侵入ランクC	特定外来生物	
126	オオマツヨイグサ	<i>Oenothera glazioviana</i>	侵入ランクC		
127	ミナトマツヨイグサ	<i>Oenothera indecora</i>	侵入ランクC		
128	アレチマツヨイグサ	<i>Oenothera parviflora</i>	侵入ランクC		
129	ヒルザキツキミソウ	<i>Oenothera speciosa</i>	侵入ランクC		
130	マツヨイグサ	<i>Oenothera stricta</i>	侵入ランクC		
131	オオフサモ	<i>Myriophyllum aquaticum</i>	侵入ランクC	特定外来生物	
132	マツバゼリ	<i>Cyclospermum leptophyllum</i>	侵入ランクC		
133	ウチワゼニクサ	<i>Hydrocotyle verticillata</i> var. <i>triradiata</i>	侵入ランクC		
134	トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
135	キョウチクトウ	<i>Nerium oleander</i> var. <i>indicum</i>	侵入ランクC		
136	ツルニチニチソウ	<i>Vinca major</i>	侵入ランクC		
137	オオフタバムグラ	<i>Diodia teres</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
138	シバザクラ	<i>Phlox subulata</i>	侵入ランクC		
139	セイヨウヒルガオ	<i>Convolvulus arvensis</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
140	アメリカネナシカズラ	<i>Cuscuta campestris</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
141	アサガオ	<i>Ipomoea nil</i>	侵入ランクC		
142	ホシアサガオ	<i>Ipomoea triloba</i>	侵入ランクC		
143	マルバクマツヅラ	<i>Verbena stricta</i>	侵入ランクC		
144	ダキバアレチハナガサ	<i>Verbena</i> × <i>incompta</i>	侵入ランクC		
145	ニガハッカ	<i>Marrubium vulgare</i>	侵入ランクC		
146	ヨウシュハッカ	<i>Mentha arvensis</i>	侵入ランクC		
147	オランダハッカ	<i>Mentha spicata</i>	侵入ランクC		
148	コショウハッカ	<i>Mentha</i> × <i>piperita</i>	侵入ランクC		
149	チョウセンアサガオ	<i>Datura metel</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
150	センナリホオズキ	<i>Physalis angulata</i> auct. non	侵入ランクC		
151	ヒロハフウリンホオズキ	<i>Physalis angulata</i> var. <i>angulata</i>	侵入ランクC		
152	テリミノイヌホオズキ	<i>Solanum americanum</i>	侵入ランクC		
153	ワルナスビ	<i>Solanum carolinense</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
154	ウキアゼナ	<i>Bacopa rotundifolia</i>	侵入ランクC		
155	ヒメアメリカアゼナ	<i>Lindernia anagallidea</i>	侵入ランクC		
156	オオカワヂシャ	<i>Veronica anagallis-aquatica</i>	侵入ランクC	特定外来生物	
157	キササゲ	<i>Catalpa ovata</i>	侵入ランクC		
158	ヘラオオバコ	<i>Plantago lanceolata</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
159	ツボミオオバコ	<i>Plantago virginica</i>	侵入ランクC		
160	ノヂシャ	<i>Valerianella locusta</i>	侵入ランクC		
161	ブタクサ	<i>Ambrosia artemisiifolia</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
162	キダチコンギク	<i>Aster pilosus</i>	侵入ランクC		
163	ホウキギク	<i>Aster subulatus</i> var. <i>subulatus</i>	侵入ランクC		
164	ホソバナセンダングサ	<i>Bidens parviflora</i>	侵入ランクC		
165	タチアワユキセンダングサ	<i>Bidens pilosa</i> var. <i>radiata</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
166	ヤグルマギク	<i>Centaurea cyanus</i>	侵入ランクC		
167	アレチノギク	<i>Conyza bonariensis</i>	侵入ランクC		
168	コスモス	<i>Cosmos bipinnatus</i>	侵入ランクC		
169	ダンドボロギク	<i>Erechtites hieraciifolius</i>	侵入ランクC		
170	コゴメギク	<i>Galinsoga parviflora</i>	侵入ランクC		
171	ハキダメギク	<i>Galinsoga quadriradiata</i>	侵入ランクC		
172	クワイモ	<i>Helianthus tuberosus</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
173	ブタナ	<i>Hypochaeris radicata</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
174	フランスギク	<i>Leucanthemum vulgare</i>	侵入ランクC		
175	ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i>	侵入ランクC		
176	オオアワダチソウ	<i>Solidago gigantea</i> subsp. <i>serotina</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
177	アカミタンポポ	<i>Taraxacum laevigatum</i>	侵入ランクC		要注意外来生物

【植物（維管束植物）】(4/4)

番号	和名	学名	岐阜市 カテゴリー	法指定等	
				外来生物法	環境省指定
178	イヌカミツレ	<i>Tripleurospermum maritimum</i> subsp. <i>inodorum</i>	侵入ランクC		
179	ナガバオモダカ	<i>Sagittaria graminea</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
180	ラッキョウ	<i>Allium chinense</i>	侵入ランクC		
181	タカサゴユリ	<i>Lilium formosanum</i>	侵入ランクC		
182	ナツズイセン	<i>Lycoris × squamigera</i>	侵入ランクC		
183	スイセン	<i>Narcissus tazetta</i>	侵入ランクC		
184	タマズダレ	<i>Zephyranthes candida</i>	侵入ランクC		
185	ホテイアオイ	<i>Eichhornia crassipes</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
186	ヒメヒオウギズイセン	<i>Crocoshmia × crocosmiiflora</i>	侵入ランクC		
187	ノハカタカラクサ	<i>Tradescantia flumiensis</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
188	ムラサキツユクサ	<i>Tradescantia ohiensis</i>	侵入ランクC		
189	ヒメヌカボ	<i>Agrostis canina</i>	侵入ランクC		
190	コヌカグサ	<i>Agrostis gigantea</i>	侵入ランクC		
191	コバンソウ	<i>Briza maxima</i>	侵入ランクC		
192	カモガヤ	<i>Dactylis glomerata</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
193	オオニワホコリ	<i>Eragrostis pilosa</i>	侵入ランクC		
194	オニウシノケグサ	<i>Festuca arundinacea</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
195	ホソムギ	<i>Lolium perenne</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
196	ドクムギ	<i>Lolium temulentum</i>	侵入ランクC		
197	ネズミホソムギ	<i>Lolium × hybridum</i>	侵入ランクC		
198	オオクサキビ	<i>Panicum dichotomiflorum</i>	侵入ランクC		
199	ナガハグサ	<i>Poa pratensis</i>	侵入ランクC		
200	ナギナタガヤ	<i>Vulpia myuros</i>	侵入ランクC		

【動物（哺乳類）】

番号	和名	学名	岐阜市 カテゴリー	法指定等	
				外来生物法	環境省指定
1	ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i>	侵入ランクA	特定外来生物	
2	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>	侵入ランクA	特定外来生物	
3	シベリアイタチ	<i>Mustela sibirica</i>	侵入ランクA		
4	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>	侵入ランクA		
5	クリハラリス	<i>Callosciurus erythraeus</i>	侵入ランクB	特定外来生物	

【動物（鳥類）】

番号	和名	学名	岐阜市 カテゴリー	法指定等	
				外来生物法	環境省指定
1	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus</i>	侵入ランクA		
2	カワラバト(ドバト)	<i>Columba livia</i>	侵入ランクA		
3	ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i>	侵入ランクC	特定外来生物	

【動物（爬虫類）】

番号	和名	学名	岐阜市 カテゴリー	法指定等	
				外来生物法	環境省指定
1	ミシシippアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>	侵入ランクA		要注意外来生物
2	ホクベイカミツキガメ	<i>Chelydra serpentina</i>	侵入ランクC	特定外来生物	

【動物（両生類）】

番号	和名	学名	岐阜市 カテゴリー	法指定等	
				外来生物法	環境省指定
1	ウシガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	侵入ランクA	特定外来生物	

【動物（魚類）】

番号	和名	学名	岐阜市 カテゴリー	法指定等	
				外来生物法	環境省指定
1	ゲンゴロウブナ	<i>Carassius cuvieri</i>	侵入ランクA		
2	カネヒラ	<i>Acheilognathus rhombeus</i>	侵入ランクA		
3	タイリクバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>	侵入ランクA		要注意外来生物
4	ギギ	<i>Tachysurus nudiceps</i>	侵入ランクA		
5	カダヤシ	<i>Gambusia affinis</i>	侵入ランクA	特定外来生物	
6	ブルーギル	<i>Lepomis macrochirus macrochirus</i>	侵入ランクA	特定外来生物	
7	オオクチバス	<i>Micropterus salmoides</i>	侵入ランクA	特定外来生物	
8	カムルチー	<i>Channa argus</i>	侵入ランクA		要注意外来生物
9	ハス	<i>Opsariichthys uncirostris uncirostris</i>	侵入ランクB		
10	ツチフキ	<i>Abbottina rivularis</i>	侵入ランクB		
11	カラドジョウ	<i>Misgurnus dabryanus</i>	侵入ランクB		要注意外来生物
12	シマヒレヨシノボリ	<i>Rhinogobius</i> sp. BF	侵入ランクB		
13	レッドテールキャットフィッシュ	<i>Phractocephalus hemiliopterus</i>	侵入ランクC		
14	マダラロリカリア	<i>Pterygoplichthys disjunctivus</i>	侵入ランクC		要注意外来生物
15	グッピー	<i>Poecilia reticulata</i>	侵入ランクC		要注意外来生物

【動物（昆虫類）】 (1/2)

番号	和名	学名	岐阜市 カテゴリー	法指定等	
				外来生物法	環境省指定
1	アオマツムシ	<i>Trujalia hibinonis</i>	侵入ランクA		
2	アメリカシロヒトリ	<i>Hyphantria cunea</i>	侵入ランクA		
3	シロテンハナムグリ	<i>Protaetia orientalis submarmorea</i>	侵入ランクA		
4	アルファルファタコゾウムシ	<i>Hypera postica</i>	侵入ランクA		
5	イネミズゾウムシ	<i>Lissorhoptrus oryzophilus</i>	侵入ランクA		
6	セイヨウミツバチ	<i>Apis mellifera</i>	侵入ランクA		
7	ホソオチョウ	<i>Sericinus montela</i>	侵入ランクB		要注意外来生物
8	シバツトガ	<i>Parapediasia teterrella</i>	侵入ランクB		
9	カドマルカツオブシムシ	<i>Dermestes haemorrhoidalis</i>	侵入ランクB		

【動物（昆虫類）】(2/2)

番号	和名	学名	岐阜市 カテゴリー	法指定等	
				外来生物法	環境省指定
10	アカアシホシカムシ	<i>Necrobia rufipes</i>	侵入ランクB		
11	シロオビカッコウムシ	<i>Tarsostenus univittatus</i>	侵入ランクB		
12	コクヌスト	<i>Tenebroides mauritanicus</i>	侵入ランクB		
13	ベダリアテントウ	<i>Rodolia cardinalis</i>	侵入ランクB		
14	ガイマイゴミムシダマシ	<i>Alphitobius diaperinus</i>	侵入ランクB		
15	ヒメゴミムシダマシ	<i>Alphitobius laevigatus</i>	侵入ランクB		
16	コクヌストモドキ	<i>Tribolium castaneum</i>	侵入ランクB		
17	ツシマムナクボカミキリ	<i>Cephalallus unicolor</i>	侵入ランクB		
18	ブタクサハムシ	<i>Ophraella communa</i>	侵入ランクB		
19	ワタミヒゲナガゾウムシ	<i>Araecerus coffeae</i>	侵入ランクB		
20	オオタコゾウムシ	<i>Donus punctatus</i>	侵入ランクB		
21	アメリカカジガバチ	<i>Sceliphron caementarium</i>	侵入ランクB		
22	ヨコヅナサシガメ	<i>Agriosphodrus dohrni</i>	侵入ランクC		
23	アワダチソウゲンバイ	<i>Corythucha marmorata</i>	侵入ランクC		
24	ヒロヘリアオイラガ	<i>Parasa lepida lepida</i>	侵入ランクC		
25	タケノホソクロバ	<i>Artona martini</i>	侵入ランクC		
26	ノシメマダラメイガ	<i>Plodia interpunctella</i>	侵入ランクC		
27	オオタバコガ	<i>Helicoverpa armigera armigera</i>	侵入ランクC		
28	アメリカミズアブ	<i>Hermetia illucens</i>	侵入ランクC		
29	コルリアトキリゴミムシ	<i>Lebia viridis</i>	侵入ランクC		
30	ヒメマダラカツオブシムシ	<i>Trogoderma inclusum</i>	侵入ランクC		
31	ミスジキイロテントウ	<i>Brumoides ohtai</i>	侵入ランクC		
32	ウスバキスイ	<i>Cryptophagus cellaris</i>	侵入ランクC		
33	サビカクムネチビヒラタムシ	<i>Cryptolestes ferrugineus</i>	侵入ランクC		
34	トビイロデオネスイ	<i>Monotoma picipes</i>	侵入ランクC		
35	クリイロデオキスイ	<i>Carpophilus marginellus</i>	侵入ランクC		
36	カドコブホソヒラタムシ	<i>Ahasverus advena</i>	侵入ランクC		
37	フタゲホソヒラタムシ	<i>Silvanus bidentatus</i>	侵入ランクC		
38	ヒメコクヌストモドキ	<i>Palorus ratzeburgii</i>	侵入ランクC		
39	コメノゴミムシダマシ	<i>Tenebrio obscurus</i>	侵入ランクC		
40	ヤサイゾウムシ	<i>Listroderes costirostris</i>	侵入ランクC		

ブルーリスト

【動物（貝類）】

番号	和名	学名	岐阜市 カテゴリー	法指定等	
				外来生物法	環境省指定
1	スクミリンゴガイ	<i>Pomacea canaliculata</i>	侵入ランクA		要注意外来生物
2	ウスイロオカチグサ	<i>Paludinassiminea debilis</i>	侵入ランクA		
3	サカマキガイ	<i>Physa acuta</i>	侵入ランクA		
4	ハブタエモノアラガイ	<i>Pseudosuccinea columella</i>	侵入ランクA		
5	トクサオカチョウジガイ	<i>Paropeas achatinaceum</i>	侵入ランクA		
6	ヒメコハクガイ	<i>Hawaii minuscula</i>	侵入ランクA		
7	コハクガイ	<i>Zonitoides (Zonitoides) arboreus</i>	侵入ランクA		
8	チャコウラナメクジ	<i>Lehmannia valentiana</i>	侵入ランクA		
9	オナジマイマイ	<i>Bradybaena similaris</i>	侵入ランクA		
10	タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea</i>	侵入ランクA		要注意外来生物
11	コモチカワツボ	<i>Pomatopyrgus antipodarum</i>	侵入ランクB		
12	ミジンマイマイ	<i>Vallonia pulchellula</i>	侵入ランクB		
13	ノハラノイシノシタ	<i>Helicodiscus (Hebetodiscus) inermis</i>	侵入ランクB		
14	ノハラナメクジ	<i>Deroeras reticulatum</i>	侵入ランクB		
15	コハクオナジマイマイ	<i>Bradybaena pellucida</i>	侵入ランクB		
16	タテヒダカワニナ	<i>Semisulcospira (Biwamelania) decipiens</i>	侵入ランクC		
17	イボカワニナ	<i>Semisulcospira (Biwamelania) multigranosa</i>	侵入ランクC		
18	カゴメカワニナ	<i>Semisulcospira (Biwamelania) reticulata</i>	侵入ランクC		

【動物（甲殻類(十脚類)）】

番号	和名	学名	岐阜市 カテゴリー	法指定等	
				外来生物法	環境省指定
1	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	侵入ランクA		要注意外来生物

参考・引用文献

【文献・資料】

- 阿部永 他, 2005, 日本の哺乳類 改訂版
安藤志郎 他, 岐阜県博物館調査研究報告第6号 岐阜県におけるアライグマの生息状況
岩槻邦夫, 1992, 日本の野生植物 シダ
梶浦敬一 他, 1986, 岐阜県博物館調査研究報告第7号 岐阜県におけるアライグマの生息状況 その2
環境省, 2012, レッドリスト -植物I(維管束植物)-
(http://www.env.go.jp/press/file_view.php?serial=20557&hou_id=15619)
環境省, 2012, レッドリスト -哺乳類-
(http://www.env.go.jp/press/file_view.php?serial=20550&hou_id=15619)
環境省, 2012, レッドリスト -鳥類-
(http://www.env.go.jp/press/file_view.php?serial=20551&hou_id=15619)
環境省, 2012, レッドリスト -爬虫類-
(http://www.env.go.jp/press/file_view.php?serial=20552&hou_id=15619)
環境省, 2012, レッドリスト -両生類-
(http://www.env.go.jp/press/file_view.php?serial=20553&hou_id=15619)
環境省, 2013, レッドリスト -汽水・淡水魚類-
(http://www.env.go.jp/press/file_view.php?serial=21437&hou_id=16264)
環境省, 2012, レッドリスト -昆虫類-
(http://www.env.go.jp/press/file_view.php?serial=21555&hou_id=15619)
環境省, 2012, レッドリスト -貝類-
(http://www.env.go.jp/press/file_view.php?serial=20555&hou_id=15619)
環境省, 2012, レッドリスト -その他無脊椎動物-
(http://www.env.go.jp/press/file_view.php?serial=20556&hou_id=15619)
岐阜県, 平成21年, 岐阜県レッドリスト(動物編)改訂版
(<http://www.pref.gifu.lg.jp/kankyo/shizen/red-data-dobutsu/>)
岐阜県, 平成25年, 岐阜県レッドリスト(植物編)改訂版
(<http://www.pref.gifu.lg.jp/kankyo/shizen/redlist-shokubutu-kaitei.html>)
岐阜市, 2000, 自然環境と保全 (岐阜市自然環境実態調査報告)
岐阜市, 2014, 岐阜市の自然情報 ~岐阜市自然環境基礎調査~
佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫, 1989, 日本の野生植物 草本I 単子葉類
佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫, 1989, 日本の野生植物 草本II 離弁花類
佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫, 1989, 日本の野生植物 草本III 合弁花類
佐竹義輔・原寛・亘理俊次・富成忠夫, 1989, 日本の野生植物 木本I
佐竹義輔・原寛・亘理俊次・富成忠夫, 1989, 日本の野生植物 木本II
清水建美, 2003, 日本の帰化植物
太刀掛優, 1998, 帰化植物便覧
中坊徹次, 2013, 日本産魚類検索 全種の同定 第三版
長田武正, 1993, 増補 日本イネ科植物図譜
日本生態学会, 2002, 外来種ハンドブック
日本鳥類学会, 2013, 日本鳥類目録 改定第7版
(<http://ornithology.jp/osj/japanese/katsudo/Publications/Checklist7.html>)
日本爬虫両棲類学会, 2013, 日本産爬虫両生類標準和名
(<http://zoo.zool.kyoto-u.ac.jp/herp/wamei2013.11.13.pdf>)
肥後俊一・後藤芳央, 1993, 日本及び周辺地域産軟体動物総目録
米倉浩司・梶田忠, 2011, BG Plants 和名-学名インデックス(YList)
(http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist_main.html)
S. D. Ohdachi・Y. Ishibashi M. A. Iwasa T. Saitoh, 2009, The Wild Mammals of Japan

【法令等】

- 文化財保護法, 昭和25年5月, 法律第214号
絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律, 平成4年6月, 法律第76号
岐阜県希少野生生物保護条例, 平成15年3月, 岐阜県条例第22号
(<http://www.pref.gifu.lg.jp/kankyo/shizen/jyourei/kishoushu.html>)
岐阜市自然環境の保全に関する条例, 平成15年3月, 岐阜市条例第20号
(<http://www.city.gifu.lg.jp/6954.htm>)
特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律, 平成16年6月, 法律第78号
(<https://www.env.go.jp/nature/intro/>)

索引 (植物 1/4)

太字のページ番号は、種の説明ページを示す。

和名	カテゴリー	ページ	和名	カテゴリー	ページ
アイナエ	絶滅危惧Ⅰ類	23,138	エゾノギシギシ	侵入ランクC	172,217
アオダモ	準絶滅危惧	71,141	エビスグサ	侵入ランクC	175,217
アオハコベ	絶滅危惧Ⅱ類	36,139	エビネ	情報不足	14,85,142
アオビユ	侵入ランクB	160	エンコウカエデ	絶滅危惧Ⅱ類	43,139
アカザ	侵入ランクC	156,173,217	エンシュウムヨウラン	絶滅危惧Ⅰ類	32,138
アカシヨウマ	絶滅危惧Ⅰ類	20,138	オオアオスゲ	情報不足	85,142
アカミタンボボ	侵入ランクC	184,218	オオアブノメ	絶滅危惧Ⅰ類	25,138
アキグミ	準絶滅危惧	67,140	オオアリドオシ	準絶滅危惧	71,141
アキザキヤツシロラン	絶滅危惧Ⅰ類	32,138	オオアレチノギク	侵入ランクB	166,216
アギナシ	準絶滅危惧	75,141	オオアワダチソウ	侵入ランクC	184,218
アキノギンリョウソウ	絶滅危惧Ⅰ類	22	オオイヌノフグリ	侵入ランクB	165,216
アケボノソウ	絶滅危惧Ⅱ類	45,139	オオオナモミ	侵入ランクB	168,216
アサガオ	侵入ランクC	179,218	オオカナダモ	侵入ランクA	156,159,216
アブラチャン	準絶滅危惧	60,140	オオカメノキ	準絶滅危惧	72,141
アブラツツジ	準絶滅危惧	70,141	オオカワヂシャ	侵入ランクC	156,181,218
アマドコロ	絶滅危惧Ⅱ類	53,140	オオキンケイギク	侵入ランクA	156,158,216
アマナ	絶滅危惧Ⅰ類	28,138	オオクサキビ	侵入ランクC	186,219
アメリカアゼナ	侵入ランクB	165,216	オーチャード・グラス	侵入ランクC	186
アメリカイヌホオズキ	侵入ランクB	165,216	オオニシキソウ	侵入ランクA	156,157,216
アメリカセンダングサ	侵入ランクA	156,158,216	オオニワホコリ	侵入ランクC	186,219
アメリカカタカサブロウ	侵入ランクB	167,216	オオバチドメ	準絶滅危惧	69,141
アメリカネナシカズラ	侵入ランクC	179,218	オオハリイ	絶滅危惧Ⅱ類	56,140
アメリカフウロ	侵入ランクB	162,216	オオハンゲ	絶滅危惧Ⅱ類	55,140
アメリカミズキンバイ	侵入ランクB	163	オオフサモ	侵入ランクC	156,178,218
アメリカヤマゴボウ	侵入ランクB	160	オオブタクサ	侵入ランクB	166,216
アヤメ	絶滅危惧Ⅱ類	53,140	オオフタバムグラ	侵入ランクC	179,218
アリタソウ	侵入ランクB	160,216	オオマツヨイグサ	侵入ランクC	177,218
アレチウリ	侵入ランクC	156,177,218	オオヤマレンゲ	情報不足	80,141
アレチギシギシ	侵入ランクB	159,216	オカタイトゴメ	侵入ランクC	174,217
アレチニシキソウ	侵入ランクC	176,217	オガルカヤ	絶滅危惧Ⅱ類	55,140
アレチヌスビトハギ	侵入ランクA	156,157,216	オグルコウホネ	絶滅危惧Ⅰ類	18,138
アレチノギク	侵入ランクC	183,218	オグルマ	準絶滅危惧	74,141
アレチハナガサ	侵入ランクA	156,157,216	オケラ	情報不足	84,142
アレチマツヨイグサ	侵入ランクC	178,218	オシロイバナ	侵入ランクC	172,217
アワユキセンダングサ	侵入ランクC	182	オツタチカタハミ	侵入ランクA	156,157,216
イシモチソウ	情報不足	81,141	オナモミ	情報不足	84,142
イタチハギ	侵入ランクB	161,216	オニウシノケグサ	侵入ランクC	186,219
イタリアン・ライグラス	侵入ランクB	169	オニゲシ	侵入ランクC	174,217
イチイガシ	準絶滅危惧	59,140	オニスゲ	絶滅危惧Ⅰ類	30,138
イチビ	侵入ランクC	177,218	オニノゲシ	侵入ランクB	167,216
イトイヌノヒゲ	絶滅危惧Ⅰ類	29,138	オニノヤガラ	絶滅危惧Ⅰ類	32,138
イヌアワ	準絶滅危惧	77,141	オニマタタビ	侵入ランクC	174
イヌガシ	情報不足	81,141	オノエヤナギ	絶滅危惧Ⅱ類	34,139
イヌカミツレ	侵入ランクC	184,219	オノマンネングサ	準絶滅危惧	62,140
イヌガヤ	準絶滅危惧	14,59,140	オミナエシ	絶滅危惧Ⅱ類	49,139
イヌゴマ	絶滅危惧Ⅱ類	47,139	オランダガラシ	侵入ランクB	161,216
イヌコモチナデシコ	侵入ランクC	172,217	オランダハッカ	侵入ランクC	180,218
イヌスギナ	情報不足	78,141	オランダミミナグサ	侵入ランクB	160,216
イヌセンブリ	絶滅危惧Ⅰ類	14,23,138	オワセベニシダ	情報不足	79,141
イヌタヌキモ	絶滅危惧Ⅰ類	26,138	ガガフタ	情報不足	14,83,142
イヌノフグリ	絶滅危惧Ⅰ類	25,138	カキツバタ	準絶滅危惧	14,76,141
イヌムギ	侵入ランクB	169,217	カキラン	絶滅危惧Ⅱ類	57,140
イヌヨモギ	絶滅危惧Ⅱ類	50,139	ガクウツギ	準絶滅危惧	63,140
イブキザサ	準絶滅危惧	77,141	カゴノキ	準絶滅危惧	60,140
イモカタハミ	侵入ランクC	176,217	カザグルマ	絶滅危惧Ⅰ類	14,17,138
イワタバコ	絶滅危惧Ⅰ類	25,138	カシワ	情報不足	14,79,141
ウイーピング・ラブグラス	侵入ランクB	169	カタクリ	準絶滅危惧	76,141
ウキアゼナ	侵入ランクC	181,218	カテンソウ	絶滅危惧Ⅱ類	34,139
ウグイスカグラ	絶滅危惧Ⅰ類	26,138	カナビキソウ	絶滅危惧Ⅱ類	35,139
ウサギアオイ	侵入ランクC	177,218	カミガモシダ	絶滅危惧Ⅰ類	15,138
ウシミツバ	準絶滅危惧	69,141	カモガヤ	侵入ランクC	186,219
ウチワゴケ	絶滅危惧Ⅱ類	14,33,139	カヤラン	絶滅危惧Ⅱ類	58,140
ウチワゼニクサ	侵入ランクC	178,218	カラシナ	侵入ランクB	161,216
ウツボグサ	絶滅危惧Ⅱ類	47,139	カラタチバナ	準絶滅危惧	70,141
ウナギツカミ	情報不足	80,141	カワラケツメイ	準絶滅危惧	64,140
ウマゴヤシ	侵入ランクC	175,217	カワラサイコ	絶滅危惧Ⅱ類	41,139
ウマスゲ	情報不足	84,142	カワラハハコ	準絶滅危惧	73,141
ウラシマソウ	絶滅危惧Ⅰ類	30,138	カワラハンノキ	準絶滅危惧	59,140
ウラジロウツギ	絶滅危惧Ⅰ類	21,138	カワラヨモギ	準絶滅危惧	73,141
ウラジロチチコグサ	侵入ランクB	167,216	カンガレイ	絶滅危惧Ⅰ類	30,138
エイザンスミレ	絶滅危惧Ⅱ類	43,139	カンヒザクラ	侵入ランクC	175,217

(植物 2/4)

太字のページ番号は、種の説明ページを示す。

和名	カテゴリー	ページ	和名	カテゴリー	ページ
キウイフルーツ	侵入ランクC	174,217	サギソウ	絶滅危惧Ⅰ類	33,138
キカラスウリ	準絶滅危惧	68,141	サクラマンテマ	侵入ランクC	173,217
キキョウ	絶滅危惧Ⅱ類	14,50,139	サデクサ	絶滅危惧Ⅱ類	35,139
キキョウソウ	侵入ランクB	166,216	サワアザミ	準絶滅危惧	73,141
クイモ	侵入ランクC	183,218	サワオグルマ	準絶滅危惧	75,141
キケマン	情報不足	81,141	サワギキョウ	絶滅危惧Ⅱ類	49,139
キササゲ	侵入ランクC	181,218	サワギク	絶滅危惧Ⅰ類	27,138
キシュウスズメノヒエ	侵入ランクB	170,217	サワトウガラシ	準絶滅危惧	72,141
キシウブ	侵入ランクB	156,168,216	サワハコベ	準絶滅危惧	60,140
キセウタ	情報不足	83,142	サンカクイ	準絶滅危惧	78,141
キダチコンギク	侵入ランクC	182,218	サンシキスミレ	侵入ランクC	177,218
キツネノカミソリ	絶滅危惧Ⅰ類	28,138	サンショウソウ	情報不足	80,141
キツリフネ	絶滅危惧Ⅱ類	43,139	シオジ	情報不足	83,142
キハダ	準絶滅危惧	65,140	シソクサ	絶滅危惧Ⅱ類	48,139
キブシ	準絶滅危惧	68,141	シデコブシ	絶滅危惧Ⅱ類	14,36,139
キョウチクトウ	侵入ランクC	179,218	シナサルナシ	侵入ランクC	174
キンギョモ	絶滅危惧Ⅱ類	37	シナダレスズメガヤ	侵入ランクB	169,217
キンラン	絶滅危惧Ⅰ類	31,138	シバザクラ	侵入ランクC	179,218
ギンラン	絶滅危惧Ⅱ類	14,56,140	シマスズメノヒエ	侵入ランクB	156,169,217
ギンリョウソウモドキ	絶滅危惧Ⅰ類	22,138	シモバシラ	絶滅危惧Ⅰ類	23,138
ギンレイカ	絶滅危惧Ⅰ類	22,138	シヤク	絶滅危惧Ⅱ類	44,139
クサイチゴ	準絶滅危惧	64,140	シヤクチリソバ	侵入ランクC	171,217
クサソテツ	準絶滅危惧	14,58,140	ジャケツイバラ	準絶滅危惧	64,140
クサフジ	情報不足	81,141	ジャニンジン	絶滅危惧Ⅱ類	38,139
クサボタン	絶滅危惧Ⅰ類	17,138	ジュズネノキ	絶滅危惧Ⅰ類	23,138
クジャクシダ	絶滅危惧Ⅱ類	33,139	ジュンサイ	絶滅	14,15,138
クスダマツメクサ	侵入ランクC	175,217	シライトソウ	準絶滅危惧	75,141
クチナシグサ	絶滅危惧Ⅱ類	48,139	シラキ	準絶滅危惧	65,140
クヌギ	準絶滅危惧	59,140	シロイヌノヒゲ	絶滅危惧Ⅰ類	29,138
クルマバザクロソウ	侵入ランクC	172,217	シロスミレ	情報不足	82,142
クローバー	侵入ランクA	157	シロツメクサ	侵入ランクA	156,157,216
クロカワズスゲ	準絶滅危惧	78,141	シロバナオオタチツボスミレ	準絶滅危惧	67,140
クロヒナスゲ	絶滅危惧Ⅱ類	55,140	シロバナサクラタデ	絶滅危惧Ⅰ類	16,138
クロホシクサ	情報不足	84,142	シロバナタンポポ	準絶滅危惧	75,141
クロミノニシゴリ	準絶滅危惧	70,141	シロモジ	準絶滅危惧	60,140
クロヤツシロラン	絶滅危惧Ⅱ類	57,140	シンジュ	侵入ランクB	162
クワモドキ	侵入ランクB	166	スイセン	侵入ランクC	185,219
ゲンバイナズナ	侵入ランクC	174,217	スイラン	絶滅危惧Ⅰ類	26,138
ケアリタソウ	侵入ランクC	173,217	スズサイコ	絶滅危惧Ⅱ類	45,139
ケイトウ	侵入ランクC	173,217	スズメノハコベ	準絶滅危惧	72,141
ケンボナシ	準絶滅危惧	66,140	スダジイ	準絶滅危惧	59,140
コアカザ	侵入ランクC	173,217	スブタ	絶滅危惧Ⅰ類	27,138
コウガイモ	絶滅危惧Ⅰ類	28,138	スマレサイシン	準絶滅危惧	67,141
コウヤワラビ	準絶滅危惧	58,140	セイタカアキノキリンソウ	侵入ランクA	159
コオニユリ	絶滅危惧Ⅱ類	52,140	セイタカアワダチソウ	侵入ランクA	156,159,216
コカナダモ	侵入ランクA	156,159,216	セイバンモロコシ	侵入ランクB	170,217
ゴキヅル	準絶滅危惧	68,141	セイヨウアブラナ	侵入ランクC	156,174,217
コクサギ	絶滅危惧Ⅱ類	42,139	セイヨウカラシナ	侵入ランクB	161
コケイラン	絶滅危惧Ⅰ類	32,138	セイヨウタンポポ	侵入ランクA	156,159,216
コゴメツギ	準絶滅危惧	63,140	セイヨウヒルガオ	侵入ランクC	179,218
コゴメギク	侵入ランクC	183,218	セッコク	絶滅危惧Ⅰ類	14,31,138
コショウハッカ	侵入ランクC	180,218	センダングサ	絶滅危惧Ⅱ類	51,139
ゴシロネ	絶滅危惧Ⅱ類	46,139	センナリホオズキ	侵入ランクC	180,218
コスズメガヤ	侵入ランクB	169,217	センブリ	絶滅危惧Ⅱ類	45,139
コスモス	侵入ランクC	183,218	センボンヤリ	絶滅危惧Ⅱ類	52,140
コセンダングサ	侵入ランクA	156,158,216	ソクズ	絶滅危惧Ⅱ類	49,139
コチャルメルソウ	絶滅危惧Ⅱ類	40,139	タウコギ	絶滅危惧Ⅱ類	51,139
コニシキソウ	侵入ランクB	162,216	タカサゴユリ	侵入ランクC	184,219
コヌカグサ	侵入ランクC	185,219	ダキバアレチハナガサ	侵入ランクC	180,218
コハウチワカエデ	準絶滅危惧	66,140	タチアワユキセンダングサ	侵入ランクC	182,218
コハコベ	侵入ランクB	160,216	タチイヌノフグリ	侵入ランクB	165,216
コハナヤスリ	情報不足	78,141	タチスズメノヒエ	侵入ランクB	170,217
コバトネリコ	準絶滅危惧	71	タチモ	情報不足	82,142
コバンソウ	侵入ランクC	186,219	タツナミソウ	絶滅危惧Ⅱ類	47,139
コマツカサススキ	絶滅危惧Ⅰ類	30,138	タニウツギ	準絶滅危惧	72,141
コマツヨイグサ	侵入ランクB	163,216	タニギキョウ	準絶滅危惧	73,141
コメガヤ	準絶滅危惧	77,141	タニソバ	準絶滅危惧	60,140
コメツブツメクサ	侵入ランクC	175,217	タヌキマメ	絶滅危惧Ⅰ類	21,138
コモチナデシコ	侵入ランクC	172,217	タヌキモ	絶滅危惧Ⅰ類	26,138
コンテリク라마ゴケ	侵入ランクC	171,217	タマアジサイ	絶滅危惧Ⅱ類	40,139
サイハイラン	絶滅危惧Ⅰ類	31,138	タマスダレ	侵入ランクC	185,219

(植物 3/4)

太字のページ番号は、種の説明ページを示す。

和名	カテゴリー	ページ	和名	カテゴリー	ページ
タラヨウ	準絶滅危惧	66,140	ノテンツキ	絶滅危惧Ⅱ類	56,140
タンキリマメ	絶滅危惧Ⅱ類	41,139	ノハカタカラクサ	侵入ランクC	185,219
ダンドボロギク	侵入ランクC	156,183,218	ノハナショウブ	絶滅危惧Ⅱ類	53,140
チゴユリ	準絶滅危惧	75,141	ノボロギク	侵入ランクC	184,218
チダケサシ	絶滅危惧Ⅰ類	20,138	バイカモ	絶滅危惧Ⅰ類	18,138
チチコグサモドキ	侵入ランクB	167,216	ハイニシキソウ	侵入ランクC	176,217
チョウセンアサガオ	侵入ランクC	180,218	ハイミチヤナギ	侵入ランクC	171,217
チョウセンガリヤス	絶滅危惧Ⅱ類	54,140	ハキダメギク	侵入ランクC	183,218
ツタウルシ	準絶滅危惧	65,140	ハゴロモモ	侵入ランクC	174
ツチアケビ	絶滅危惧Ⅱ類	57,140	ハゼラン	侵入ランクC	172,217
ツボクサ	準絶滅危惧	69,141	ハダカホオズキ	絶滅危惧Ⅱ類	48,139
ツボミオオバコ	侵入ランクC	156,182,218	ハタザオ	絶滅危惧Ⅱ類	38,139
ツメレンゲ	絶滅危惧Ⅱ類	14,39,139	ハナカタハミ	侵入ランクB	162,216
ツリフネソウ	準絶滅危惧	66,140	ハナノキ	情報不足	14,82,141
ツルカコソウ	情報不足	83,142	ハリエンジュ	侵入ランクC	175,217
ツルカノコソウ	絶滅危惧Ⅱ類	49,139	ハリギリ	絶滅危惧Ⅱ類	44,139
ツルシキミ	絶滅危惧Ⅱ類	42,139	ハルシオン	侵入ランクB	167
ツルドクダミ	侵入ランクC	171,217	ハルジオン	侵入ランクB	167,216
ツルニガクサ	絶滅危惧Ⅱ類	47,139	ハルリンドウ	絶滅危惧Ⅱ類	44,139
ツルニチニチソウ	侵入ランクC	179,218	ヒカゲスミレ	絶滅危惧Ⅰ類	21,138
ツルネコノメソウ	絶滅危惧Ⅱ類	39,139	ヒカゲツツジ	準絶滅危惧	70,141
ツルマンネングサ	侵入ランクB	161,216	ヒキオコシ	絶滅危惧Ⅱ類	46,139
テリハノイバラ	準絶滅危惧	63,140	ヒシ	絶滅危惧Ⅱ類	44,139
テリミノイヌホオズキ	侵入ランクC	181,218	ヒツジグサ	絶滅危惧Ⅰ類	19,138
トウカエデ	侵入ランクC	176,217	ヒトツバタゴ	情報不足	82,142
トウゲミ	準絶滅危惧	67,140	ヒトリシズカ	絶滅危惧Ⅰ類	19,138
トウゴクサバノオ	絶滅危惧Ⅰ類	17,138	ヒメアギスミレ	準絶滅危惧	68,141
トウササクサ	準絶滅危惧	76,141	ヒメアメリカアゼナ	侵入ランクC	181,218
トウネズミモチ	侵入ランクC	178,218	ヒメイワトラノオ	情報不足	79,141
トール・フェスク	侵入ランクC	186	ヒメウツギ	絶滅危惧Ⅱ類	39,139
トキワサンザシ	侵入ランクC	175,217	ヒメオトギリ	絶滅危惧Ⅱ類	37,139
トキワシダ	情報不足	79,141	ヒメオドリコソウ	侵入ランクB	164,216
ドクムギ	侵入ランクC	186,219	ヒメガマ	準絶滅危惧	78,141
トリアシショウマ	準絶滅危惧	62,140	ヒメコウホネ	絶滅危惧Ⅰ類	14,18,138
トンボソウ	絶滅危惧Ⅱ類	57,140	ヒメコヌカグサ	絶滅危惧Ⅱ類	54,140
ナガエミクリ	準絶滅危惧	77,141	ヒメコバンソウ	侵入ランクB	168,217
ナガバオモダカ	侵入ランクC	184,219	ヒメサルダヒコ	絶滅危惧Ⅰ類	24,138
ナガバギシギシ	侵入ランクC	172,217	ヒメジョオン	侵入ランクA	156,158,216
ナガハグサ	侵入ランクC	187,219	ヒメシロネ	絶滅危惧Ⅱ類	46,139
ナガバタチツボスミレ	準絶滅危惧	67,141	ヒメスイバ	侵入ランクC	171,217
ナガバノコウヤボウキ	準絶滅危惧	74,141	ヒメツルソバ	侵入ランクC	171,217
ナガバノスミレサイシン	絶滅危惧Ⅱ類	43,139	ヒメナミキ	絶滅危惧Ⅰ類	25,138
ナガミヒナゲシ	侵入ランクC	174,217	ヒメヌカボ	侵入ランクC	185,219
ナギナタガヤ	侵入ランクC	187,219	ヒメノガリヤス	絶滅危惧Ⅱ類	54,140
ナギナタコウジュ	準絶滅危惧	71,141	ヒメハギ	準絶滅危惧	65,140
ナツズイセン	侵入ランクC	184,219	ヒメヒオウギズイセン	侵入ランクC	185,219
ナツメ	侵入ランクC	177,218	ヒメビシ	情報不足	82,142
ナメラダイモンジソウ	絶滅危惧Ⅱ類	41,139	ヒメマツバボタン	侵入ランクC	172,217
ナヨクサフジ	侵入ランクC	176,217	ヒメムカシヨモギ	侵入ランクA	156,158,216
ナルコユリ	絶滅危惧Ⅱ類	53,140	ヒメレンゲ	絶滅危惧Ⅱ類	39,139
ナンキンハゼ	侵入ランクB	162,216	ヒルザキツキミソウ	侵入ランクC	178,218
ナンジャモンジャ	情報不足	82	ヒルムシロ	情報不足	84,142
ナンバンカラムシ	侵入ランクC	171,217	ヒレタゴボウ	侵入ランクB	163,216
ニガキ	絶滅危惧Ⅱ類	42,139	ビロードシダ	絶滅危惧Ⅱ類	34,139
ニガハッカ	侵入ランクC	180,218	ヒロハコンロンソウ	絶滅危惧Ⅰ類	20,138
ニシキゴロモ	絶滅危惧Ⅱ類	46,139	ヒロハフウリンホオズキ	侵入ランクC	181,218
ニセジュズネノキ	準絶滅危惧	71	ヒロハホウキギク	侵入ランクB	166,216
ニッケイ	絶滅危惧Ⅰ類	17,138	フウセンカズラ	侵入ランクC	176,217
ニッポンイヌノヒゲ	絶滅危惧Ⅱ類	54,140	フサジュンサイ	侵入ランクC	174,217
ニリンソウ	準絶滅危惧	14,61,140	フシグロ	絶滅危惧Ⅱ類	36,139
ニワウルシ	侵入ランクB	162,216	フジバカマ	準絶滅危惧	74,141
ニワゼキショウ	侵入ランクB	168,216	ブタクサ	侵入ランクC	182,218
ヌカボタデ	情報不足	80,141	ブタナ	侵入ランクC	183,218
ヌマダイコン	絶滅危惧Ⅱ類	50,139	フタリシズカ	絶滅危惧Ⅰ類	19,138
ネズミホソムギ	侵入ランクC	186,219	フトイ	絶滅危惧Ⅱ類	56,140
ネズミムギ	侵入ランクB	156,169,217	フトヒルムシロ	絶滅危惧Ⅱ類	52,140
ネバリタデ	絶滅危惧Ⅱ類	35,139	フランスギク	侵入ランクC	183,218
ノウルシ	情報不足	81,141	プレーリー・グラス	侵入ランクB	169
ノカンゾウ	準絶滅危惧	76,141	ヘイザンソウ	侵入ランクA	159
ノゲイトウ	侵入ランクC	173,217	ベニドウドン	絶滅危惧Ⅰ類	22,138
ノヂシャ	侵入ランクC	182,218	ベニバナヒメジョオン	侵入ランクB	167

(植物 4/4)

太字のページ番号は、種の説明ページを示す。

和名	カテゴリー	ページ	和名	カテゴリー	ページ
ベニバナボロギク	侵入ランクB	166,216	ミヤマウラボシ	情報不足	14,79,141
ヘビノボラス	絶滅危惧 I 類	18,138	ミヤマカタバミ	絶滅危惧 I 類	21,138
ヘラオオバコ	侵入ランクC	181,218	ミヤマキケマン	準絶滅危惧	61,140
ヘラオモダカ	絶滅危惧 I 類	27,138	ミヤマナルコユリ	絶滅危惧 I 類	28,138
ヘラシダ	絶滅危惧 I 類	16,138	ミヤマハコベ	絶滅危惧 II 類	36,139
ホウキギク	侵入ランクC	182,218	ミヤマフユイチゴ	準絶滅危惧	64,140
ホウライシダ	侵入ランクC	171,217	ミヤマヨメナ	絶滅危惧 II 類	50,139
ホシアサガオ	侵入ランクC	179,218	ムカゴイラクサ	絶滅危惧 I 類	16,138
ホシクサ	絶滅危惧 I 類	29,138	ムカゴニンジン	準絶滅危惧	69,141
ホソアオゲイトウ	侵入ランクC	173,217	ムギラン	絶滅危惧 I 類	31,138
ホソイ	準絶滅危惧	76,141	ムクゲ	侵入ランクC	177,218
ホソバカナワラビ	準絶滅危惧	58,140	ムシトリナデシコ	侵入ランクC	173,217
ホソバノウナギツカミ	絶滅危惧 II 類	35,139	ムニンホラゴケ	絶滅危惧 II 類	33
ホソバノセンダングサ	侵入ランクC	182,218	ムベ	準絶滅危惧	61,140
ホソバヒイラギナンテン	侵入ランクC	174,217	ムラサキカタバミ	侵入ランクC	176,217
ホソバヒメミソハギ	侵入ランクB	163,216	ムラサキツメクサ	侵入ランクC	176,217
ホソムギ	侵入ランクC	186,219	ムラサキツユクサ	侵入ランクC	185,219
ホッスモ	絶滅危惧 II 類	52,140	メキシコマンネングサ	侵入ランクC	175,217
ホテイアオイ	侵入ランクC	185,219	メナモミ	準絶滅危惧	74,141
ホドイモ	準絶滅危惧	64,140	メマツヨイグサ	侵入ランクB	163,216
ホナガイヌビユ	侵入ランクB	160,216	メヤブソデツ	絶滅危惧 I 類	15,138
マタタビ	準絶滅危惧	61,140	メリケンガヤツリ	侵入ランクB	170,217
マツカゼソウ	準絶滅危惧	65,140	メリケンカルカヤ	侵入ランクB	168,216
マツグミ	情報不足	80,141	モウセンゴケ	絶滅危惧 I 類	19,138
マツバウンラン	侵入ランクB	165,216	モウソウチク	侵入ランクB	170,217
マツバスゲ	絶滅危惧 II 類	55,140	ヤクシソウ	準絶滅危惧	74,141
マツバゼリ	侵入ランクC	178,218	ヤグルマギク	侵入ランクC	182,218
マツブサ	絶滅危惧 II 類	37,139	ヤナギスブタ	絶滅危惧 I 類	27,138
マツモ	絶滅危惧 II 類	37,139	ヤナギハナガサ	侵入ランクB	164,216
マツヨイグサ	侵入ランクC	178,218	ヤノネボンテンカ	侵入ランクC	177,218
ママコナ	絶滅危惧 II 類	48,139	ヤブサンザシ	絶滅危惧 II 類	40,139
ママアサガオ	侵入ランクB	164,216	ヤブタバコ	準絶滅危惧	73,141
ママゲンバイナズナ	侵入ランクB	161,216	ヤマアイ	絶滅危惧 II 類	42,139
ママダオン	情報不足	83,142	ヤマアジサイ	絶滅危惧 II 類	40,139
ママヅタラン	情報不足	85,142	ヤマエンゴサク	絶滅危惧 I 類	20,138
マルバアサガオ	侵入ランクB	164,216	ヤマガラシ	準絶滅危惧	62,140
マルバクマツヅラ	侵入ランクC	180,218	ヤマグルマ	準絶滅危惧	61,140
マルバノホロシ	準絶滅危惧	72,141	ヤマニガナ	絶滅危惧 II 類	51,140
マルバルコウ	侵入ランクB	164,216	ヤマハタザオ	絶滅危惧 II 類	37,139
マンサク	準絶滅危惧	62,140	ヤマモモ	絶滅危惧 II 類	34,139
ミカワチャルメルソウ	準絶滅危惧	63,140	ヤマルリソウ	絶滅危惧 II 類	45,139
ミクリスゲ	絶滅危惧 I 類	30	ユウゲショウ	侵入ランクB	163,216
ミズキ	準絶滅危惧	69,141	ユリワサビ	絶滅危惧 II 類	38,139
ミズスギ	絶滅危惧 II 類	33,139	ヨウシュハッカ	侵入ランクC	180,218
ミズタカモジ	絶滅危惧 I 類	29,138	ヨウシュヤマゴボウ	侵入ランクB	156,160,216
ミズタガラシ	絶滅危惧 II 類	38,139	ラショウモンカズラ	絶滅危惧 I 類	24,138
ミズトラノオ	絶滅危惧 I 類	24,138	ラッキョウ	侵入ランクC	184,219
ミズニラ	絶滅危惧 I 類	14,15,138	ラミー	侵入ランクC	171
ミズネコノオ	絶滅危惧 I 類	24,138	リュウキユウマメガキ	準絶滅危惧	70,141
ミズマツバ	準絶滅危惧	68,141	リュウノウギク	絶滅危惧 II 類	51,140
ミズユキノシタ	絶滅危惧 I 類	22,138	リンドウ	準絶滅危惧	14,71,141
ミゾコウジュ	準絶滅危惧	71,141	ワサビ	準絶滅危惧	62,140
ミツバウツギ	準絶滅危惧	66,140	ワタゲカマツカ	準絶滅危惧	63,140
ミナトマツヨイグサ	侵入ランクC	178,218	ワルナスビ	侵入ランクC	181,218
ミヤコザサ	準絶滅危惧	77,141	ワレモコウ	絶滅危惧 II 類	41,139
ミヤコミズ	絶滅危惧 I 類	16,138			

(動物 1/2)

太字のページ番号は、種の説明ページを示す。

和名	カテゴリー	ページ	和名	カテゴリー	ページ
アオバズク	準絶滅危惧	90,95,143	キセルモドキ	情報不足	122,133,146
アオハダトンボ	絶滅危惧Ⅰ類	114,115,145	キュウシュウゴマガイ	準絶滅危惧	122,128,145
アオマツムシ	侵入ランクA	200,201,220	クサガメ	情報不足	97,98,143
アオヤンマ	絶滅危惧Ⅰ類	114,115,145	クチベニマイマイ	絶滅危惧Ⅰ類	122,124,145
アカアシホシカムシ	侵入ランクB	200,202,221	グッピー	侵入ランクC	196,199,220
アカザ	準絶滅危惧	104,110,144	クツワムシ	情報不足	114,120,145
アカハライモリ	準絶滅危惧	100,101,144	クリイロデオクスイ	侵入ランクC	200,206,221
アシシロハゼ	情報不足	104,113,144	クリハラリス	侵入ランクB	188,189,220
アズマヒキガエル	準絶滅危惧	100,102,144	クロゲンゴロウ	準絶滅危惧	114,119,145
アブラボテ	絶滅危惧Ⅱ類	104,107,144	クロダカワニナ	絶滅危惧Ⅱ類	122,126,145
アマゴ(サツキマス)	絶滅危惧Ⅱ類	104,108,144	ケハダビロウドマイマイ	準絶滅危惧	122,131,145
アメリカザリガニ	侵入ランクA	213,214,221	ゲンゴロウブナ	侵入ランクA	196,197,220
アメリカジガバチ	侵入ランクB	200,204,221	コアシサシ	絶滅危惧Ⅰ類	90,91,143
アメリカシロヒトリ	侵入ランクA	200,201,220	コイ	情報不足	104,113,144
アメリカミズアブ	侵入ランクC	200,205,221	コオオベソマイマイ	準絶滅危惧	122,131,145
アユ(天然遡上)	準絶滅危惧	104,111,144	コキクガシラコウモリ	準絶滅危惧	86,88,143
アユカケ	絶滅危惧Ⅱ類	108	コクヌスト	侵入ランクB	200,202,221
アライグマ	侵入ランクA	188,189,220	コクヌストモドキ	侵入ランクB	200,203,221
アルファルファタコゾウムシ	侵入ランクA	200,201,220	ゴクラクハゼ	準絶滅危惧	104,112,144
アワダチソウグンバイ	侵入ランクC	200,204,221	ココロオバポタル	絶滅危惧Ⅱ類	114,117,145
イカルチドリ	準絶滅危惧	90,94,143	コサメビタキ	絶滅危惧Ⅰ類	90,92,143
イシガイ	絶滅危惧Ⅰ類	122,125,145	コシアカツバメ	絶滅危惧Ⅱ類	90,93,143
イチモンジタナゴ	絶滅危惧Ⅰ類	104,105,144	コシダカヒメモノアラガイ	情報不足	122,132,145
イトモロコ	準絶滅危惧	104,109,144	コジュケイ	侵入ランクA	190,191,220
イネミズゾウムシ	侵入ランクA	200,201,220	コハクオナジマイマイ	侵入ランクB	208,211,221
イボイボナメクジ	絶滅危惧Ⅰ類	122,124,145	コハクガイ	侵入ランクA	208,210,221
イボカワニナ	侵入ランクC	208,212,221	コベソマイマイ	準絶滅危惧	122,131,145
ウキゴリ	準絶滅危惧	104,112,144	ゴマフツツガ	情報不足	114,120,145
ウシガエル	侵入ランクA	194,195,220	コメノゴミムシダマシ	侵入ランクC	200,207,221
ウシモツゴ	野生絶滅	104,105,144	コモチカワツボ	侵入ランクB	208,211,221
ウスイロオカチグサ	侵入ランクA	208,209,221	コルリアトキリゴミムシ	侵入ランクC	200,205,221
ウスバキスイ	侵入ランクC	200,206,221	サカマキガイ	侵入ランクA	208,209,221
ウメムシタラ	準絶滅危惧	122,130,145	ササゴイ	準絶滅危惧	90,94,143
ウラギンスジヒョウモン	準絶滅危惧	114,119,145	サシバ	絶滅危惧Ⅱ類	90,93,143
エゾスジトウ	情報不足	114,120,145	サツキマス	絶滅危惧Ⅱ類	108
オオクチバス	侵入ランクA	196,198,220	サビカクムネチビヒラタムシ	侵入ランクC	200,206,221
オオサンショウウオ	情報不足	100,102,144	サワガニ	準絶滅危惧	135,136,146
オオタカ	準絶滅危惧	90,95,143	サンコウチョウ	準絶滅危惧	90,96,143
オオタコゾウムシ	侵入ランクB	200,204,221	サンショウクイ	絶滅危惧Ⅰ類	90,92,143
オオタニシ	準絶滅危惧	122,128,145	シバツツガ	侵入ランクB	200,202,220
オオタバコガ	侵入ランクC	200,205,221	シベリアイタチ	侵入ランクA	188,189,220
オオルリ	準絶滅危惧	90,96,143	シマヒレヨシノボリ	侵入ランクB	196,199,220
オグマサナエ	情報不足	114,120,145	シマヨシノボリ	準絶滅危惧	104,112,144
オトメマイマイ	準絶滅危惧	122,131,145	ジムグリ	情報不足	97,99,143
オナジマイマイ	侵入ランクA	208,210,221	ジャンボタニシ	侵入ランクA	209
オバエボシガイ	絶滅危惧Ⅰ類	122,125,145	シルビアシジミ	絶滅	114,115,145
カイツブリ	準絶滅危惧	90,94,143	シロオビカクウムシ	侵入ランクB	200,202,221
ガイマイゴミムシダマシ	侵入ランクB	200,203,221	シロチドリ	絶滅危惧Ⅰ類	90,91,143
カゴメカワニナ	侵入ランクC	208,212,221	シロテンハナムグリ	侵入ランクA	200,201,220
カジカガエル	情報不足	100,103,144	シロヒレタビラ	絶滅危惧Ⅰ類	104,105,144
カジカ小卵型	絶滅危惧Ⅱ類	104,108,144	シロマダラ	情報不足	97,99,143
カスミサンショウウオ	絶滅危惧Ⅰ類	100,101,144	スクミリンゴガイ	侵入ランクA	208,209,221
カタハガイ	絶滅危惧Ⅰ類	122,125,145	スズキ	準絶滅危惧	104,111,144
カダヤシ	侵入ランクA	196,197,220	スナヤツメ南方種	絶滅危惧Ⅱ類	104,107,144
カドコブホソヒラタムシ	侵入ランクC	200,206,221	スナヤツメ北方種	絶滅危惧Ⅱ類	104,107,144
カドマルカツオブシムシ	侵入ランクB	200,202,220	セイヨウミツバチ	侵入ランクA	200,202,220
カネヒラ	侵入ランクA	196,197,220	セツカ	絶滅危惧Ⅰ類	90,92,143
カマキリ(アユカケ)	絶滅危惧Ⅱ類	104,108,144	ソウシチョウ	侵入ランクC	190,191,220
カムルチー	侵入ランクA	196,198,220	タイリクバラタナゴ	侵入ランクA	196,197,220
カヤネズミ	準絶滅危惧	86,88,143	タイワンシジミ	侵入ランクA	208,210,221
カラスガイ	情報不足	122,134,146	タイワンリス	侵入ランクB	189
カラドジョウ	侵入ランクB	196,199,220	タガイ	絶滅危惧Ⅰ類	122,125,145
カワアナゴ	情報不足	104,113,144	タカキビ	準絶滅危惧	122,130,145
カワシジメ	情報不足	122,133,146	タカチホヘビ	情報不足	97,98,143
カワバタモロコ	絶滅危惧Ⅰ類	104,106,144	タカハヤ	準絶滅危惧	104,109,144
カワヒガイ	準絶滅危惧	104,109,144	タガメ	絶滅危惧Ⅱ類	114,116,145
カワラバツタ	絶滅危惧Ⅱ類	114,116,145	タケノホソクロバ	侵入ランクC	200,205,221
カワラバト(ドバト)	侵入ランクA	190,191,220	タゴガエル	情報不足	100,102,144
キイロヤマトンボ	絶滅危惧Ⅱ類	114,116,145	タテヒダカワニナ	侵入ランクC	208,212,221
ギギ	侵入ランクA	196,197,220	タマシギ	絶滅危惧Ⅱ類	90,93,143
キクガシラコウモリ	準絶滅危惧	86,88,143	チャコウラナメクジ	侵入ランクA	208,210,221

(動物 2/2)

太字のページ番号は、種の説明ページを示す。

和名	カテゴリー	ページ	和名	カテゴリー	ページ
ツシマムナクボカミキリ	侵入ランクB	200,203,221	ヒメタイコウチ	絶滅危惧Ⅱ類	114,117,145
ツチガエル	情報不足	100,102,144	ヒメマダラカツオブシムシ	侵入ランクC	200,206,221
ツチフキ	侵入ランクB	196,198,220	ヒメマルマメタニシ	絶滅危惧Ⅱ類	122,126,145
ツマグロキチョウ	絶滅危惧Ⅱ類	114,117,145	ヒラベッコウ	情報不足	122,133,146
デメモロコ	絶滅危惧Ⅰ類	104,106,144	ヒラマキミズマイマイ	準絶滅危惧	122,129,145
トウカイコガタスジシマドジョウ	準絶滅危惧	104,110,144	ヒルゲンドルフマイマイ	準絶滅危惧	122,132,145
トウカイヨシノボリ	絶滅危惧Ⅰ類	104,106,144	ビロウドマイマイ属の一種	情報不足	122,133,146
トクサオカチョウジガイ	侵入ランクA	208,209,221	ヒロヘリアオイラガ	侵入ランクC	200,205,221
ドバト	侵入ランクA	191	フクロウ	準絶滅危惧	90,95,143
トビイロデオネスイ	侵入ランクC	200,206,221	ブタクサハムシ	侵入ランクB	200,203,221
トラツグミ	絶滅危惧Ⅰ類	90,92,143	フタゲホソヒラタムシ	侵入ランクC	200,207,221
トラフカミキリ	準絶滅危惧	114,119,145	ブルーギル	侵入ランクA	196,198,220
トラフトンボ	準絶滅危惧	114,118,145	ベーツヒラタカミキリ	準絶滅危惧	114,119,145
トンガリササノハガイ	絶滅危惧Ⅱ類	122,128,145	ベダリアテントウ	侵入ランクB	200,203,221
ドンコ	準絶滅危惧	104,111,144	ベニイトトンボ	絶滅危惧Ⅰ類	114,115,145
ナガオカモノアラガイ	準絶滅危惧	122,129,145	ヘラブナ	侵入ランクA	197
ナゴヤサナエ	準絶滅危惧	114,118,145	ホクベイカミツキガメ	侵入ランクC	192,193,220
ナゴヤダルマガエル	絶滅危惧Ⅱ類	100,101,144	ホソオチョウ	侵入ランクB	200,202,220
ナタネキバサナギガイ	絶滅危惧Ⅰ類	122,124,145	ホトケドジョウ	準絶滅危惧	104,110,144
ナマズ	準絶滅危惧	104,110,144	ボラ	準絶滅危惧	104,111,144
ナミギセル	絶滅危惧Ⅱ類	122,126,145	ホンサナエ	絶滅危惧Ⅱ類	114,116,145
ニシシマドジョウ	準絶滅危惧	104,109,144	マシコアカネ	準絶滅危惧	114,118,145
ニホンアカガエル	絶滅危惧Ⅱ類	100,101,144	マンジミ	情報不足	122,134,146
ニホンイシガメ	準絶滅危惧	97,98,143	マダラロリカリア	侵入ランクC	196,199,220
ニホンウナギ	絶滅危惧Ⅰ類	104,105,144	マツカサガイ	絶滅危惧Ⅱ類	122,127,145
ニホンケンガイ	準絶滅危惧	122,129,145	マハゼ	情報不足	104,113,144
ニホンジネズミ	準絶滅危惧	86,87,143	マルタニシ	準絶滅危惧	122,128,145
ニホンスッポン	情報不足	97,98,143	ミシシッピアカミミガメ	侵入ランクA	192,193,220
ニホンリス	準絶滅危惧	86,89,143	ミジンナタネガイ	絶滅危惧Ⅱ類	122,126,145
ヌートリア	侵入ランクA	188,189,220	ミジンマイマイ	侵入ランクB	208,211,221
ヌマエビ北・中部群	絶滅危惧Ⅱ類	135,136,146	ミスジキイロテントウ	侵入ランクC	200,206,221
ヌマガイ	絶滅危惧Ⅱ類	122,127,145	ミヅレヌマエビ	絶滅危惧Ⅱ類	135,136,146
ヌマチチブ	準絶滅危惧	104,112,144	ミドリシジミ	絶滅危惧Ⅱ類	114,117,145
ヌمامツ	準絶滅危惧	104,108,144	ミノマイマイ(クロイワマイマイ亜種)	絶滅危惧Ⅰ類	122,124,145
ノシメマダラメイガ	侵入ランクC	200,205,221	ムササビ	準絶滅危惧	86,89,143
ノハラナメクジ	侵入ランクB	208,211,221	モートンイトトンボ	準絶滅危惧	114,118,145
ノハラノイシノシタ	侵入ランクB	208,211,221	モクズガニ	準絶滅危惧	135,136,146
ハクビシン	侵入ランクA	188,189,220	モノアラガイ	情報不足	122,132,145
ハス	侵入ランクB	196,198,220	モリアオガエル	情報不足	100,103,144
ハタネズミ	準絶滅危惧	86,88,143	ヤサイゾウムシ	侵入ランクC	200,207,221
ハチクマ	準絶滅危惧	90,95,143	ヤマアカガエル	情報不足	100,103,144
ハブタエモノアラガイ	侵入ランクA	208,209,221	ヤマコウモリ	絶滅危惧Ⅰ類	86,87,143
ハリヨ	絶滅危惧Ⅰ類	104,106,144	ヤマタカマイマイ	絶滅危惧Ⅱ類	122,127,145
バン	絶滅危惧Ⅱ類	90,93,143	ヤマドリ	準絶滅危惧	90,94,143
ヒゼンキビ	準絶滅危惧	122,130,145	ヤマナメクジ	準絶滅危惧	122,129,145
ヒナコウモリ	絶滅危惧Ⅰ類	86,87,143	ヤリタナゴ	絶滅危惧Ⅱ類	104,107,144
ヒミズ	準絶滅危惧	86,87,143	ヨコヅナサシガメ	侵入ランクC	200,204,221
ヒメアマツバメ	絶滅危惧Ⅰ類	90,91,143	ヨタカ	絶滅危惧Ⅰ類	90,91,143
ヒメオカモノアラガイ	情報不足	122,132,146	ヨツボシカミキリ	情報不足	114,121,145
ヒメカサキビ	準絶滅危惧	122,130,145	レッドテールキャットフィッシュ	侵入ランクC	196,199,220
ヒメコクヌストモドキ	侵入ランクC	200,207,221	レンズガイ	絶滅危惧Ⅱ類	122,127,145
ヒメコハクガイ	侵入ランクA	208,210,221	ワタミヒゲナガゾウムシ	侵入ランクB	200,204,221
ヒメゴミムシダマシ	侵入ランクB	200,203,221			

あ と が き

平成 21 年度から 25 年度にかけて行った「岐阜市自然環境基礎調査」をもとに、このたび、「レッドリスト」と「ブルーリスト」を作成することができました。

本リストの作成におきましては、検討から作成までを内部で完結するのではなく、広く市民の皆様へ作成を周知し、リストの候補種について一緒に考えていただく機会をつくろうと考え、本年度 3 回の公開シンポジウムを開催し、のべ 350 人程の方々にご参加いただきました。

その中で実施したアンケートでは、候補種に対するご意見やリスト作成にあたってのご質問等、多くの声をいただき、市民の皆様への関心の高さをうかがい知ることができました。

参加者からいただいたご意見は、選定の過程において集約につとめ、その結果、名実ともに市民とつくる「レッドリスト」・「ブルーリスト」になったと感じております。

さて、このリストは、本書で述べているとおり、絶滅の危機に瀕している種と外来の種を挙げ、その程度をカテゴリー別やランク別に分けたリストです。しかしながら、「レッドリスト」の種が貴重なものだから、ただちに保護のために今後採取を禁止するとか、「ブルーリスト」の種が悪いものだから、すぐに駆除しなければならない、というわけではありません。

まずはこのリストで、市民の方々に岐阜市の生きものの現状を知っていただき、自然を大切にしながら生活していただきたい、そんな思いで作成をいたしました。

本市では平成 27 年度以降、「生物多様性地域戦略」の策定を予定しております。今回作成したリストをはじめ、これまでの自然環境保全の実績を礎として、さらに具体的に岐阜市の生きものと自然を保全する行動計画の作成に着手してまいりますので、今後とも市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、今回のリスト作成にあたり、多くの方々の意見を集約し、文献等を調べて選定を熟慮していただいたり、公開シンポジウム開催にあたり、ご尽力いただきました専門家の先生方に、心より感謝申し上げます。また、公開シンポジウムに足を運び、岐阜市の生きものの保全等に興味を抱いていただいた市民の皆様へ、この場を借りてお礼を申し上げます。今後も身近なところから岐阜市の自然に親しみ、守っていこうという気持ちを持っていただければ幸いです。

平成 27 年 3 月

岐阜市自然共生部自然環境課

岐阜市の注目すべき生きものたち

岐阜市版レッドリスト・ブルーリスト 2015

平成 27 年 3 月発行

発 行 岐阜市

編 集 岐阜市 自然共生部 自然環境課

〒500-8720 岐阜市神田町 1-11

電 話 : 058-214-2151 (ダイヤルイン)

F A X : 058-267-1374

E-mail : shizen@city.gifu.gifu.jp

- ・本書に収録されている内容、データは全て著作権上の保護を受けています。
- ・著作権者の許可なしに、本書の内容をそのままネットワークへアップロードすることや、他人への譲渡、販売、コピーなどを行うことを一切禁止します。